

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	01
担当教員	浅田 義久	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3132	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、専門研究（一）、専門研究（二）を通じて、経済学、特にミクロ経済学と計量経済学を社会に出で活用できる能力を取得することを目的とします。そのために、卒業論文ではこれらの最終段階であり、専門的な研究ができるようにする。</p> <p>対応 DP 及び CP : 5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>学主目標で記したように、本講義は社会で用いられるように日常をミクロ経済学で検討し、それをデータを元に検証していきます。</p> <p>そのため、ミクロ経済学、計量経済学以外にも GIS や機械学習などを授業外でも学習していきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	どのように授業を進めるか、どのような自習が必要かを学びます。 【事後学習】2 時間 専門研究 (二) の自主研究を復習しておく。 【事後学習】2 時間 各自報告内容を検討する。
第 2 回	卒業論文の各自の概要と項目を検討する (1)	各回 4 人が卒業論文も概要と項目を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で卒業論文の概要と項目を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。。
第 3 回	卒業論文の各自の概要と項目を検討する (2)	各回 4 人が卒業論文も概要と項目を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で卒業論文の概要と項目を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。。
第 4 回	卒業論文の各自の概要と項目を検討する (3)	各回 4 人が卒業論文も概要と項目を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で卒業論文の概要と項目を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。。
第 5 回	卒業論文の各自の概要と項目を検討する (4)	各回 4 人が卒業論文も概要と項目を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で卒業論文の概要と項目を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。。
第 6 回	卒業論文の各自の概要と項目を検討する (5)	各回 4 人が卒業論文も概要と項目を報告する。 【事前学習】2 時間 各自で卒業論文の概要と項目を検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。。
第 7 回	各卒業論文の報告 I (1)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 8 回	各卒業論文の報告 I (2)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 9 回	各卒業論文の報告 I (3)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 10 回	各卒業論文の報告 I (4)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間

		報告者に対してフィードバックする。
第 11 回	各卒業論文の報告 I (5)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 12 回	各卒業論文の報告 I (6)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 13 回	各卒業論文の報告 I (7)	各回 3 人が卒業論文の詳細を報告する。 【事前学習】2 時間 各自も卒業論文の詳細を作成する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。 報告者に対してフィードバックする。
第 14 回	前期の総括 (1)	前期の全報告に対してゼミ生全員で総括を行う。 【事前学習】2 時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 15 回	前期の総括 (2)	前期の全報告に対してゼミ生全員で総括を行う。 【事前学習】2 時間 各自は他報告者の報告を再検討する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 16 回	各卒業論文の報告 II (1)	各回 3 人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2 時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 17 回	各卒業論文の報告 II (2)	各回 3 人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2 時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 18 回	各卒業論文の報告 II (3)	各回 3 人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2 時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 19 回	各卒業論文の報告 II (4)	各回 3 人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2 時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。
第 20 回	各卒業論文の報告 II (5)	各回 3 人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2 時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2 時間 報告者に対してフィードバックする。

第21回	各卒業論文の報告Ⅱ (6)	各回3人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第22回	各卒業論文の報告Ⅱ (7)	各回3人が実証分析も含めた報告する。 【事前学習】2時間 各回3人が前期の報告の批評を踏まえ報告する。 【事前学習】2時間 各自も前期の報告を改善する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第23回	卒業論文の最終報告 (1)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第24回	卒業論文の最終報告 (2)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第25回	卒業論文の最終報告 (3)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第26回	卒業論文の最終報告 (4)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第27回	卒業論文の最終報告 (5)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第28回	卒業論文の最終報告 (6)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第29回	卒業論文の最終報告 (7)	各回3人が卒業論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 各自も卒業論文の最終報告を作成する。 【事後学習】2時間 報告者に対してフィードバックする。
第30回	まとめ	各自の卒業論文の最終報告書を議論する。 【事前学習】2時間 他の報告者の最終報告書を復習する。 【事後学習】2時間 各自の報告に対してフィードバックする。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
様々な自習の到達度も評価に加味します。					

テキスト
適宜授業で提示する。
参考文献
適宜授業で提示する。
オフィスアワー
オフィスアワーは適時変更します。事前に下記の WEB を参考にアポイントを取ること。 https://sites.google.com/a/nihon-u.ac.jp/asada/
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ミクロ経済の理解ができており、PC 操作もある程度習得している学生が望ましい。該当しない学生の履修は難しい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	02
担当教員	有馬 守康	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水2	単位区分	選
講義室	3103	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では以下の能力を身につけることを目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の基本的な考え方を身につけることができる。 2. 経済学の考え方に基づき、問題発見・解決能力を身につけることができる。 3. グループワークを通じ、自分にはない考え方を理解し尊重し、協働する精神を養うことができる。 <p>対応 DP 及び CP : 5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、専門研究(-)??で養われた研究能力を基にして、卒業論文の作成を目指します。そこで個人や組織、社会や世界で起きている様々な経済現象から自ら問題を発見し、経済理論を分析道具として活用し、問題解決へ導く能力を身につけ、将来にわたってあらゆる問題に直面した際の解決能力の向上に役立てていきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	卒業論文の授業の進め方。担当週の割り当て。注意事項の伝達。
第 2 回	第 1 回発表第 1 グループ	春休み中に進めた卒業論文の内容について発表。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 3 回	第 1 回発表第 2 グループ	春休み中に進めた卒業論文の内容について発表。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 4 回	第 1 回発表第 3 グループ	春休み中に進めた卒業論文の内容について発表。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 5 回	第 1 回発表第 4 グループ	春休み中に進めた卒業論文の内容について発表。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 6 回	第 1 回発表第 5 グループ	春休み中に進めた卒業論文の内容について発表。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 7 回	第 2 回発表第 1 グループ	第 1 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 8 回	第 2 回発表第 2 グループ	第 1 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 9 回	第 2 回発表第 3 グループ	第 1 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。

第 10 回	第 2 回発表第 4 グループ	第 1 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 11 回	第 2 回発表第 5 グループ	第 1 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 12 回	第 3 回発表第 1 グループ	第 2 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 13 回	第 3 回発表第 2 グループ	第 2 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 14 回	第 3 回発表第 3 グループ	第 2 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 15 回	第 3 回発表第 4 グループ	第 2 回からの進捗状況を報告。夏休みに向けた研究体制の指導。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 16 回	第 3 回発表第 5 グループ	第 2 回からの進捗状況を報告。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 17 回	第 4 回発表第 1 グループ	第 3 回からの進捗状況を報告。文章ベースの途中経過提出。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 18 回	第 4 回発表第 2 グループ	第 3 回からの進捗状況を報告。文章ベースの途中経過提出。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間

		発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 19 回	第 4 回発表第 3 グループ	第 3 回からの進捗状況を報告。文章ベースの途中経過提出。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 20 回	第 4 回発表第 4 グループ	第 3 回からの進捗状況を報告。文章ベースの途中経過提出。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 21 回	第 4 回発表第 5 グループ 卒論第 1 版提出	第 3 回からの進捗状況を報告。卒業論文第 1 版提出。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 22 回	第 5 回発表第 1 グループ	基本的には最終報告。校正された論文の受け取り。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 23 回	第 5 回発表第 2 グループ	基本的には最終報告。校正された論文の受け取り。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 24 回	第 5 回発表第 3 グループ	基本的には最終報告。校正された論文の受け取り。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 25 回	第 5 回発表第 4 グループ	基本的には最終報告。校正された論文の受け取り。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 26 回	第 5 回発表第 5 グループ	基本的には最終報告。校正された論文の受け取り。 【事前学習】2 時間 発表の準備。発表者の研究内容の下調べ。 【事後学習】2 時間 発表で寄せられたコメントを活かし、発表内容のブラッシュアップ。他の人は発表者の発表を参考に自己の発表に活かす。
第 27 回	卒業論文推敲	学生間で論文を交換し、読みあい相互に批評。 【事前学習】2 時間

		完成論文の読み直しと誤字脱字のチェック。 【事後学習】2時間 相手からもらったコメントを参考に論文の手直し。
第28回	卒業論文発表予備（発表会向け・欠席分）	卒業論文発表予備日。べつ日で行われる卒業論文発表会で発表する者の発表予行練習等。 【事前学習】2時間 発表者は発表準備。他の者は発表者の研究内容の吟味。 【事後学習】2時間 寄せられたコメントをもとに発表内容の手直し、修正など。
第29回	卒業論文発表予備（発表会向け・欠席分）	卒業論文発表予備日。べつ日で行われる卒業論文発表会で発表する者の発表予行練習等。 【事前学習】2時間 発表者は発表準備。他の者は発表者の研究内容の吟味。 【事後学習】2時間 寄せられたコメントをもとに発表内容の手直し、修正など。
第30回	講義総括	3年間の研究の総括。「将来へ向けて」についての最終講義。打ち上げ。 【事前学習】2時間 自己総括の発表の予行演習 【事後学習】2時間 卒業後の計画の立案

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
55%	20%	0%	20%	5%	100%
評価の特記事項					
「授業期間試験」は最終的な論文の査定。「レポート」は各回の発表内容、「授業への参画度」は出席及び出席態度。「その他」の評価は、卒業論文発表会での発表。					

テキスト
各自の研究テーマに沿ったものを適宜指示する。
参考文献
講義内で適宜指示する。
オフィスアワー
金曜 6 限（18:00～19:30）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒業論文は大学生活の集大成です。進路決定活動等との両立は大変ですが、悔いのないよう、精一杯がんばってください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	04
担当教員	池本 修一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水2	単位区分	選
講義室	3104	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
現代の世界には様々な経済システムが存在する。アメリカ型資本主義，日本型資本主義，大陸欧州型資本主義，中国型社会主義などさまざまである。本専門研究では当該課題に関する経済関連文献の輪読，発表などを通じて世界の現状を理解し説明する能力を身につけ，同時に論理的・批判的思考力，問題発見・解決能力をも体得できるよう指導する。卒業論文は専門研究2年間の学習を経て，その成果を論文に仕上げるプロセスと位置付ける。
授業概要（教育目的）
履修学生は，じっくりテーマを見つけ出し，どのような文献を使用して，どのような論理構成で，どのような問題点や課題を究明するのかを，スケルトン（骨組み）を作成するところから始める。しっかりスケルトンができたならそれに沿って，問題提起，背景，特色・課題，その解決あるいは結論を導くまで，授業での試行錯誤を重ねながら卒論作成に取り組む。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒論執筆のプロセス解説	実際に卒論を執筆するためのプロセスを指導教官によって解説する。 【事前学習】2 時間 論文執筆の参考書などを事前に読み実際に執筆するためのプロセスをイメージする。 【事後学習】2 時間 解説をもとに各自が課題設定のために検討する。
第 2 回	研究課題の設定 1	各自が研究課題の設定のため様々な資料を検索し、試行錯誤を経て決定まで図書館などで資料を読み込む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して課題決定を試みる。
第 3 回	研究課題の設定 2	各自が研究課題の設定のため様々な資料を検索し、試行錯誤を経て決定まで図書館などで資料を読み込む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して課題決定を試みる。
第 4 回	研究課題の設定 3	各自が研究課題の設定のため様々な資料を検索し、試行錯誤を経て決定まで図書館などで資料を読み込む。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して課題決定を試みる。
第 5 回	研究課題関連資料の収集 1	各自が研究課題を設定したのち、論文執筆が可能な資料収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 6 回	研究課題関連資料の収集 2	各自が研究課題を設定したのち、論文執筆が可能な資料収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 7 回	研究課題関連資料の収集 3	各自が研究課題を設定したのち、論文執筆が可能な資料収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 8 回	研究課題関連資料の収集 4	各自が研究課題を設定したのち、論文執筆が可能な資料収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 9 回	論文の問題提起（起承転結の起）を確定させる 1	論文の第 1 章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 10 回	論文の問題提起（起承転結の起）を確定させる 2	論文の第 1 章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 11 回	論文の問題提起（起承転結の起）を確定させる 3	論文の第 1 章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第 12 回	課題の特色や背景など（起承転結の承）を考察	論文の第 2 章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2 時間 資料を読む。

	する1	【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第13回	課題の特色や背景など（起承転結の承）を考察する2	論文の第2章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第14回	課題の特色や背景など（起承転結の承）を考察する3	論文の第2章に相当する問題提起執筆と先行研究の整理を行う 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、さらに資料を検索して論文作成が可能になるよう資料収集を試みる。
第15回	研究成果の中間報告1	これまでの成果を各自が中間報告する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第16回	研究成果の中間報告2	これまでの成果を各自が中間報告する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第17回	研究成果の中間報告3	これまでの成果を各自が中間報告する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第18回	論文の特色や問題点をまとめて執筆する（起承転結の転）1	引き続き論文執筆をつづける。第3章に相当する課題の特色・問題点などを考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。
第19回	論文の特色や問題点をまとめて執筆する（起承転結の転）2	引き続き論文執筆をつづける。第3章に相当する課題の特色・問題点などを考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。
第20回	論文の特色や問題点をまとめて執筆する（起承転結の転）3	引き続き論文執筆をつづける。第3章に相当する課題の特色・問題点などを考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。
第21回	論文の結論部分を仕上げる（起承転結の結）1	引き続き論文執筆をつづける。一般的に第4章に相当する課題の結論部分を考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。
第22回	論文の結論部分を仕上げる（起承転結の結）2	引き続き論文執筆をつづける。一般的に第4章に相当する課題の結論部分を考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。
第23回	論文の結論部分を仕上げる（起承転結の結）3	引き続き論文執筆をつづける。一般的に第4章に相当する結論部分を考察する。 【事前学習】2時間 資料を読む。どのような問題点があるかほかの資料などを調べる。 【事後学習】2時間 指導教官との相談の上、論文執筆続ける。

第 24 回	卒業論文の暫定的発表 1	これまでの成果を各自が報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 25 回	卒業論文の暫定的発表 2	これまでの成果を各自が報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 26 回	卒業論文の暫定的発表 3	これまでの成果を各自が報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 27 回	卒業論文の暫定的発表 4	これまでの成果を各自が報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 28 回	卒業論文の修正 1	最終的に修正した論文を仕上げ最終発表を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 29 回	卒業論文の修正 2	最終的に修正した論文を仕上げ最終発表を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。
第 30 回	卒業論文の修正 3	最終的に修正した論文を仕上げ最終発表を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 指導教官との相談の上、授業でのフィードバックをもとに修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
指導教官の指示に基づいて論文を執筆するプロセスと論文の内容をもとに評価する。					

テキスト
各自が収集した資料など。
参考文献
各自が収集した資料など
オフィスアワー
火曜 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
コースワークなので主肅々と根気強く資料の読み込み，分析手法の精査などを通じて論文執筆を行ってほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	05
担当教員	石川 恵子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3124	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>業界分析・企業不正の事例について調べ、健全なコーポレート・ガバナンスのあり方について議論をすることを学習目標としています。</p> <p>対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>学生が調べた業界分析・企業不正の事例についてグループディスカッションを行い、健全なコーポレートガバナンスのあり方を学びます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容・講義形式・評価方法・履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 2 回	レポートの書き方について (1)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 レポートの書き方について説明する。 事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 資料をよく復習し、講義中に出てきたキーワードを理解すること。
第 3 回	レポートの書き方について (2)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 4 回	レポートの書き方について (3)	レポートの書き方について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間
第 5 回	業界分析について (1)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 6 回	業界分析について (2)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 7 回	業界分析について (3)	業界分析の方法を説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 8 回	レポートの発表	第 1 回～第 7 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。 【事前学習】2 時間
第 9 回	企業不正の事例 (1)	企業不正の事例について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。

第 10 回	企業不正の事例 (2)	<p>企業不正の事例について説明する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 11 回	企業不正の事例 (3)	<p>企業不正の事例について説明する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 12 回	コーポレートガバナンス (1)	<p>健全なコーポレートガバナンスについて議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 13 回	コーポレートガバナンス (2)	<p>健全なコーポレートガバナンスについて議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 14 回	コーポレートガバナンス (3)	<p>健全なコーポレートガバナンスについて議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 15 回	レポートの発表	<p>第 9 回～第 14 回までの講義に基づいて、レポートを発表してもらう。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>
第 16 回	グループディスカッション (1)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 17 回	グループディスカッション (2)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 18 回	グループディスカッション (3)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 19 回	グループディスカッション (4)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		<p>Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 20 回	グループディスカッション (5)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 21 回	グループディスカッション (6)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 22 回	グループディスカッション (7)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間</p>
第 23 回	グループディスカッション (8)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 24 回	グループディスカッション (9)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 25 回	グループディスカッション (10)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 26 回	グループディスカッション (11)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 27 回	グループディスカッション (12)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。</p>
第 28 回	グループディスカッション (13)	<p>各自が作成したレポートに基づいてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間</p>

		授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 29 回	グループディスカッション (14)	グループディスカッションの振り返りを行う。 【事前学習】2 時間 Google Class から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習したうえで、授業時に提示した課題に取り組み、期限がある課題は期限内に必ず提出すること。
第 30 回	まとめ	第 1 回～第 29 回までのまとめ。 【事前学習】2 時間

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	60%		40%		100%
評価の特記事項					
GoogleForms を使用して、当日の意見・質問をとるので、期限内に提出すること。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
吉見宏『ケースブック監査論第 5 版』新世社,2013 年, 2500 円.
オフィスパワー
月曜日 13 時～14 時 面会を希望される場合は、事前に連絡をし、相談内容を伝えて下さい。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	06
担当教員	石田 教子	実務経験のある教員による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3133	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>制度派経済学についての理解を深めながら、特に、以下の項目に関わるオーラルスキルを身につけます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 制度派経済学が経済学史上どのように位置づけられるかを説明できる。 2) 制度派経済学の諸理論の特徴を捉え、現代の経済社会との接点を実感できる。 3) 市場や価格の動きだけではなく、社会における思考習慣、規範、制度、法などが経済活動に及ぼす影響を考察できる。 <p>対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本授業はゼミナールです。制度派経済学の理論にもとづく卒業論文の執筆について助言します。19世紀末から20世紀初頭の T. B. ヴェブレン、W. C. ミッチェル、J. R. コモンズらの創成期の制度派経済学者、戦後の J. K. ガルブレイス、G. ミュルダール、K. W. カップらの新制度派経済学者の理論や思想が中心となります。これらの経済学の理解を通じて、現代の経済社会が抱える問題群について考察します。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	イントロダクション	本年度のゼミナールの進め方を説明します。 【事前学習】2時間 現時点での自分の論文のテーマについてプレゼンテーションできるように準備する。 【事後学習】2時間 決定事項をよく復習しておく。
第2回	研究課題の設定①	自ら選んだ研究課題を設定し、研究資料などを収集し、精読する。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第3回	研究課題の設定②	自ら選んだ研究課題を設定し、研究資料などを収集し、精読する。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第4回	研究課題の設定③	自ら選んだ研究課題を設定し、研究資料などを収集し、精読する。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第5回	研究課題の設定④	自ら選んだ研究課題を設定し、研究資料などを収集し、精読する。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第6回	「序章／はじめに」の執筆①	自ら選んだ研究課題について、「論文の目的」、「問題の背景」、「先行研究史」、「目次」について書き上げる。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第7回	「序章／はじめに」の執筆②	自ら選んだ研究課題について、「論文の目的」、「問題の背景」、「先行研究史」、「目次」について書き上げる。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第8回	「序章／はじめに」の執筆③	自ら選んだ研究課題について、「論文の目的」、「問題の背景」、「先行研究史」、「目次」について書き上げる。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間 授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第9回	「序章／はじめに」の執筆④	自ら選んだ研究課題について、「論文の目的」、「問題の背景」、「先行研究史」、「目次」について書き上げる。 【事前学習】2時間 関連する資料の収集、読解。 【事後学習】2時間

		授業内容をもとに、執筆内容を校正する。
第 10 回	卒業論文 テーマ確定発表会	序章の内容について発表を行い、今後の研究計画を準備する。 【事前学習】2 時間 前日までにレポートを提出し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 振り返りを提出する。
第 11 回	「本論」の執筆①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 12 回	「本論」の執筆②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 13 回	「本論」の執筆③	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 14 回	「本論」の執筆④	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 15 回	「本論」の執筆⑤	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 16 回	5,000 字を超える①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。5,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 17 回	5,000 字を超える②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。5,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間

		進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 18 回	10,000 字を超える①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 10,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 19 回	10,000 字を超える②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 10,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 20 回	10,000 字を超える③	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 10,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 21 回	15,000 字を超える①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 15,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 22 回	15,000 字を超える②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 15,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 23 回	15,000 字を超える③	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 15,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 24 回	20,000 字を超える①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。 20,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。

第 25 回	20,000 字を超える②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。20,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 26 回	20,000 字を超える③	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。20,000 字を超える分量を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 27 回	内容を完成させる①	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。内容的な完成を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 28 回	内容を完成させる②	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。内容的な完成を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 29 回	内容を完成させる③	各自が自ら選んだテーマに関わる資料を精読し、論文の執筆を行う。内容的な完成を目指す。進捗状況について報告を行い、形式的な執筆方法や論述の分かりやすさなどについて助言を受ける。 【事前学習】2 時間 進捗状況についての発表準備を行う。 【事後学習】2 時間 適宜、研究計画を修正する。
第 30 回	4 年生 卒業論文発表会	卒論発表会において発表を行う。 事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備を行う。 【事後学習】2 時間 最終的な提出のために加筆修正を行う。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
プレゼンテーション、指定範囲の予習、積極的な発言やコメント、討論の論理の緻密さなど。					

テキスト
特になし。
参考文献
各自が自分の研究テーマに合わせて選択する。
オフィスアワー
水曜日 4 限。希望者はメールでアポイントを取ること。 ishida.noriko@nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻や無断欠席は一切認めません。退ゼミとなります。バイトやサークルを優先する人には向きません。他者の違いを寛容に受け入れ、共に学び合い、それぞれが自主的に研究を進めることを期待します。 ゼミの見学はいつでも大歓迎です。希望者は参加希望日などを下記のフォームからお知らせください。 https://forms.gle/XfZ9bFPE555KysWi7
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	07
担当教員	井尻 直彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水4	単位区分	選
講義室	7061	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、ゼミナール受講生が国境を越える経済取引によって発生する諸問題を理解するために必要な基礎的理論を身につけることを目的にします。主なテーマとして国際貿易、海外直接投資および多国籍企業を取り上げ、受講生はこれらの発生要因や経済効果に関して理論的な理解を深め、各国経済の相互依存関係を分析する力を養うことを期待しています。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>グローバル化の進展のなかで複雑化する各国の相互依存関係を知り、その上で国際的経済取引の重要性の高まりの意義を理解した上で、国際経済における各自の興味をもったテーマについて問いを設定し、それに対する答えを卒業論文としてまとめる。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	初回：卒業論文に関する説明	ゼミナール全体の概要の説明 経済の国際化の意義 【準備学習】2 時間 事前に示された課題に取り組む（提出） 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 2 回	第 1 クール：興味のある問いを見つける	卒業論文?にまとめる「問い」の発見 【準備学習】2 時間 3 年次のグループ研究の見直し 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 3 回	第 1 クール：興味のある問いを見つける	卒業論文?にまとめる「問い」の発見 【準備学習】2 時間 3 年次のグループ研究の見直し 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 4 回	第 1 クール：興味のある問いを見つける	卒業論文?にまとめる「問い」の発見 【準備学習】2 時間 3 年次のグループ研究の見直し 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 5 回	第 1 クール：興味のある問いを見つける	卒業論文?にまとめる「問い」の発見 【準備学習】2 時間 3 年次のグループ研究の見直し 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 6 回	第 2 クール：各自の問い関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 7 回	第 2 クール：各自の問い関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 8 回	第 2 クール：各自の問い関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 9 回	第 2 クール：各自の問い関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 10 回	第 2 クール：各自の問い関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す

		【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 11 回	第 2 クール：各自の問いに関する先行研究サーベイ	卒業論文?にまとめる「問い」の設定 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 12 回	第 3 クール：先行研究サーベイを文章化	先行研究を文章にしてまとめる 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 13 回	第 3 クール：先行研究サーベイを文章化	先行研究を文章にしてまとめる 【準備学習】2 時間 先行研究を探す 【事後学習】2 時間 各自の研究テーマに関する先行研究サーベイ
第 14 回	中間発表：卒業論文の中間プレゼンテーション	卒業論文に関するプレゼンテーション 【準備学習】2 時間 プレゼンテーションの準備 【事後学習】2 時間 指摘された箇所を修正
第 15 回	中間発表：卒業論文の中間プレゼンテーション	卒業論文に関するプレゼンテーション 【準備学習】2 時間 プレゼンテーションの準備 【事後学習】2 時間 指摘された箇所を修正
第 16 回	第 4 クール：分析作業	各自の研究テーマに関する分析 【準備学習】2 時間 必要な分析作業を進める 【事後学習】2 時間 分析作業の継続
第 17 回	第 4 クール：分析作業	各自の研究テーマに関する分析 【準備学習】2 時間 必要な分析作業を進める 【事後学習】2 時間 分析作業の継続
第 18 回	第 4 クール：分析作業	各自の研究テーマに関する分析 【準備学習】2 時間 必要な分析作業を進める 【事後学習】2 時間 分析作業の継続
第 19 回	第 4 クール：分析作業	各自の研究テーマに関する分析 【準備学習】2 時間 必要な分析作業を進める 【事後学習】2 時間 分析作業の継続
第 20 回	第 5 クール：分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応

第 21 回	第 5 クール： 分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応
第 22 回	第 5 クール： 分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応
第 23 回	第 5 クール： 分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応
第 24 回	第 5 クール： 分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応
第 25 回	第 5 クール： 分析結果の報告	各自の分析結果について報告 【準備学習】2 時間 分析結果をまとめる 【事後学習】2 時間 分析結果に関するコメントへの対応
第 26 回	第 6 クール： 卒業論文のプレゼンテーション	各自の卒業論文について報告 【準備学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションに関するコメントへの対応
第 27 回	第 6 クール： 卒業論文のプレゼンテーション	各自の卒業論文について報告 【準備学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションに関するコメントへの対応
第 28 回	第 6 クール： 卒業論文のプレゼンテーション	各自の卒業論文について報告 【準備学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションに関するコメントへの対応
第 29 回	第 6 クール： 卒業論文のプレゼンテーション	各自の卒業論文について報告 【準備学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションに関するコメントへの対応
第 30 回	まとめ	まとめ 【準備学習】2 時間 質問事項の準備 【事後学習】2 時間 ふりかえり

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0	20%	0	60%	20%	100%
評価の特記事項					
工夫してわかりやすいプレゼンテーションを作成するようにしてください。					

テキスト
特にありません。
参考文献
1.若杉隆平著『国際経済学(第3版)』岩波書店,2730円. 2.ケイブス,フランケル, ジョーンズ著『国際経済学入門①国際貿易編』日本経済新聞社,3780円. 3.浦田秀次郎『国際経済学入門』日経文庫,903円. 4.ヘルプマン著『グローバル貿易の針路をよむ』文真堂, 2730円
オフィスアワー
月曜 2 時限目 必ずメール等で事前に予約をとること
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
ゼミナールは、ただ聞いているだけでは退屈です。ですから、積極的に質問をするようにしてください。ゼミナールに「出席する」というのではなく、「参加する」という意識、姿勢を期待しています。ただし、私語は慎んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	08
担当教員	大内 雅浩	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火3	単位区分	選
講義室	3115	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミでは、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資料・文献（専門書・新聞・論文・データ等）の本質を理解することができたり、批判的に考察したりすることができる。＜論理的読解力＞ 2. 他者の意見に対して論理的に把握でき、建設的な意見を言う事ができたり、真摯に意見を受け止めたりすることができる。＜論理的読解力・聴解力＞ 3. 社会に関心を持ち、根底に潜む原因への接近に興味を持って取り組むことができる。 4. 相手に自分の言葉で分かりやすく丁寧に、客観的な根拠を持って解決策や改善策を提言することができる。 <p>対応 DP 及び CP:5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミでは、様々な「マクロ経済」問題・現象を研究の対象としていきます。</p> <p>現実の世界には多くの問題が山積し、私たちの生活に大きな問題に発展しています。広い視野で物事を考えられることはとても重要な生きる力の一つです。マクロ経済現象の本質（共通点や教訓）を考え、議論を通じて「自分の言葉」で原因や解決策を自信をもって説明できるようになることです。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒論執筆指導	卒論の書き方・思考マップ作成 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 2 回	卒論執筆指導	卒論の書き方・思考マップ作成 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 3 回	卒論執筆指導	卒論の書き方・思考マップ作成 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 4 回	卒論執筆指導	卒論の書き方・思考マップ作成 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 5 回	卒論執筆指導	卒論の書き方・思考マップ作成 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 6 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 7 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 8 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 9 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 10 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間

		自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 11 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 12 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 13 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 14 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 15 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 16 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 17 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 18 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 19 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 20 回	卒論執筆指導	卒論報告 【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。
第 21 回	卒論執筆指導	卒論報告

		<p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 22 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 23 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 24 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 25 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 26 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 27 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 28 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 29 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>
第 30 回	卒論執筆指導	<p>卒論報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で資料を読み解き考え、論文を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自身の卒論へのフィードバックやアイデアを参考に論文を熟成させる。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	20%	10%	100%
評価の特記事項					
初回授業時に指示する。					

テキスト
特になし
参考文献
各自収集する。ゼミ・リーディングリストも参考にする。
オフィスアワー
初回授業時に詳細は指示する。基本、質問等には適宜対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の力で長い論文を纏め上げることで得られる自信や良い意味での後悔も同時に経験することを望む。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	09
担当教員	大槻 明	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	7073	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本講義では、専門研究一、二を遂行することにより導き出された研究成果を卒業論文としてとりまとめることで、学術的に高度な文章執筆能力や論理的思考力を身につけることを目指します。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>専門研究二から継続して研究を行う方についてはその研究指導を行います。研究成果が既に出ている方については、次の順序で卒業論文指導を進めていくことで文章執筆能力や論理的思考力を身につけてもらいます。</p> <p>「第1章. はじめに」, 「第2章. 先行・関連研究」, 「第3章. 提案コンセプト」, 「第4章. 提案コンセプトの実証」, 「第5章. 実証結果を受けての考察」, 「第6章. おわりに」</p> <p>第1章では研究の社会的意義や学術的意義、さらに論文の全体像について執筆します。第2章では先行・関連研究を調査してそれらと比較検証することで本研究の提案コンセプトの新規性について執筆します。第3章では提案コンセプト（分析アプローチや作成するシステムなど）の内容について具体的に執筆します。第4章では提案コンセプトの有効性を確認するための実証実験の概要や実験の結果について執筆します。第5章では実証実験の結果を受けて、提案コンセプトの有効性について掘り下げて考察したうえで執筆します。そして最後の第6章では、全体のまとめと本研究で明らかにしたことを強調する形で執筆し、さらに今後の課題についても執筆します。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	第 1 章はじめに	執筆する卒業論文が属する研究分野の社会的背景や意義について執筆する 【事前学習】2 時間 卒業論文が属する研究分野の社会的背景や意義についての文献等を調査しておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、卒業論文が属する研究分野の社会的背景や意義についての執筆を進める
第 2 回	第 1 章はじめに 2	執筆する卒業論文が属する研究分野では何がどこまで明らかにされてきたのか、そしてどのようなことが未だ明らかにされていないのか、ということについて執筆する 【事前学習】2 時間 国内外の先行・関連研究についてサーベイしておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、先行・関連研究の課題等についての執筆を進める
第 3 回	第 1 章はじめに 3	先行研究の課題や状況に対して、本研究の提案コンセプトでは何をどこまで明らかにするものなのかについて執筆する 【事前学習】2 時間 本研究の提案コンセプトについて自分の考えをまとめておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、提案コンセプトの概要についての執筆を進める
第 4 回	第 1 章はじめに 4	提案コンセプトをどのように実証・実験してどのように有効性を確認したのか、ということの概要について執筆する 【事前学習】2 時間 実証・実験のコンセプトや結果概要について自分の考えをまとめておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、実証・実験のコンセプトや結果概要についての執筆を進める
第 5 回	第 2 章先行・関連研究 1	「2.1 節. はじめに」について執筆する。本シラバスでは先行・関連研究が 3 つのカテゴリ (2.2 節～2.4 節) に分類された場合を想定しており、本章では先行・関連研究の全体像について執筆する。 【事前学習】2 時間 先行・関連研究の全体像について自分の考えをまとめておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、先行・関連研究の全体像についての執筆を進める
第 6 回	第 2 章先行・関連研究 2	「2.2 節. カテゴリ 1 の先行研究」について執筆する。サーベイしたカテゴリ 1 の先行研究ごとに、どのようなターゲットに対し、どのようなアプローチによって研究することで、何をどのように明らかにしたのか、について執筆する 【事前学習】2 時間 カテゴリ 1 の先行研究について、それぞれターゲット、研究アプローチ及び研究を通じて明らかにしたことをまとめておく 【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、カテゴリ 1 の先行研究についての執筆を進める
第 7 回	第 2 章先行・関連研究 3	「2.3 節. カテゴリ 2 の先行研究」について執筆する。サーベイしたカテゴリ 2 の先行研究ごとに、どのようなターゲットに対し、どのようなアプローチによって研究することで、何をどのように明らかにしたのか、について執筆する 【事前学習】2 時間

		<p>カテゴリ2の先行研究について、それぞれターゲット、研究アプローチ及び研究を通じて明らかにしたことをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、カテゴリ2の先行研究についての執筆を進める</p>
第8回	第2章先行・関連研究4	<p>「2.4節. カテゴリ3の先行研究」について執筆する. サベイしたカテゴリ3の先行研究ごとに、どのようなターゲットに対し、どのようなアプローチによって研究することで、何をどのように明らかにしたのか、について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>カテゴリ3の先行研究について、それぞれターゲット、研究アプローチ及び研究を通じて明らかにしたことをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、カテゴリ3の先行研究についての執筆を進める</p>
第9回	第2章先行・関連研究5	<p>「2.5節. 先行研究に比した本研究の新規性」について執筆する.</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>先行研究に比した本研究の新規性について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、先行研究に比した本研究の新規性についての執筆を進める</p>
第10回	第3章提案コンセプト1	<p>「3.1節. はじめに」について執筆する. 本シラバスではデータサイエンス及び情報学における提案コンセプトの構成の一例を示しており、本節では提案コンセプトの全体像の概要について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>提案コンセプトの全体像について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、提案コンセプトの全体像についての執筆を進める</p>
第11回	第3章提案コンセプト2	<p>「3.2節. 提案コンセプトの前提条件等」について執筆する. 具体的には専門用語や手法の定義など、提案コンセプトの前提条件等について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>提案コンセプトの前提条件等について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、提案コンセプトの前提条件等についての執筆を進める</p>
第12回	第3章提案コンセプト3	<p>「3.3節. 分析・処理対象」について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>提案コンセプトの分析・処理対象について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、提案コンセプトの分析・処理対象についての執筆を進める</p>
第13回	第3章提案コンセプト4	<p>「3.4節. 分析で用いるデータの概要や取得元等」について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>分析で用いるデータの概要や取得元等について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、分析で用いるデータの概要や取得元等についての執筆を進める</p>
第14回	第3章提案コンセプト5	<p>「3.5節. 分析アプローチや実装方法等」について掘り下げて考察する</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>分析アプローチや実装方法等について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、分析アプローチや実装方法等について自分の考えを掘り下げて考察する</p>
第15回	第3章提案コンセプト6	<p>「3.5節. 分析アプローチや実装方法等」について執筆する</p> <p>【事前学習】2時間</p>

		<p>前回到引き続き、分析アプローチや実装方法等について自分の考えを掘り下げてまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、分析アプローチや実装方法等についての執筆を進める</p>
第 16 回	第 4 章実証実験 1	<p>「4.1 節. はじめに」について執筆する。ここでは評価実験等の全体像や前提条件等について執筆する。なお、本シラバスでは実証実験の結果が 4 つあった場合を想定して例示している</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>評価実験等の全体像について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、評価実験等の全体像や前提条件等についての執筆を進める</p>
第 17 回	第 4 章実証実験 2	<p>「4.2 節. 実験・実証結果 1 の結果」について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>実験・実証結果 1 の結果について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、実験・実証結果 1 の結果についての執筆を進める</p>
第 18 回	第 4 章実証実験 3	<p>「4.3 節. 実験・実証結果 2 の結果」について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>実験・実証結果 2 の結果について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、実験・実証結果 2 の結果についての執筆を進める</p>
第 19 回	第 4 章実証実験 4	<p>「4.4 節. 実験・実証結果 3 の結果」について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>実験・実証結果 3 の結果について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、実験・実証結果 3 の結果についての執筆を進める</p>
第 20 回	第 4 章実証実験 5	<p>「4.5 節. 実験・実証結果 4 の結果」について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>実験・実証結果 4 の結果について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、実験・実証結果 4 の結果についての執筆を進める</p>
第 21 回	第 5 章考察 1	<p>考察に必要な参考文献等のサーベイを行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>考察に必要な参考文献等のサーベイを事前に行っておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、考察の執筆に参考となる参考文献等をまとめておく</p>
第 22 回	第 5 章考察 2	<p>「5.1 節. 考察 1」について執筆する。具体的には、4.2 節の実験・実証結果 1 を受けての考察について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>4.2 節の実験・実証結果 1 を受けての考察について、自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>卒論指導した内容を元に、5.1 節の考察について執筆を進める</p>
第 23 回	第 5 章考察 3	<p>「5.2 節. 考察 2」について執筆する。具体的には、4.3 節の実験・実証結果 2 を受けての考察について執筆する</p>

		<p>【事前学習】2 時間 4.3 節の実験・実証結果 2 を受けての考察について、自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、5.2 節の考察について執筆を進める</p>
第 24 回	第 5 章考察 4	<p>「5.3 節. 考察 3」について執筆する。具体的には、4.4 節の実験・実証結果 3 を受けての考察について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間 4.4 節の実験・実証結果 3 を受けての考察について、自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、5.3 節の考察について執筆を進める</p>
第 25 回	第 5 章考察 5	<p>「5.4 節. 考察 4」について執筆する。具体的には、4.5 節の実験・実証結果 4 を受けての考察について執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間 4.5 節の実験・実証結果 4 を受けての考察について、自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、5.4 節の考察について執筆を進める</p>
第 26 回	第 5 章考察 6	<p>「5.5 節. 考察のまとめ」について執筆する。具体的には、これまでの考察のまとめを行い、本研究の有効性について掘り下げて執筆する</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの考察のまとめる形で本研究の有効性について自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、本研究成果の考察のまとめについて執筆を進める</p>
第 27 回	第 6 章おわりに 1	<p>本研究が属する学問分野について述べ、その分野の社会的意義について「第 1 章. はじめに」の内容を簡潔にまとめる形で執筆</p> <p>【事前学習】2 時間 本研究が属する学問分野と、その分野の社会的意義について、「第 1 章. はじめに」の内容をまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、本研究が属する学問分野と、その分野の社会的意義についての執筆を進める</p>
第 28 回	第 6 章おわりに 2	<p>先行研究では、どこまでのことが明らかにされていて、現状どのような課題が存在するのか、について「第 2 章. 先行・関連研究」の内容を簡潔にまとめる形で執筆</p> <p>【事前学習】2 時間 先行研究で明らかにされてきた内容と、現状どのような課題が存在するのかについて、「第 2 章. 先行・関連研究」の内容をまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、先行研究で明らかにされてきた内容と、現状どのような課題が存在するのかについての執筆を進める</p>
第 29 回	第 6 章おわりに 3	<p>先行・関連研究の課題に対し、本研究ではどのようなアプローチによって何をどこまで明らかにしたのかについて、第 3 章～第 5 章の内容をまとめる形で執筆</p> <p>【事前学習】2 時間 第 3 章～第 5 章の内容をあらかじめまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、先行・関連研究の課題に対し、本研究ではどのようなアプローチによって何をどこまで明らかにしたのか、についての執筆を進め</p>

		る
第 30 回	第 6 章おわりに 4	<p>今後の課題について執筆</p> <p>【事前学習】2 時間 今後の課題について、あらかじめ自分の考えをまとめておく</p> <p>【事後学習】2 時間 卒論指導した内容を元に、今後の課題についての執筆を行い、卒業論文を完成させる</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
40%	40%	0%	20%	0%	100%

評価の特記事項

- ・卒業論文を授業期間試験に換算して評価します
- ・毎回の卒論進捗をレポートとして報告していただきます
- ・公欠を含め出席が 8 割未満の場合は成績評価の対象としません
- ・無断欠席 2 回で退ゼミとします

テキスト

必要があれば授業の中で適宜紹介します。

参考文献

必要があれば授業の中で適宜紹介します。

オフィスアワー

- ・日時：水曜日の 3 時限
- ・場所：日本大学経済学部 8 号館 3-24
- ・注意事項：事前にアポイントを取り、指示された時間帯に上記の場所で相談を受けます。

学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）

「研究は一日にして成らず」ですので、日々主体的に研究を進めてください。

授業用 URL

参考 URL 1

参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	10
担当教員	大場 允晶	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水5	単位区分	選
講義室	3083	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、ゼミⅠ・ゼミⅡをベースとした専門知識を活用し、大学最後の総仕上げとして卒業論文を完成させるための基本的な取り組み、行動ができ、就職試験時に大学で学んだことを明言できるようになることを目標とする。また、組織の中で、自分のビジョンを持ち、自分で問題点を見つけ、自分で解決策を決められるリーダーとなれる人材として活躍できるようになる。</p> <p style="text-align: center;">対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>大学卒業年度に卒論を書く意義、目的を理解する。卒論のテーマ選定の原則、オリジナリティの重要性を理解する。卒論の基本構成を習得する。卒論作成の概略スケジュールを理解して卒論作成の個人スケジュールを作ることが出来るようにする。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション：ゼミ I・ゼミ II をベースとした卒論授業の概要，スケジュール、授業の進め方を解説	授業開始に当って、卒論ゼミ授業の概要，スケジュール、授業の進め方を理解する。 【事前学習】2 時間 EcoLink 等から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行できるようにしておくこと。
第 2 回	卒論のテーマ仮決定 1	卒論を書く目的、ルールを理解して、個人別に卒論予稿を作成し、提出する。 【事前学習】2 時間 予稿フォーマットをダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行できるようにしておくこと。
第 3 回	卒論のテーマ仮決定 2	個人別に作成した卒論予稿を発表し、質疑応答により予稿を修正し、個人ごとの卒論のテーマを仮決定する。 【事前学習】2 時間 作成した予稿を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 4 回	卒論のテーマ仮決定 3	個人別に作成した卒論予稿を発表し、質疑応答により予稿を修正し、個人ごとの卒論のテーマを仮決定する。 【事前学習】2 時間 作成した予稿を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 5 回	卒論のテーマ仮決定 4	個人別に作成した卒論予稿を発表し、質疑応答により予稿を修正し、個人ごとの卒論のテーマを仮決定する。 【事前学習】2 時間 作成した予稿を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 6 回	卒論個別指導演習 1	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 7 回	卒論個別指導演習 2	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 8 回	卒論個別指導演習 3	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 9 回	卒論個別指導演習 4	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行し

		ておくこと。
第 10 回	卒論個別指導演習 5	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 11 回	卒論個別指導演習 6	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 12 回	卒論個別指導演習 7	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 13 回	卒論個別指導演習 8	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 14 回	卒論個別指導演習 9	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた予稿から 1 次論文の全体構想を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 15 回	卒論個別指導演習のまとめ	個人別に作成した卒論予稿から 1 次論文を作成するために、卒論全体構想を見直す。 【事前学習】2 時間 指導を受けた 1 次論文の全体構想から 1 次論文を作成着手する。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行し、1 次論文を完成させる準備をしておくこと。
第 16 回	卒論 1 次の個別指導	個人別に作成した 1 次論文を提出し、説明できるようにしておく。 【事前学習】2 時間 作成した 1 次論文の内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 17 回	卒論 1 次の個別指導	個人別に作成した 1 次論文を提出し、説明できるようにしておく。卒論テンプレートの役割・ルールを理解する。 【事前学習】2 時間 作成した 1 次論文の内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 18 回	卒論 1 次の個別指導	卒論テンプレートを利用して個人別に作成した 1 次論文を提出し、説明できるようにしておく。 【事前学習】2 時間 作成した 1 次論文の内容を説明できるようにしておくこと。

		【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 19 回	卒論 1 次の個別指導	卒論テンプレートを利用して個人別に作成した 1 次論文を提出し、説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 1 次論文の内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 20 回	卒論 1 次の個別指導	卒論テンプレートを利用して個人別に作成した 1 次論文を提出し、説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 1 次論文の内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 21 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 22 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 23 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 24 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 25 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 26 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 27 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにしておくこと。

		【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにして お く こ と 。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 28 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにして お く 。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにして お く こ と 。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 29 回	卒論 2 次の個別指導	個人別に作成した 2 次論文の修正指摘事項の訂正案を説明できるようにして お く 。 【事前学習】2 時間 作成した 2 次論文の修正内容を説明できるようにして お く こ と 。 【事後学習】2 時間 授業中に指摘されたことや必要な調査内容を実行しておくこと。
第 30 回	卒論授業のまとめ	大学指定の期間に提出した卒論を評価し、成績を付ける。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし、よく読んでおくこと 【事後学習】2 時間 授業中に取り決めたことや調査分担した内容を実行しておくこと。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・2万字以上の卒論提出が卒論ゼミ単位取得の前提とする。 ・出席の良い者は加算する。 					

テキスト	
指定しない	
参考文献	
オフィスアワー	
随時。事前にメールでアポを取ること。 お、メールアドレスは ohba.masaaki@nihon-u.ac.jp とする。	な
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）	
授業用 URL	
参考 URL 1	
参考 URL 2	

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	11
担当教員	大森 信	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月2	単位区分	選
講義室	3102	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>学生が自分の担当する箇所についての報告資料を作成して、それを全員に配付し、報告・討議を重ねて理解を深めていきます。「専門研究(-)」「2年」では、加護野忠男『1からの経営学』碩学舎を、「専門研究(=)」「3年」では、金井一頼ほか『経営戦略』有斐閣をテキストとして使用する予定です。テキストの輪読や報告、討議を通じて、経営学についての知識の獲得とともに読解力・文章力・プレゼンテーション力を高めていくことも目標としています。「卒業論文」「4年」では、【2年】【3年】のゼミで習得した知識に基づきながら、調査対象企業の経営戦略とマネジメントについて調査・分析していきます。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>企業の戦略とマネジメントについて研究・調査するゼミナールです。「専門研究(-)」「2年」と「専門研究(=)」「3年」では、経営学および経営戦略論の基本的な理論や考え方を身に付けることを目標にします。「卒業論文」「4年」では、調査対象企業を各自が選択して、その実態を調査・分析していきます。【2年】【3年】のゼミで習得した知識に基づきながら、分析をしていきます。3年間のゼミを通じて、社会に対する関心を高めて、洞察力を深めていけるようになることをねらいとしています。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2時間 専門研究（二）の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2時間 資料等により理解を深める。
第2回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第3回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第4回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第5回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第6回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第7回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第8回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第9回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第10回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間

		授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 17 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 18 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 19 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 20 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 21 回	卒業論文の途中経過報告	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。

	⑥	【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 22 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 23 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 24 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 25 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 26 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 27 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 28 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 29 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 30 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	100%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	13
担当教員	小滝 一彦	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3073	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>各受講者が経済政策に関する自らの関心テーマについて卒業論文を作成する。経済政策の必要性または効果に関する新たな知見を検証し、短く不完全であっても論文の形にすることを目標とする。</p> <p>対応DP及びCP 5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、各受講者の論文作成を通じて、経済政策の必要性や効果に関する理論モデル、データの取得方法、統計分析の手法、論文作成の手順について指導する。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	卒業論文作成の手順、スケジュール。
第 2 回	研究分野について①	各受講生の興味のある分野について発表し検討する。 【事前学習】2 時間 興味ある分野について調べる 【事後学習】2 時間 ディスカッションを踏まえ、興味ある分野について調べる
第 3 回	研究分野について②	各受講生の興味のある分野について発表し検討する。 【事前学習】2 時間 興味ある分野について調べる 【事後学習】2 時間 ディスカッションを踏まえ、興味ある分野について調べる
第 4 回	研究分野について③	各受講生の興味のある分野について発表し検討する。 【事前学習】2 時間 興味ある分野について調べる 【事後学習】2 時間 ディスカッションを踏まえ、興味ある分野について調べる
第 5 回	「論文」と「本」の違い	論文のスタイル、他人のつくった知識と自分の作った知識の峻別について 【事前学習】2 時間 他人の論文を読んでくる 【事後学習】2 時間 講義を踏まえ、自分の選んだ論文の中の「著者の作った知識」がどこか、確認する
第 6 回	文献検索について	文献検索サイトの使い方を学ぶ 【事前学習】2 時間 自らの興味あるテーマの文献リストを作成する 【事後学習】2 時間 より効率的な文献検索を試みる
第 7 回	引用について	引用の方法について学ぶ 【事前学習】2 時間 他人の論文における引用と、章末文献リストを確認する 【事後学習】2 時間 教科書レベルの引用不要のレベルについて確認する
第 8 回	研究手法について①	新しいデータセットの構築そのものが論文となることを学ぶ。 【事前学習】2 時間 データ構築のみの論文を探す 【事後学習】2 時間 データ構築のみの論文を引用している論文を探す
第 9 回	研究手法について②	少数の事例の分析が論文となることを学ぶ 【事前学習】2 時間 事例研究のみの論文を探す 【事後学習】2 時間 事例研究のみの論文を引用している論文を探す
第 10 回	研究手法について③	データの統計的分析が論文となることを学ぶ 【事前学習】2 時間 データの統計的記述のみの論文を探す 【事後学習】2 時間 データの統計的記述のみの論文を引用している論文を探す。
第 11 回	研究手法について④	理論モデルの統計的検証が論文となることを学ぶ 【事前学習】2 時間 理論モデルの検証をした論文を探す。 【事後学習】2 時間 理論モデルの検証をした論文を引用している論文を探す。
第 12 回	テーマ案の発表①	各受講生から、論文のテーマ案を発表する 【事前学習】2 時間 テーマ案を作成する 【事後学習】2 時間 指摘を受けてテーマ案を修正する
第 13 回	テーマ案の発表②	各受講生から、論文のテーマ案を発表する 【事前学習】2 時間 テーマ案を作成する 【事後学習】2 時間 指摘を受けてテーマ案を修正する
第 14 回	参考文献の紹介①	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2 時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2 時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第 15 回	参考文献の紹介②	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2 時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2 時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第 16 回	参考文献の紹介③	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2 時間 自らが紹介する参考文献を読む

		【事後学習】2時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第17回	参考文献の紹介④	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第18回	参考文献の紹介⑤	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第19回	参考文献の紹介⑥	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第20回	参考文献の紹介⑦	各受講生から、自らの研究の関連研究の文献を紹介する 【事前学習】2時間 自らが紹介する参考文献を読む 【事後学習】2時間 他の受講生が紹介した参考文献を読む
第21回	研究のアウトラインの発表①	各受講生から、自らの研究の大きな方向を紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究のアウトラインを準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第22回	研究のアウトラインの発表②	各受講生から、自らの研究の大きな方向を紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究のアウトラインを準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第23回	研究のアウトラインの発表③	各受講生から、自らの研究の大きな方向を紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究のアウトラインを準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第24回	結果表の検討①	各受講生から、自らの研究の結果表などを紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究の結果表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第25回	結果表の検討②	各受講生から、自らの研究の結果表などを紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究の結果表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第26回	結果表の検討③	各受講生から、自らの研究の結果表などを紹介する 【事前学習】2時間 自らの研究の結果表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けてアウトラインを再考する
第27回	草稿発表及びコメント①	各受講生が、自らの卒業論文の草稿を発表する 【事前学習】2時間 自らの発表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けて草稿を修正する
第28回	草稿発表及びコメント②	各受講生が、自らの卒業論文の草稿を発表する 【事前学習】2時間 自らの発表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けて草稿を修正する
第29回	草稿発表及びコメント③	各受講生が、自らの卒業論文の草稿を発表する 【事前学習】2時間 自らの発表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けて草稿を修正する
第30回	草稿発表及びコメント④	各受講生が、自らの卒業論文の草稿を発表する 【事前学習】2時間 自らの発表を準備する 【事後学習】2時間 指摘を受けて草稿を修正する

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
特になし
参考文献
講義内で指示
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
知識を学ぶことと、知識を創ることは、大きな違いがあります。論文作成という特別なプロセスを達成することが目標です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	14
担当教員	小柳 治宣	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水3	単位区分	選
講義室	7093	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>社会保障の現状や課題を考察し、社会保障のあるべき姿を考えていくとともに、社会保障の理念・制度の形成及び発展過程を考察することにより、社会保障の本質や意義を問い直す。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>社会保障の形成及び発展過程を考察することにより、社会保障の本質を明らかにし、そこから現代における社会保障制度の抱えている様々な課題や問題点を究明するための手がかりを求めていく。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	研究課題の設定	事前学習：2時間 2年間の授業内容をもとに研究課題を検討する。
第2回	資料の収集方法について	事前学習：2時間 個々人のテーマに応じ、質疑応答を行なう。
第3回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第4回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第5回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第6回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第7回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第8回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第9回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第10回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第11回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第12回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第13回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第14回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第15回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第16回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第17回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第18回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第19回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第20回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第21回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第22回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第23回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第24回	研究成果の報告	事前学習：2時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第25回	研究成果の報告	事前学習：2時間

		研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第 26 回	研究成果の報告	事前学習：2 時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第 27 回	研究成果の報告	事前学習：2 時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第 28 回	研究成果の報告	事前学習：2 時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第 29 回	研究成果の報告	事前学習：2 時間 研究成果の報告とともに、質疑応答を行なう。
第 30 回	まとめ	3 年間の総括を行なう。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					

テキスト
授業時に指示します。
参考文献
伊藤周平『社会保障史・恩恵から権利へ』青木書店，1994. 足立正樹『各国の社会保障』（新版）法律文化社，1993. 小塩隆士『社会保障の経済学』日本評論社，1998. 小柳治宣『社会保障の源流』朝文社，2004. 小柳治宣『社会保障の潮流』朝文社，2007.
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
特になし。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	75
担当教員	オルシニ フィリップ	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月3	単位区分	選
講義室	3133	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本講義では、国際経営学で使用されている概念と用語を理解し、特定の企業の海外展開を卒業論文で説明することを目標とします。</p> <p>また、私たちの身近な業界とそうでない業界がを経営学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できるようになることを目指します。</p> <p>このような学習を通じて、経営学的な考え方を理解し、経営学とはどのような学問なのかを説明できるようになる。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>本講義では、経営学を本格的に学修する準備として、本国市場、業界、企業、同業他社、外資系企業、海外展開、海外市場、海外子会社、海外生産、海外仕入、国際的人的資源管理など、海外展開している企業が使用している経営的概念・用語について研究します。これによって、国際経営学とはどのような学問なのかを理解してもらい、専門的な学修に向けた基礎を身につけてもらいます。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 身近な問題を経営学的な視点から捉えてみよう。 【事前学習】2時間 EcoLink 又は Google Classroom から資料をダウンロードし，よく読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第2回	業界と企業	興味のある業界・企業を選んで卒論のテーマにする。卒業論文の中間発表（論文の進行報告）は個人で行う。個人ファイルを作って共有する。 【事前学習】2時間 興味のある業界・企業を事前に考える。 【事後学習】2時間 興味のある業界・企業の概要の下調べを始める。
第3回	業界と企業：卒業論文の中間発表	業界・企業の概要をグループで発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2時間 興味のある業界・企業の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第4回	同業他社（国内）	同業他社（国内）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2時間 同業他社（国内）を事前に考える。 【事後学習】2時間 同業他社（国内）の概要の下調べを始める。
第5回	同業他社（国内）：卒業論文の中間発表	同業他社（国内）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2時間 同業他社（国内）の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第6回	国内市場	国内市場の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2時間 国内市場を事前に考える。 【事後学習】2時間 国内市場の概要の下調べを始める。
第7回	国内市場：卒業論文の中間発表	国内市場：発表について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2時間 国内市場：発表の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第8回	国内顧客	国内顧客の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2時間

		国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 9 回	国内顧客：卒業論文の中間発表	国内顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 10 回	海外展開のタイムライン	海外展開のタイムライン（進出した海外の国の順番）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べを始める。
第 11 回	海外展開のタイムライン：卒業論文の中間発表	海外展開のタイムラインについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開のタイムラインの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 12 回	海外売上率	海外売上率（国内売り上げとの比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外売上率を事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外売上率の下調べを始める。
第 13 回	海外売上率：卒業論文の中間発表	海外売上率について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外売上率の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 14 回	主な海外市場の規模	主な海外市場の規模（順位、比較）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模を事前に考える。 【事後学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べを始める。
第 15 回	主な海外市場の規模：卒業論文の中間発表	主な海外市場の規模について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 主な海外市場の規模の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 16 回	海外市場の競争相手（ローカル）	海外市場でのローカルな競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）を事前に考える。 【事後学習】2 時間

		海外市場の競争相手（ローカル）の下調べを始める。
第 17 回	海外市場の競争相手（ローカル）：卒業論文の中間発表	海外市場の競争相手（ローカル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（ローカル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 18 回	海外市場の競争相手（グローバル）	海外市場でグローバル展開している競争相手の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 19 回	海外市場の競争相手（グローバル）：卒業論文の中間発表	海外市場の競争相手（グローバル）について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の競争相手（グローバル）の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 20 回	主な海外市場の顧客	主な海外市場の顧客（国内顧客、グローバル客層等との相違点）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 国内顧客を事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 21 回	主な海外市場の顧客：卒業論文の中間発表	海外市場の顧客について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外市場の顧客の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 22 回	海外進出のモード	海外進出のモード（輸出、ライセンス、合併企業、子会社等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードを事前に考える。 【事後学習】2 時間 国内顧客の概要の下調べを始める。
第 23 回	海外進出のモード：卒業論文の中間発表	海外進出のモードについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出のモードの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 24 回	海外進出の現地パートナー	海外進出の現地パートナー（選び方、プロフィール等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーを事前に考える。 【事後学習】2 時間

		国内顧客の概要の下調べを始める。
第 25 回	海外進出の現地パートナー：卒業論文の中間発表	海外進出の現地パートナーについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外進出の現地パートナーの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 26 回	海外生産と仕入れ	海外生産と仕入れ（絵画販売に対して）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れを事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べを始める。
第 27 回	海外生産と仕入れ：卒業論文の中間発表	海外生産と仕入れについて発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外生産と仕入れの下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 28 回	海外展開と人事	海外展開と人事（海外派遣者、ローカル人材の育成等）の調べ方を説明する。一緒に調べる。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事事前に考える。 【事後学習】2 時間 海外展開と人事の下調べを始める。
第 29 回	海外展開と人事：卒業論文の中間発表	海外展開と人事について発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 海外展開と人事の下調べをまとめる。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。
第 30 回	まとめ：卒業論文の発表	今までの発表（卒業論文のテーマ）をまとめて短い発表する。他のゼミ生・教授からのコメント・質問を受ける。 【事前学習】2 時間 今までの発表にもう一回目を通す。 【事後学習】2 時間 他のゼミ生・教授から受けたコメント・質問に基づいて再チェックして発表内容を訂正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	90%	0%	10%	0%	100%
評価の特記事項					
卒業論文（=レポート），参加（発言），率先。					

テキスト
なし
参考文献
国際ビジネス 3 チャールズ・W.L. ヒル（著） 楽工社 2014 年 ISBN-10 : 4903063615 ISBN-13 : 978-4903063614
オフィスアワー
授業時に指示する 連絡先 : ecfu80096@g.nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
企業の海外展開に興味のある学生。特に、すでにある業界に興味を持っている学生。調べ物が好きな学生。自発的に研究を進む学生。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	15
担当教員	加藤 恭子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火3	単位区分	選
講義室	3134	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 組織において「どのように人が管理されているのか」、人事労務管理の諸制度を理解できる。 2. 人事労務管理の諸制度が「どのような背景から生まれてきたのか」、歴史、産業・組織心理学、労働経済学など学際的な視点から理解できる。 3. 人事労務管理の知識を付けることによって、「将来の自分がどのようなキャリアを歩みたいのか」について様々な視点から考えることができる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>企業や役所などで働くには、まず採用試験を受けます。採用されると、仕事を割り当てられ、それができるよう教育されます。その後、働きぶりを評価され、賃金が支払われます。このような管理が人事労務管理です。</p> <p>【前期】は人事労務管理の諸制度を学ぶことを目的としております。具体的には、人事労務管理の様々な施策について、実際の企業例を挙げつつ研究します。</p> <p>【後期】は人事労務管理のベースとなる産業・組織心理学について学ぶことを目的としています。各制度の学問的な背景として、産業・組織心理学の理論について学びます。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	研究成果の報告（報告者①）	報告者①の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第2回	研究成果の報告（報告者②）	報告者②の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第3回	研究成果の報告（報告者③）	報告者③の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第4回	研究成果の報告（報告者④）	報告者④の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第5回	研究成果の報告（報告者⑤）	報告者⑤の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第6回	研究成果の報告（報告者⑥）	報告者⑥の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第7回	研究成果の報告（報告者⑦）	報告者⑦の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。

第 8 回	研究成果の報告（報告者⑧）	報告者⑧の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 9 回	研究成果の報告（報告者⑨）	報告者⑨の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 10 回	研究成果の報告（報告者⑩）	報告者⑩の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 11 回	研究成果の報告（報告者⑪）	報告者⑪の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 12 回	研究成果の報告（報告者⑫）	報告者⑫の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 13 回	研究成果の報告（報告者⑬）	報告者⑬の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 14 回	研究成果の報告（報告者⑭）	報告者⑭の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。
第 15 回	研究成果の報告（報告者⑮）	報告者⑮の卒論内容の報告と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容のためのレジュメを作成し、事前に配付する。

		<p>報告者以外は配付されたレジュメを読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も授業内容を振り返り、レジュメを再確認する。</p>
第 16 回	研究成果の報告（報告者①）	<p>報告者①の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 17 回	研究成果の報告（報告者②）	<p>報告者②の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 18 回	研究成果の報告（報告者③）	<p>報告者③の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 19 回	研究成果の報告（報告者④）	<p>報告者④の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 20 回	研究成果の報告（報告者⑤）	<p>報告者⑤の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 21 回	研究成果の報告（報告者⑥）	<p>報告者⑥の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p> <p>報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。</p>
第 22 回	研究成果の報告（報告者⑦）	<p>報告者⑦の論文発表と質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>論文を作成し、事前に配付する。</p> <p>報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。</p>

		報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 23 回	研究成果の報告（報告者⑧）	報告者⑧の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 24 回	研究成果の報告（報告者⑨）	報告者⑨の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 25 回	研究成果の報告（報告者⑩）	報告者⑩の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 26 回	研究成果の報告（報告者⑪）	報告者⑪の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 27 回	研究成果の報告（報告者⑫）	報告者⑫の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 28 回	研究成果の報告（報告者⑬）	報告者⑬の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 29 回	研究成果の報告（報告者⑭）	報告者⑭の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
第 30 回	研究成果の報告（報告者⑮）	報告者⑮の論文発表と質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間

		論文を作成し、事前に配付する。 報告者以外は配付された論文を読み、質問を考える。 【事後学習】2 時間 発表に対する他者からのフィードバックを振り返り、論文の内容を修正する。 報告者以外も他者のフィードバックを振り返り、自分の論文を修正する。
--	--	---

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	40%	0%	100%
評価の特記事項					
・成績評価は、レポート（卒業論文）、授業への参画度（本ゼミの発表、質問など）により決定する。					

テキスト
・岩出博著『LECTURE 人事労務管理』泉文堂，4410 円。
参考文献
・日本経団連労働政策本部編『人事労務用語辞典』日本経団連出版，2520 円。
・岩出博（編）『従業員満足のための人的資源管理』中央経済社，2970 円。
・田尾雅夫（編）『組織行動の社会心理学』北大路書房，2750 円。
オフィスアワー
・金曜日の 15：00～16：00 をオフィスアワーとします。
・事前にアポを取っていただくと助かります。
・アポやその他質問についてはメール（kato.kyoko@nihon-u.ac.jp）でご連絡ください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・後輩たちの前で、同期の代表者として追いコンの前に卒論発表ができるよう、1 年間頑張りましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	16
担当教員	金谷 貞男	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	土2	単位区分	選
講義室	7062	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミで学んだトピックのうち、興味のあるものを選び、自分なりに深く報告する。 対応DP及びCP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
論文を書く作業を通じて、各対象について理解を深める。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論文の書き方の説明	論文を書き方については一定の書式があります。それを指示します。 【事後学習】2 時間。論文の書き方について、完全に理解すること。
第 2 回	自分の興味あるトピックについて選んで報告	自分の興味あるトピックについて選んで報告してください。 【事前学習】2 時間。トピックを考えてくること。
第 3 回	自分の興味あるトピックについて選んで報告	前回でトピックが決まらない場合に、相談に応じます。 【事前学習】2 時間。トピックを考えてくること。
第 4 回	論文の内容について相談	論文の内容について相談があれば応じます。 【事前学習】2 時間。論文の書き方について、相談内容を考えてくること。
第 5 回	論文の資料について相談	論文の資料の選び方がわからない場合に指導します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 6 回	論文の資料について相談	論文の資料の選び方がわからない場合に指導します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 7 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 8 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 9 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 10 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 11 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 12 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 13 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 14 回	論文執筆上の問題について相談	論文の執筆を始めて、問題があると思ったら、なんでも相談に来てください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 15 回	論文原稿の進展具合について報告	論文執筆具合を各自詳細に報告してください。 【事前学習】2 時間。論文の状況を率直に報告すること。
第 16 回	論文原稿を提出	執筆した論文を提出してください。 【事前学習】2 時間。論文を綺麗にまとめてきてください。
第 17 回	各自の論文原稿の講評	皆さんの提出した論文原稿を私が推敲した上で、間違いその他を指摘します。指摘された間違いを訂正して、再提出してください。 【事後学習】2 時間。私の講評について、考えてください。
第 18 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 19 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 20 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 21 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 22 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 23 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 24 回	論文原稿の書き直しの相談	論文書き直し中に、問題があれば、なんでも相談してください。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。

第 25 回	書き直した論文原稿の提出	書き直した論文を提出してください。 【事前学習】2 時間。書き直した論文を綺麗に提出してください。
第 26 回	さらに書き直しの指示	問題の残る原稿について、さらに書き直しを指示します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 27 回	さらに書き直す	問題の残る原稿について、さらに書き直しを指示します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 28 回	さらに書き直す	問題の残る原稿について、さらに書き直しを指示します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 29 回	さらに書き直す	問題の残る原稿について、さらに書き直しを指示します。 【事後学習】2 時間。私のアドバイスをよく考えてください。
第 30 回	論文提出の最終的決定	最終的に皆さんの論文の可否を決定します。 【事前学習】2 時間。論文の書き方に注意して、提出してください。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100%	100%
評価の特記事項					
私が皆さんの論文を読んで、「これなら可」と事前に了解しない限り、皆さんが独自に教務課に論文を提出しても、成績に可が着く保証はありません。					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
この授業の1時限前の授業時間。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	17
担当教員	上村 能弘	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火2	単位区分	選
講義室	3114	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本授業では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の学問的な興味を再発見し、それを研究テーマに昇華させて、その学問的な意義を説明できる。 2. 自己の研究テーマにしたがって研究資料を探索し、それを利用して真理を探究し、その内容を卒業論文にまとめることができる。 3. 自己のまとめた卒業論文を基礎に、その内容を発表し議論することができる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>いよいよ卒業論文作成の年となりました。最終学年は、進路の決定もおこなわなければなりませんから、本当に忙しい。これまでに作成し蓄積してきた資料（レジュメ）や研究メモを活用して、うまく時間配分をしながら卒業論文を手際よくまとめてください。卒業論文の完成が、ある程度見通せるようになった時点で、後輩たちにその成果を分けてあげてください。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミの内容, 進め方, 形式, 評価方法, 履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 2 回	卒業論文作成のヒント	卒業論文を作成するうえでの注意事項を紹介し, 文献目録作成の方法などを再確認する。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 3 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって, 報告者が研究 (卒業論文草稿の内容) の中間発表をおこない, それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料 (レジュメ) をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 4 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって, 報告者が研究 (卒業論文草稿の内容) の中間発表をおこない, それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料 (レジュメ) をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 5 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって, 報告者が研究 (卒業論文草稿の内容) の中間発表をおこない, それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料 (レジュメ) をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 6 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって, 報告者が研究 (卒業論文草稿の内容) の中間発表をおこない, それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料 (レジュメ) をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 7 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって, 報告者が研究 (卒業論文草稿の内容) の中間発表をおこない, それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料 (レジュメ) をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。

第 8 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 9 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 10 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 11 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 12 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 13 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 14 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 15 回	振り返りと、今後の研究の展望〔 I 〕	これまでの研究発表をふまえ、ゼミ生各自の卒業論文草稿を再検討し、今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間

		<p>これまでに配付した資料（レジュメ）を整理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに卒業論文草稿を修正する。</p>
第 16 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 17 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 18 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 19 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 20 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 21 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>
第 22 回	研究成果の報告	<p>ゼミ生各自の研究テーマにそって，報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない，それに対する質疑応答・討論をおこなう。</p> <p>【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。</p>

第 23 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 24 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 25 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 26 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 27 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 28 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 29 回	研究成果の報告	ゼミ生各自の研究テーマにそって、報告者が研究（卒業論文草稿の内容）の中間発表をおこない、それに対する質疑応答・討論をおこなう。 【事前学習】2 時間 あらかじめ配付された資料（レジュメ）をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと。
第 30 回	振り返りと、今後の研究の展望〔Ⅱ〕	これまでの研究発表をふまえ、ゼミ生各自の卒業論文草稿を再検討し、今後の研究を展望する。 【事前学習】2 時間

		これまでに配付した資料（レジユメ）を整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに卒業論文草稿を修正する。
--	--	--

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
自分の研究発表はもちろん、他のゼミ生の研究発表に対して質問やコメントをおこなうこともあわせて重視する。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表に当たっては、必ず資料（レジュメ）を作成して、事前に各ゼミ生に配布できるように準備しておくこと。 ・自分の研究発表に対して他のゼミ生から寄せられた質問やコメントを、それ以降の研究に反映できるように研究メモに整理しておくこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	19
担当教員	川崎 茂	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3083	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>この科目では、学生が次の知識・能力を修得することを目標とします。</p> <p>① 多様なグローバルな社会経済課題の中から影響度の大きい重要なものを調べ、情報を整理して発表できること。</p> <p>② グローバルな課題の背景にある多面的な側面を理解し、可能な限り客観的な事実に基づいて解釈・説明できること。</p> <p>③ 資料の取りまとめ・ディスカッションを通じて、自らの考えを適切に発表し、議論に活かすこと。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>この授業では、卒業論文の作成を通じて、学生が自ら選んだテーマについて深く調べ、考察し、文章を作成する力を修得することを目標とします。</p> <p>これまでの学生生活で学んできた各科目の様々な知識を総合的に活用し、実際の研究課題に適用することにより、社会・経済の課題に対する総合的な理解を深めます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	導入	卒業論文の進め方について説明する。ゼミ生は、3 年次に作成した卒論の構想メモを提出し、その内容について説明し、それについて質疑応答を行う。今後の具体的な方向性及び進め方・手順等について、議論の上決定する。 事前学習：卒論の構想メモを作成する。 事後学習：次回に向けて出す課題に対応すること
第 2 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 3 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 4 回	資料集珠・分析	発論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 5 回	資料集珠・分析	発表の当番に当論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 6 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 7 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 8 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 9 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 10 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 11 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 12 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 13 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 14 回	資料集珠・分析	論文作成に必要な基礎情報を整理し、分析して報告する。 事前学習：2 時間。文献収集、読み込み、分析等を行い、メモにまとめる。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。
第 15 回	前期のまとめ	これまでに収集した情報を整理し、全体像をメモにとりまとめる。 事前学習：2 時間。情報収集・分析メモを読み返し、論文に盛り込むべきポイントをメモとして作成する。事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて次の対応を検討する。

第 16 回	アウトラインの作成	論文のアウトラインを提出する。その内容について質疑応答を行い、必要に乗じて改善を加える。 事前学習：2 時間。アウトラインを作成する。 事後学習：1 時間。本日の議論を踏まえて改善する。
第 17 回	アウトラインの作成	論文のアウトラインを提出する。その内容について質疑応答を行い、必要に乗じて改善を加える。 事前学習：2 時間。アウトラインを作成する。 事後学習：1 時間。アウトラインを改善する。
第 18 回	論文概要についてプレゼンテーション	卒論の内容について、ゼミ生同士で発表し、質疑応答を行う。質疑応答を踏まえ、論文の内容の肉付けを行う。 事前学習：2 時間。発表用資料の作成、発表準備。 事後学習：1 時間。資料の見直し、論文の具体内容の検討。
第 19 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 20 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 21 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 22 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 23 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 24 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 25 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 26 回	論文執筆	目標とするアウトラインに沿って、文章を順次作成する。文章作成についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文の特定の節の文章を作成する。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 27 回	論文執筆	これまで執筆した文章を論文として統合し、全体として整合性、包括性、表現の適否などを検討する。文章についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文全体の取りまとめを行う。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 28 回	論文執筆	これまで執筆した文章を論文として統合し、全体として整合性、包括性、表現の適否などを検討する。文章についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。

		事前学習：2 時間。論文全体の取りまとめを行う。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 29 回	論文執筆	これまで執筆した文章を論文として統合し、全体として整合性、包括性、表現の適否などを検討する。文章についてアドバイスを受けたら、それに従って文章を改善する。 事前学習：2 時間。論文全体の取りまとめを行う。 事後学習：1 時間。授業における助言を受けて修正する。
第 30 回	論文執筆	完成した論文を学生同士で評価し、今後に向けた教訓を話し合う。 事前学習：2 時間。他のゼミ生の論文を読み、疑問・感想などを整理する。 事後学習：1 時間。卒業論文を通じて学んだことを整理する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70	0%	30	0	100%
評価の特記事項					
一義的には卒業論文の成果に注目して評価しますが、作成過程での取組姿勢、考察の深さも評価の対象とします。論文の作成プロセスを通じて、考えること、調べること、文章をまとめることを学んでほしいと思います。					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
火曜日 16:30~18:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	20
担当教員	川出 真清	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水5	単位区分	選
講義室	A12	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 身の回りの社会現象を経済的側面から調査・分析できる。 社会が抱える問題を経済学、財政学、公共経済学の観点から分析し、解決策を考えられる。 これまで積み重ねてきた研究成果を卒業論文という形式で一貫した論文にまとめることができる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、受講生自身が設定した社会課題について、調査や研究を通じて解決策を模索し、報告や議論を通じて、それらの研鑽を図ります。各自が3年次までに積み重ねてきた研究成果を有機的に結びつけ、不足分について調査研究を進めて報告することで、論文という形式にまとめあげる能力を要請します。また、他者の報告に建設的な提案をする行為を通じて、協力的な学びを促すことをも目的としています。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文の説明	初回は卒業論文の概観の説明を行う。 【事前学習】個別研究の熟読する；2 時間 【事後学習】卒論作成要領を熟読する；2 時間
第 2 回	論文準備の全体指導	論文作成の際の全体的な質問や指導を行う。 【事前学習】これまでの個別研究を精読，論文を部分的に準備してくる；2 時間 【事後学習】指導事項に従って，論文を書きすすめる；2 時間
第 3 回	研究報告 1 回目 (1)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 4 回	研究報告 1 回目 (2)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 5 回	研究報告 1 回目 (3)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 6 回	研究報告 1 回目 (4)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 7 回	研究報告 1 回目 (5)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 8 回	研究報告 1 回目 (6)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 9 回	研究報告 2 回目 (1)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 10 回	研究報告 2 回目 (2)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 11 回	研究報告 2 回目 (3)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 12 回	研究報告 2 回目 (4)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 13 回	研究報告 2 回目 (5)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 14 回	研究報告 2 回目 (6)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し，改善案を検討をする；2 時間 【事後学習】改善提案を踏まえて，論文の改善を行う；2 時間
第 15 回	前期のまとめ	前期の講義を全体的に概観し，夏休み期間中の論文準備について検討する。 【事前学習】各自の論文を熟読し，今後の取り組み方について考察する；2 時間 【事後学習】方針に従って，論文執筆をすすめる；2 時間
第 16 回	研究報告 3 回目 (1)	予め決められた順序で報告を行い，教員や受講生と改善方法を吟味する。

		【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第17回	研究報告 3回目(2)	予め決められた順序で報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第18回	研究報告 3回目(3)	予め決められた順序で報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第19回	研究報告 3回目(4)	予め決められた順序で報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第20回	研究報告 3回目(5)	予め決められた順序で報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第21回	研究報告 3回目(6)	予め決められた順序で報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第22回	研究報告 追加報告(1)	特に検討が必要と考えられる受講者の報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第23回	研究報告 追加報告(2)	特に検討が必要と考えられる受講者の報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第24回	研究報告 追加報告(3)	特に検討が必要と考えられる受講者の報告を行い、教員や受講生と改善方法を吟味する。 【事前学習】報告資料を精読し、改善案を検討をする；2時間 【事後学習】改善提案を踏まえて、論文の改善を行う；2時間
第25回	論文報告会(1)	論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】各自の卒業論文を熟読する；2時間 【事後学習】他の受講生の卒業論文報告を踏まえて、自分の卒業論文の改善を行う；2時間
第26回	論文報告会(2)	論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】各自の卒業論文を熟読する；2時間 【事後学習】他の受講生の卒業論文報告を踏まえて、自分の卒業論文の改善を行う；2時間
第27回	論文報告会(3)	論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】各自の卒業論文を熟読する；2時間 【事後学習】他の受講生の卒業論文報告を踏まえて、自分の卒業論文の改善を行う；2時間
第28回	論文報告会(4)	論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】各自の卒業論文を熟読する；2時間 【事後学習】他の受講生の卒業論文報告を踏まえて、自分の卒業論文の改善を行う；2時間
第29回	論文報告会(5)	論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】各自の卒業論文を熟読する；2時間 【事後学習】他の受講生の卒業論文報告を踏まえて、自分の卒業論文の改善を行う；2時間
第30回	講義のまとめ	卒業論文を通じた学修とは何かについて問い直す。 【事前学習】各自の作成した論文を読み直し、課題を確認する；2時間 【事後学習】卒業論文の作成を通じて、今後の社会生活に活かす方法を

	確認する ; 2 時間
--	-------------

授業形式

- ・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					
報告討論などの参加態度と地域支援活動の参加態度で評価する。					

テキスト
テキストはありません。
参考文献
井堀利宏（2013）「財政学（第4版）」，新世社，2300円（税別）． 上村敏之(2007)「コンパクト 財政学」，新世社． ジョセフ・スティグリッツ（2003）「公共経済学 上・下（第2版・藪下史郎翻訳）」，東洋経済新報社． 井堀利宏(2009)「日本の財政・税制（3訂版）」，税務経理協会． 土居丈朗（2002）「入門公共経済学」，日本評論社．
オフィスアワー
火曜日5限（16：20～17：50）で，希望者は電子メールで事前に予約すること。方法や場所は学生面談室または研究室とする。電子メールアドレスは講義初回に伝える。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
2年次と3年次のゼミナールの研究成果を卒論にまとめてゆきます。これまでの研究を振り返りながらその不足部分を埋めてゆくような研究を進めてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	21
担当教員	岸田 真	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火2	単位区分	選
講義室	3134	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>日本経済に関する個別の論点について、現状および歴史を踏まえた分析や考察を行うことができる。</p> <p>3年間の研究成果を卒業論文という形式で一貫した論文にまとめることができる。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>この授業では、これまでの日本経済史の学習成果をもとに、受講生設定したテーマについて、自ら課題を設定し、その課題について資料調査やデータの収集と分析などを通じて考察し、その成果を卒業論文という形で完成させる。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	卒業論文の概要、1 年間の研究活動の流れについて説明する。 【事前学習】1 時間 個別のテーマ案を考えてくる 【事後学習】2 時間 卒業論文作成要領を熟読する。
第 2 回	研究テーマ報告 (1)	各自の研究テーマ案、研究の動機、研究の目的などについて決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて、テーマについてさらに掘り下げた学習を進める。
第 3 回	研究テーマ報告 (2)	各自の研究テーマ案、研究の動機、研究の目的などについて決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて、テーマについてさらに掘り下げた学習を進める。
第 4 回	研究テーマ報告 (3)	各自の研究テーマ案、研究の動機、研究の目的などについて決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて、テーマについてさらに掘り下げた学習を進める。
第 5 回	研究テーマ報告 (4)	各自の研究テーマ案、研究の動機、研究の目的などについて決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて、テーマについてさらに掘り下げた学習を進める。
第 6 回	文献調査報告 (1)	各自の研究テーマに関するリーディング・リストを作成し、そのうち重要な文献を 2～3 つ選びその内容を報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 リーディング・リストおよび報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて具体的な執筆案を作成する。
第 7 回	文献調査報告 (2)	各自の研究テーマに関するリーディング・リストを作成し、そのうち重要な文献を 2～3 つ選びその内容を報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 リーディング・リストおよび報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて具体的な執筆案を作成する。
第 8 回	文献調査報告 (3)	各自の研究テーマに関するリーディング・リストを作成し、そのうち重要な文献を 2～3 つ選びその内容を報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 リーディング・リストおよび報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて具体的な執筆案を作成する。
第 9 回	文献調査報告 (4)	各自の研究テーマに関するリーディング・リストを作成し、そのうち重要な文献を 2～3 つ選びその内容を報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】2 時間 リーディング・リストおよび報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて具体的な執筆案を作成する。
第 10 回	論文構成案報告 (1)	これまでの報告の結果を踏まえ、卒業論文のテーマ、問題意識、論文構成案までを資料にまとめて報告し、論文の方向性を確定させる。 【事前学習】2 時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて「論文執筆計画書」を作成する。
第 11 回	論文構成案報告 (2)	これまでの報告の結果を踏まえ、卒業論文のテーマ、問題意識、論文構成

		案までを資料にまとめて報告し、論文の方向性を確定させる。 【事前学習】2時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて「論文執筆計画書」を作成する。
第12回	論文構成案報告(3)	これまでの報告の結果を踏まえ、卒業論文のテーマ、問題意識、論文構成案までを資料にまとめて報告し、論文の方向性を確定させる。 【事前学習】2時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて「論文執筆計画書」を作成する。
第13回	論文構成案報告(4)	これまでの報告の結果を踏まえ、卒業論文のテーマ、問題意識、論文構成案までを資料にまとめて報告し、論文の方向性を確定させる。 【事前学習】2時間 報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて「論文執筆計画書」を作成する。
第14回	「論文執筆計画書」の提出	各自の卒業論文の「論文執筆計画書」を作成し、教員の指導を受ける。 【事前学習】2時間 「論文執筆計画書」の作成 【事後学習】2時間 指導・討論の結果を踏まえて、論文執筆にむけた具体的な作業に取り掛かる。
第15回	前期のまとめ	前期の振り返りを行うとともに、夏季休暇および後期までの課題を確認する。 【事前学習】2時間 これまでの各自の報告資料を熟読し復習する。 【事後学習】2時間 計画に従って論文執筆を進める
第16回	研究報告1回目(1)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第17回	研究報告1回目(2)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第18回	研究報告1回目(3)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第19回	研究報告1回目(4)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第20回	研究報告2回目(1)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第21回	研究報告2回目(2)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第22回	研究報告2回目(3)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第23回	研究報告2回目(4)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4時間 論文原稿・報告資料を作成する。

第 24 回	研究報告 3 回目 (1)	【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。 各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4 時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第 25 回	研究報告 3 回目 (2)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4 時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第 26 回	研究報告 3 回目 (3)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4 時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第 27 回	研究報告 3 回目 (4)	各自の卒業論文の内容について、決められた順番に従って報告し、教員や他の受講生と討論する。 【事前学習】4 時間 論文原稿・報告資料を作成する。 【事後学習】3 時間 指導・討論の結果を踏まえて論文の改善をおこなう。
第 28 回	完成原稿の提出	表紙・目次・本文・参考文献一覧など、全ての必要要素のそろった完成原稿を提出し、教員の最終チェックを受ける。 【事前学習】2 時間 提出用論文の完成 【事後学習】2 時間 最終チェックの結果を踏まえて内容を修正する。
第 29 回	卒論報告会 (1)	卒業論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】2 時間 報告プレゼンを準備する。 【事後学習】2 時間 他の受講生の卒業論文報告について理解を深める。
第 30 回	卒論報告会 (2)	卒業論文報告会を実施し、他の受講生の卒業論文から学びを深める。 【事前学習】2 時間 報告プレゼンを準備する。 【事後学習】2 時間 他の受講生の卒業論文報告について理解を深める。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70	0%	30	0%	100%
評価の特記事項					
卒業論文の評価は、1年間を通じた報告の内容および最終提出物である卒業論文の内容によって行う。					

テキスト
授業内で適宜指示する。
参考文献
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
とくに日時は指定せず、学生からの要望に応じて適宜実施する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文は「提出すればよい」ものではなく、1年間の研究活動のプロセス全体が「卒業研究」となる。 課題の提出が滞ったり、研究への意欲が失われたと判断された学生については、途中であっても退会させる可能性があるので注意すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	22
担当教員	権 赫旭	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水2	単位区分	選
講義室	3113	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現実経済社会問題を経済学の考え方と方法論に基づいて分析できる。 2. 自ら分析した結果に基づいて問題解決策を提示できる。 3. 自ら提示した問題解決策と他の解決策を比較し、議論できる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>ゼミナールでは、ゼミナールで学んだ内容を独自のテーマに適用して卒業論文を作成する。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文の書き方と完成プロセス	卒業論文の書き方と完成プロセスについて説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから講義ノートをダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 インターゼミナルナルで発表した内容を深掘したテーマを考える。
第 2 回	グループ分けと卒業論文研究テーマの決定	グループを 5 つに分けと各自の研究テーマの決定する 【事前学習】2 時間 各自の研究テーマを提出すること。 【事後学習】2 時間 コメントを考えておくこと。
第 3 回	グループ 1 の卒業論文作成のための準備	各自の研究テーマに関連する先行研究と資料について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから推薦した先行研究と資料をダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】4 時間 自分の研究テーマと先行研究、資料を関連づけて論文作成を開始する。
第 4 回	グループ 2 の卒業論文作成のための準備	各自の研究テーマに関連する先行研究と資料について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから推薦した先行研究と資料をダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】4 時間 自分の研究テーマと先行研究、資料を関連づけて論文作成を開始する。
第 5 回	グループ 3 の卒業論文作成のための準備	各自の研究テーマに関連する先行研究と資料について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから推薦した先行研究と資料をダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】4 時間 自分の研究テーマと先行研究、資料を関連づけて論文作成を開始する。
第 6 回	グループ 4 の卒業論文作成のための準備	各自の研究テーマに関連する先行研究と資料について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから推薦した先行研究と資料をダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】4 時間 自分の研究テーマと先行研究、資料を関連づけて論文作成を開始する。
第 7 回	グループ 5 の卒業論文作成のための準備	各自の研究テーマに関連する先行研究と資料について説明する。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから推薦した先行研究と資料をダウンロードして読んでおくこと。 【事後学習】4 時間 自分の研究テーマと先行研究、資料を関連づけて論文作成を開始する。
第 8 回	グループ 1 の卒業論文 1 次報告	先行研究と資料に基づいて書いた論文を報告する。 【事前学習】10 時間 先行研究と資料に基づいて各自の研究テーマの論文を作成する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 9 回	グループ 2 の卒業論文 1 次報告	先行研究と資料に基づいて書いた論文を報告する。 【事前学習】10 時間 先行研究と資料に基づいて各自の研究テーマの論文を作成する。 【事後学習】2 時間

		報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 10 回	グループ 3 の卒業論文 1 次報告	<p>先行研究と資料に基づいて書いた論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 先行研究と資料に基づいて各自の研究テーマの論文を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 11 回	グループ 4 の卒業論文 1 次報告	<p>先行研究と資料に基づいて書いた論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 先行研究と資料に基づいて各自の研究テーマの論文を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 12 回	グループ 5 の卒業論文 1 次報告	<p>先行研究と資料に基づいて書いた論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 先行研究と資料に基づいて各自の研究テーマの論文を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 13 回	グループ 1 の卒業論文 2 次報告	<p>1 次報告会でもらったコメントに対応して改訂した論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 1 次報告会でもらったコメントに対応して論文を改訂する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 14 回	グループ 2 の卒業論文 2 次報告	<p>1 次報告会でもらったコメントに対応して改訂した論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 1 次報告会でもらったコメントに対応して論文を改訂する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 15 回	グループ 3 の卒業論文 2 次報告	<p>1 次報告会でもらったコメントに対応して改訂した論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 1 次報告会でもらったコメントに対応して論文を改訂する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 16 回	グループ 4 の卒業論文 2 次報告	<p>1 次報告会でもらったコメントに対応して改訂した論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 1 次報告会でもらったコメントに対応して論文を改訂する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 17 回	グループ 5 の卒業論文 2 次報告	<p>1 次報告会でもらったコメントに対応して改訂した論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 1 次報告会でもらったコメントに対応して論文を改訂する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。</p>
第 18 回	卒業論文の作成が遅れている学生の個別指導①	<p>研究テーマが合わなかったり、うまくかけなかったり、どのようにまとめれば良いのか迷ったりなど悩む学生に対して相談する。</p> <p>【事前学習】2 時間 何が問題なのかについて書いた文書を作成し、提出すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントと提案をよく考えること。</p>
第 19 回	卒業論文の作成が遅れている学生の個別指導②	<p>研究テーマが合わなかったり、うまくかけなかったり、どのようにまとめれば良いのか迷ったりなど悩む学生に対して相談する。</p> <p>【事前学習】2 時間 何が問題なのかについて書いた文書を作成し、提出すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		コメントと提案をよく考えること。
第 20 回	卒業論文の作成が遅れている学生の個別指導③	研究テーマが合わなかったり、うまくかけなかったり、どのようにまとめれば良いのか迷ったりなど悩む学生に対して相談する。 【事前学習】2 時間 何が問題なのかについて書いた文書を作成し、提出すること。 【事後学習】2 時間 コメントと提案をよく考えること。
第 21 回	グループ 1 の卒業論文 3 次報告	2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して改訂した論文を報告する。 【事前学習】10 時間 2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して論文を改訂する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 22 回	グループ 2 の卒業論文 3 次報告	2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して改訂した論文を報告する。 【事前学習】10 時間 2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して論文を改訂する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 23 回	グループ 3 の卒業論文 3 次報告	2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して改訂した論文を報告する。 【事前学習】10 時間 2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して論文を改訂する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 24 回	グループ 4 の卒業論文 3 次報告	2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して改訂した論文を報告する。 【事前学習】10 時間 2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して論文を改訂する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 25 回	グループ 5 の卒業論文 3 次報告	2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して改訂した論文を報告する。 【事前学習】10 時間 2 次報告会でもらったコメントと提案に対応して論文を改訂する。 【事後学習】2 時間 報告会で先生とゼミ生からもらったコメントにどう対応するか考える。
第 26 回	グループ 1 の卒業論文最終報告	3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して完成した卒業論文を報告する。 【事前学習】10 時間 3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して、卒業論文を完成する 【事後学習】2 時間 卒業論文の提出を準備する。
第 27 回	グループ 2 の卒業論文最終報告	3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して完成した卒業論文を報告する。 【事前学習】10 時間 3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して、卒業論文を完成する 【事後学習】2 時間 卒業論文の提出を準備する。
第 28 回	グループ 3 の卒業論文最終報告	3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して完成した卒業論文を報告する。 【事前学習】10 時間 3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して、卒業論文を完成する 【事後学習】2 時間 卒業論文の提出を準備する。
第 29 回	グループ 4 の卒業論文最終報告	3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して完成した卒業論文を報告する。

		<p>【事前学習】10 時間 3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して、卒業論文を完成する</p> <p>【事後学習】2 時間 卒業論文の提出を準備する。</p>
第 30 回	グループ 5 の卒業論文最終報告	<p>3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して完成した卒業論文を報告する。</p> <p>【事前学習】10 時間 3 次報告会でもらったコメントと提案に対応して、卒業論文を完成する</p> <p>【事後学習】2 時間 卒業論文の提出を準備する。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
80%	0%	0%	10%	10%	100%
評価の特記事項					

テキスト
特になし
参考文献
ゼミナールの時間中に紹介する。
オフィスアワー
木曜日 12 時から 13 時まで。ゼミナールラインでアポをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒業論文をゼミナールで学んだ内容を総括するという強い気持ちで書いてほしい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	23
担当教員	呉 逸良	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水5	単位区分	選
講義室	3113	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今まで学習した経済学や教養科目の内容を理解し、それらの知識を応用できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を経済学的な視点から捉えることで、自分で分析できる。 3. 経済学的な考え方を理解し、経済問題の研究方法を身に付け、研究論文を作成できる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、私たちの身近な問題を経済学的な視点から研究・分析し、卒業論文として完成する。これによって、経済学とはどのような学問なのかを理解してもらい、社会における諸問題を経済学の視点からどのように研究し、どのように分析していくのかを身につけてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。身近な問題を経済学的な視点から捉え, 各自の卒業論文のテーマを決める。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	卒業論文の計画作成と資料収集	①配布資料を基にして, 卒業論文の各自の計画を作成する。 ②先行研究の収集方法について, 大学の図書館の HP の各種検索ツールが使えるようになる。それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 3 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 4 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 5 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 6 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 7 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 8 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間

		授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 9 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 10 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 11 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 12 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 13 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 14 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 15 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 16 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 17 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間

		報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 18 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 19 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 20 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 21 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 22 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	卒業論文作成	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	卒業論文の初稿の提出	卒業論文の初稿の提出 修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 26 回	卒業論文作成と修正	研究成果の報告

		各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 27 回	卒業論文作成と修正	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 28 回	卒業論文作成と修正	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 29 回	卒業論文作成と修正	研究成果の報告 各自で研究成果の報告を行う。修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 30 回	卒業論文の最終チェック	卒業論文の完成に向かって、最終チェックを行い、修正意見を聞き取る。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
授業時に指示する。
オフィスパワー
火曜日 9 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	木暮 雅夫	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3102	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>卒業論文では、今まで身につけた知識を応用できる力を身につけることを目標とする。そのために、自ら問題設定を行い、それに関する先行研究を収集し、それを分析し、整理することができるようになることを目指す。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>雇用関係論（Employment Relations）は、営利企業・公益企業などでのあらゆる雇用のあり方を研究対象とする学問です。雇用労働者の状態やその変化を中心に研究しますが、企業内・組織内の雇用関係を規定している企業内外の労働市場は、特別な関心事となっています。また、近年増大傾向にあるアウトソース型自営業者（self-employed）も含めた様々な就業形態の発達は、雇用関係の複雑化をもたらしている重大な要因の一つです。さらに、日本から世界に発せられた弾力的な生産方式＝リーン・プロダクションのグローバルな展開は、とりわけ欧米諸国において新たな雇用関係を職場にもたらしています。若者のNEETの増大も雇用の問題を抜きには語れません。これら比較的新しい雇用関係の変化は、雇用関係論において最もよく捉えられるものです。</p> <p>企業内外における雇用関係の研究分野はきわめて多岐にわたるため、ゼミ生は、全体的・概略的な知識とともに、各自の関心に合わせて自分の専門分野を絞り込み、より深く問題を掘り下げることが肝要です</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間

		授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第11回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第12回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第13回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第14回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第15回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第16回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第17回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第18回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第19回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第20回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第21回	卒業論文の途中経過報告	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。

	⑥	【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 2 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 3 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 4 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 5 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 6 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 7 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 8 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 9 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 3 0 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%

評価の特記事項

質問等のフィードバックは、講義内で行う。

テキスト

授業時に指示する

参考文献

オフィスアワー

授業時に指示する

学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）

授業用 URL

参考 URL 1

参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	25
担当教員	小林 信治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水3	単位区分	選
講義室	3073	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>ミクロ経済理論およびゲーム理論の基礎を修得し、重要な経済問題を分析する研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済問題に関する論文を作成することができる。 2. ミクロ経済理論における数学的方法について理解し、説明できる。 3. ゲーム理論について理解し、説明できる。 4. 経済学における各分野への応用に必要となるスタンダードな分析ツールを修得することができる。 <p>対応 DP 及び CP : 5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義は、ミクロ経済理論およびゲーム理論の基礎について復習することにより、経済分析のための数学の有用性およびミクロ経済学に関する理解を深め、卒業論文を作成することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 制約条件付最適化問題について詳細な復習を行う。 2. ミクロ経済理論の基礎について詳細な復習を行う。 3. ゲーム理論について詳細な復習を行う。 4. 卒業論文の作成を目的とする。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義内容、講義形式、および評価方法等の概略について説明する。 【事前学習】2 時間 教科書第 5 章～第 8 章をよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 2 回	ミクロ経済理論 1	消費者理論について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 3 回	ミクロ経済理論 2	企業理論について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 4 回	ミクロ経済理論 3	均衡理論について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 5 回	ゲーム理論 1	ゲームの定式化について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 6 回	ゲーム理論 2	ゲームの均衡について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 7 回	ゲーム理論 3	不完備情報について復習する。 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、主要概念を説明できるようにしておくこと。
第 8 回	論文作成の準備 1	研究論文作成に関する考慮事項 1 研究課題 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文作成に関する考慮事項について検討できるようにしておくこと。
第 9 回	論文作成の準備 2	研究論文作成に関する考慮事項 2 研究方法 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文作成に関する考慮事項について検討できるようにしておくこと。

第 10 回	論文作成の準備 3	研究論文作成に関する考慮事項 3 研究計画 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文作成に関する考慮事項について検討できるようにしておくこと。
第 11 回	論文作成の準備 4	研究論文作成に関する考慮事項 4 関連文献 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文作成に関する考慮事項について検討できるようにしておくこと。
第 12 回	研究課題 1	研究課題の設定 1 関連文献の収集 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究課題の設定について検討できるようにしておくこと。
第 13 回	研究課題 2	研究課題の設定 2 関連文献の読解 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究課題の設定について検討できるようにしておくこと。
第 14 回	研究課題 3	研究課題の設定 3 関連文献に関するレポート作成 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究課題の設定について検討できるようにしておくこと。
第 15 回	研究課題 4	研究課題の設定 4 研究課題の確定 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究課題の設定について検討できるようにしておくこと。
第 16 回	研究方法 1	研究方法 理論分析 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究方法について検討できるようにしておくこと。
第 17 回	研究方法 2	研究方法 実証分析 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究方法について検討できるようにしておくこと。
第 18 回	論文の構成 1	論文の形式 要約 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 19 回	論文の構成 2	論文の形式 イントロダクション 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 20 回	論文の構成 3	論文の形式 研究方法 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 21 回	論文の構成 4	論文の形式 研究結果 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 22 回	論文の構成 5	論文の形式 結論 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 23 回	論文の構成 6	論文の形式 参考文献 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の形式について検討できるようにしておくこと。
第 24 回	研究成果 1	研究成果の報告 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究成果の検討、評価を行うことができるようにしておくこと。
第 25 回	研究成果 2	研究成果の検討と評価 【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究成果の検討、評価を行うことができるようにしておくこと。
第 26 回	論文作成 1	研究論文の作成と報告 【事前学習】2 時間

		<p>前回の授業内容の復習をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、研究成果の検討、評価を行うことができるようにしておくこと。</p>
第 27 回	論文作成 2	<p>研究論文の修正とディスカッション</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の修正を行うことができるようにしておくこと。</p>
第 28 回	論文作成 3	<p>研究論文の修正とディスカッション</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の修正を行うことができるようにしておくこと。</p>
第 29 回	論文作成 4	<p>研究論文の修正とディスカッション</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、論文の修正を行うことができるようにしておくこと。</p>
第 30 回	論文作成 5	<p>研究論文の発表</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業内容の復習をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容全般を復習すること。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	50%	10%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
W. ノブシエグ『経済数学』多賀出版, 2001, 価格（出版社のHPを参照）。
参考文献
特になし。
オフィスアワー
木曜日 16 : 15 ~ 16 : 35, 本館 2 F 講師室。 アポイントメントが必要である。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
教科書(必須) および配布資料を利用して, 自主的に復習することが必要である。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	小巻 泰之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	月4	単位区分	選
講義室	7061	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>卒業論文では、今まで身につけた知識を応用できる力を身につけることを目標とする。そのために、自ら問題設定を行い、それに関する先行研究を収集し、それを分析し、整理することができるようになることを目指す。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>情報通信システムの発達から、経済社会の動向に関する情報は容易く手に入ることができます。しかし、情報の中にはノイズ（偽の情報）も含まれています。我々はその情報の中から、どれが正しいのか、また価値のあるものかを選別することを求められています。ゼミでの活動を通して、情報を選別・分析する能力を養ってください。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 7 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 8 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 9 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 0 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 1 回	卒業論文の途中経過報告 ⑥	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 2 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 3 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 4 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 5 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 6 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 7 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 8 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 9 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 3 0 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	26
担当教員	齋藤 哲哉	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3122	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>専門研究(一)(2年) 数学とミクロ経済学の基礎を造るためのテキストの輪読を主体に進めていきます</p> <p>専門研究(二)(3年) 専門研究(一)で習得した知識を様々な社会活動の分析に応用するため、幾つかのテーマに分けて調査・報告を行なっていきます</p> <p>卒業論文(4年) 専門研究(一)と専門研究(二)で得た知見をもとに各自のテーマを選び、そのテーマについての調査・研究と研究報告を中心に進めていきます</p> <p>対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>経済学的な分析手法は、一般に考えられている経済活動以外にも、社会現象のほぼすべての分析に適用することができます。ゼミではミクロ経済学を用いてどのようにして社会現象を分析できるのか、実際の事例を紹介しながら、その分析手法を身につけてもらいたいと思っています。自身の専門は国際貿易や犯罪の経済学、貨幣理論（暗号資産を含む）ですが、ゼミで取り扱う内容は対応できる範囲で出来るだけ広くと考えています</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2時間 専門研究（二）の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2時間 資料等により理解を深める。
第2回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第3回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第4回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第5回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第6回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第7回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第8回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第9回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第10回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間

		授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 17 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 18 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 19 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 20 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 21 回	卒業論文の途中経過報告	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。

	⑥	【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 22 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 23 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 24 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 25 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 26 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 27 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 28 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 29 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 30 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	27
担当教員	齋藤 宏之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火3	単位区分	選
講義室	A12	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>「卒業論文」では、アメリカ制度学派という研究領域から、自分の興味を考慮のうえテーマを設定し、それに対する答えを導き出していきます。その過程において、対比、換言、因果を駆使して取り組むことにより、論証する能力を涵養させていくことを目指します。こうして卒業論文を実際に執筆することで、改めて論理的思考の大切さを自覚的に捉えることができるようになります。</p> <p>対応 DP 及び CP: 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>各自が設定したテーマに関する先行研究の蒐集・整理・分析をもとに、一次資料の考察結果を論理的に卒業論文としてまとめてもらいます。これによって、制度学派に関する既存の研究成果に新たな意味を付与すべく、問題発見能力・問題解決能力・プレゼンテーション能力・ディスカッション能力・論理的な文章構成能力を涵養してもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	卒業論文を執筆する意義, 卒業論文とレポートの違いについて論ずる。 【事前学習】2 時間 シラバスを読んで, 卒業論文とは何かということについて考えておくこと。 【事後学習】2 時間 論文とは何か, 議論を踏まえて再確認しておくこと。
第 2 回	卒論テーマの決定	各自のテーマを決定する。 【事前学習】2 時間 テーマを決定しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, テーマを再確認しておくこと。
第 3 回	主要文献の決定	各自の卒論で使用する主要文献を決定する。 【事前学習】2 時間 卒論で使用する主要文献を決めておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 主要文献の再確認を行うこと。
第 4 回	二次資料調査 (1)	図書館で調査してきた二次資料を確認する。 【事前学習】2 時間 卒論で使用する二次資料を図書館で調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 資料の再確認を行うこと。
第 5 回	二次資料調査 (2)	インターネットで調査してきた二次資料を確認する。 【事前学習】2 時間 卒論で使用する二次資料をインターネットで調査しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 資料の再確認を行うこと。
第 6 回	主要文献研究	各自の卒論で使用する主要文献の内容の把握状況を確認する。 【事前学習】2 時間 卒論で使用する主要文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 主要文献の内容を振り返っておくこと。
第 7 回	情報整理	各自の情報の整理状況を確認する。 【事前学習】2 時間 蒐集した文献を, カードなどを利用して整理しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 情報を整理し直しておくこと。
第 8 回	情報組み立て	各自の情報の組み立てを確認する。 【事前学習】2 時間 カードの並べ替えなどによって, 情報を組み立てておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, 情報の組み立てを見直しておくこと。
第 9 回	アウトライン作成	各自のアウトラインを確認する。 【事前学習】2 時間 アウトラインを作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて, アウトラインを再検討しておくこと。
第 10 回	「序論」プレゼンテーション (1)	各自の「序論」のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「序論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間

		プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「序論」を再検討しておくこと。
第 11 回	「序論」プレゼンテーション (2)	各自の「序論」のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「序論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「序論」を再検討しておくこと。
第 12 回	「本論」プレゼンテーション (1)	各自の「本論」のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「本論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「本論」を再検討しておくこと。
第 13 回	「本論」プレゼンテーション (2)	各自の「本論」のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「本論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「本論」を再検討しておくこと。
第 14 回	「結論」プレゼンテーション (1)	各自の「結論」プレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「結論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「結論」を再検討しておくこと。
第 15 回	「結論」プレゼンテーション (2)	各自の「結論」プレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 「結論」のプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションとそれをめぐる討議を踏まえて、「結論」を再検討しておくこと。
第 16 回	「序論」執筆 (1)	各自の「序論」を確認する。 【事前学習】2 時間 「序論」を執筆しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「序論」を加筆・修正すること。
第 17 回	「序論」執筆 (2)	各自の「序論」を確認する。 【事前学習】2 時間 「序論」を執筆しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「序論」を加筆・修正すること。
第 18 回	「序論」執筆 (3)	各自の「序論」を確認する。 【事前学習】2 時間 「序論」を執筆しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「序論」を加筆・修正すること。
第 19 回	「本論」執筆 (1)	各自の「本論」を確認する。 【事前学習】2 時間 「本論」を執筆しておくこと。 【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「本論」を加筆・修正すること。
第 20 回	「本論」執筆 (2)	各自の「本論」を確認する。

		<p>【事前学習】2 時間 「本論」を執筆しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「本論」を加筆・修正すること。</p>
第 21 回	「本論」執筆 (3)	<p>各自の「本論」を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 「本論」を執筆しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「本論」を加筆・修正すること。</p>
第 22 回	「結論」執筆 (1)	<p>各自の「結論」を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 「結論」を執筆しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「結論」を加筆・修正すること。</p>
第 23 回	「結論」執筆 (2)	<p>各自の「結論」を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 「結論」を執筆しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「結論」を加筆・修正すること。</p>
第 24 回	「結論」執筆 (3)	<p>各自の「結論」を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 「結論」を執筆しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、「結論」を加筆・修正すること。</p>
第 25 回	文献の記載方法	<p>情報源を明らかにする。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の記載方法を調べておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 各自文献の記載方法を見直しておくこと。</p>
第 26 回	推敲・校正 (1)	<p>推敲・校正がきちんとされているかどうか確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自身の卒業論文の推敲ならびに校正を行っておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、卒論を見直しておくこと。</p>
第 27 回	推敲・校正 (2)	<p>推敲・校正がきちんとされているかどうか確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自身の卒業論文の推敲ならびに校正を行っておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、卒論を見直しておくこと。</p>
第 28 回	推敲・校正 (3)	<p>推敲・校正がきちんとされているかどうか確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自身の卒業論文の推敲ならびに校正を行っておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、卒論を見直しておくこと。</p>
第 29 回	文献リスト作成	<p>作成してきた文献リストを確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献リストを作成しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、文献リストを修正しておくこと。</p>
第 30 回	最終確認	<p>卒業論文を「全体として」最終的にチェックする。</p> <p>【事前学習】2 時間 自身の卒業論文をチェックしておくこと。</p>

		【事後学習】2 時間 討議を踏まえて、最終チェックを行っておくこと。
--	--	---------------------------------------

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
特になし。
参考文献
<p>ソースタイン・ヴェブレン著，松尾博訳『ヴェブレン 経済的文明論——職人技本能と産業技術の発展——』ミネルヴァ書房，1997年，4,500円（税抜）。</p> <p>ソースタイン・ヴェブレン著，小原敬士訳『企業の理論』勁草書房，2002年，4,000円（税抜）。</p> <p>その他の文献は，必要に応じて随時紹介する。</p>
オフィスアワー
Web 会議サービスを利用して対応する。適宜メールでも対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
事前学習および事後学習を十分に行い，能動的にゼミナールに臨むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	28
担当教員	酒巻 俊之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	7061	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身に付けることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 業界・社会現象・特定の現象・時事問題について興味を持ち、常に最新の情報を得る姿勢を身に付けることができる。 2. 期限までに作業を終える為のスケジュール管理等の能力が向上する。 3. 文章の構成力や校正の能力が向上する。 4. 予め企業や業界に関する基礎知識を得ることができる。 5. リサーチ・取材能力が向上する。 6. 発表の能力・経験値が向上する。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、企業・業界・社会現象・特定の現象・時事問題について、経済・経営・規制・会計・効能・不公平・差別・不具合等の観点から、卒論を作成し、中間発表会ではWEB又は対面で発表を行います。卒論のテーマは進路・就職先に近いものを選ぶことを推奨していますが、その際には、予めその業界等の知識を得ることができます。本分野は変化が激しい分野ですので、卒論の作成にあたっては過去から現在、未来に渡り検討する必要がありますが、これにより、常に最新の情報に気を配る習慣を身に付けてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文テーマ決め(含む就職指導)	卒業論文テーマ決め(含む就職指導) 【事前学習】卒論の内容を考えておく。 【事後学習】卒論の内容を考えておく。
第 2 回	卒業論文テーマ決め(含む就職指導)	卒業論文テーマ決め(含む就職指導) 【事前学習】卒論の内容を考えておく。 【事後学習】卒論の内容を考えておく。
第 3 回	卒業論文テーマ決め(含む就職指導)	卒業論文テーマ決め(含む就職指導) 【事前学習】卒論の内容を考えておく。 【事後学習】卒論の内容を考えておく。
第 4 回	卒業論文テーマ決め(含む就職指導)	卒業論文テーマ決め(含む就職指導) 【事前学習】卒論の内容を考えておく。 【事後学習】卒論の内容を考えておく。
第 5 回	中間発表会	中間発表会 【事前学習】卒論発表準備。2 時間以上 【事後学習】他者のコメントによる内容修正。
第 6 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 7 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 8 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 9 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 10 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 11 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 12 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 13 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 14 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 15 回	中間発表会	中間発表会 【事前学習】卒論発表準備。2 時間以上 【事後学習】他者のコメントによる内容修正。
第 16 回	中間発表会	中間発表会 【事前学習】卒論発表準備。2 時間以上 【事後学習】他者のコメントによる内容修正。
第 17 回	卒論個別指導	卒論個別指導

		【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 18 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 19 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 20 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 21 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 22 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 23 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 24 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 25 回	中間発表会	中間発表会 【事前学習】卒論発表準備。2 時間以上 【事後学習】他者のコメントによる内容修正。
第 26 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 27 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 28 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 29 回	卒論個別指導	卒論個別指導 【事前学習】卒業論文作成。 【事後学習】指導による卒業論文修正。
第 30 回	卒論完成式	全体へのコメント及び慰労

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100%	100%
評価の特記事項					
その他は、卒論の内容・出来などの評価です。					

テキスト
卒論に関しては個人により異なります。
参考文献
日本大学図書館経済学部分館の酒巻俊之の棚に開架の他、研究図書の貸出しがあります。
オフィスアワー
連絡により随時対応します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒論の作成により、調査能力・文章構成力・校正力・スケジュール管理能力・長期の仕事に対する経験値が高まります。 達成感は大きいので頑張ってください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	29
担当教員	佐久間 隆	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月4	単位区分	選
講義室	3124	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>3年制ゼミの3年目として、卒業論文の執筆を通じて、次のようなスキルを身に付けることができます。</p> <p>①日本経済について調べるために必要な統計データや文献資料を自分で探し出して入手できる。</p> <p>②統計の特徴や文献の性格を理解した上で、統計データや文献資料を適切に解釈できる。</p> <p>③統計データや文献資料を解釈した内容を端的に示す図表や要約が作成できる。</p> <p>④伝えたいことを正確、かつ、客観的に表現する論理的な文章を書くことができる。</p> <p>対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>ゼミでは、幅広い日本経済の問題から自分の関心に従ってテーマを選んで研究し、その成果を論文にまとめます。</p> <p>①各自が選んだ日本経済に関連するテーマについて深く学修します。</p> <p>②必要な場合はテーマに関して自ら企画立案してアンケート調査や実地調査を行います。</p> <p>③卒業研究として十分な内容を有し、かつ、学術論文にふさわしい形式を整えた論文を執筆します。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミでの学修の進め方について説明し、名簿により 2 年生のメンバーを紹介し ます。 [事前学習]初回と 2 回の授業資料は個別にメッセージで連絡します。シラバ スに目を通してください。：2 時間 [事後学習]再度シラバスに目を通してください。：2 時間
第 2 回	論文の書き方、研究テー マの選び方	資料に基づいて論文の書き方、研究テーマの選び方について説明します。 [事前学習]事前に配布する「論文の書き方」と「前年度までの卒論の研究テ ーマ一覧」（3 年次後期に配布したものに令和 2 年度分を追加します）に 目を通してください。：2 時間 [事後学習]「論文の書き方」を再読し、3 年生のときに読んだ論文で実際の 構成を確認してください。：2 時間
第 3 回	研究テーマの選定	候補案について説明してもらい、どのようにすれば研究テーマとして成立するか 助言します。 [事前学習]研究テーマの候補、絞り込めなければ、大まかな分野で良いので 考えてください。：2 時間 [事後学習]研究テーマを論文の表題と論文のねらいにまとめてください。：2 時間
第 4 回	研究計画書の書き方	事前に配布する「研究計画書の様式」と「研究計画書の書き方」の資料に基 づいて研究計画書の書き方について説明します。 [事前学習]事前に配布する「研究計画書の様式」と「研究計画書の書き 方」の資料に目を通してください。：2 時間 [事後学習]できるところまでで良いので研究計画書を書いてみてください。： 2 時間
第 5 回	研究計画書の作成（報告 と助言）	研究計画書の作成で抱えている問題について報告してもらい、助言を行いま す。 [事前学習]研究計画書の作成に不足している要素が何か検討してくださ い。：2 時間 [事後学習]助言に基づいて研究計画書の作成を進めてください。：2 時間
第 6 回	研究計画書作成（報告と 助言）	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 7 回	研究計画書作成（報告と 助言）	第 5 回と同じです。 [事前学習]第 5 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 5 回と同じです。：2 時間
第 8 回	研究計画書の発表 I	メンバーを半分に分けて、作成した研究計画書について説明してもらい、改 善すべき点について助言します。 [事前学習]研究計画書を作成し、出来たら WebClass から提出してくださ い。：2 時間 [事後学習]助言を踏まえて研究計画書を手直しし、完成したら WebClass から提出してください。：2 時間
第 9 回	研究計画書の発表 II	残り半分のメンバーに、作成した研究計画書について説明してもらい、改善す べき点について助言します。 [事前学習]第 8 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 8 回と同じです。：2 時間
第 10 回	資料の入手（報告と助 言）	文献、参考資料や統計データで未入手のものについて報告してもらい、入手 方法や資料がない場合の研究計画書の見直しについて助言します。 [事前学習]資料や統計データを入手できたものと未入手のものに分けて一 覧に整理してください。：2 時間 [事後学習]引き続き資料を探すとともに、入手した文献を読み進め、参考

		資料や統計データの図表化してください。：2 時間
第 11 回	資料の入手（報告と助言）	第 10 回と同じです。 [事前学習]第 10 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 10 回と同じです。：2 時間
第 12 回	研究計画書の発表(予備日)	就活等で研究計画書の作成や資料の入手が遅れている人のために報告と助言の機会を設けます。 [事前学習]研究計画書を WebClass から提出し、資料や統計データを入手できたものと未入手のものに分けて一覧に整理してください。：2 時間 [事後学習]第 10 回と同じです。：2 時間
第 13 回	資料の入手（報告と助言）	第 10 回と同じです。 [事前学習]第 10 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 10 回と同じです。：2 時間
第 14 回	執筆の進め方と夏期休暇中の連絡方法	夏期休暇中に執筆を進めるために、論文のアウトライン（章立て、各章のポイントと参照する文献と統計データ、章ごとの文字数の配分）の作成、相談する際の連絡の取り方について説明します。 [事前学習]「論文の書き方」を再読し、3 年生のときに読んだ論文で実際の構成を確認してください。：2 時間 [事後学習]執筆用のフォルダーを用意し、集めた文献や資料を格納してください。Word で論文を想定したレイアウトやフォントを設定の上、アウトラインを作成してください。アウトラインのコピーを作成し、それに用意した図表や文章を入れ込ん
第 15 回	(予備日)	就活等で準備が遅れている人のために幅広く報告と助言の機会を設けます。 [事前学習]研究計画書を WebClass から提出し、資料や統計データを入手できたものと未入手のものに分けて一覧に整理してください。：2 時間 [事後学習]第 10 回および第 14 回と同じです。：2 時間
第 16 回	論文の執筆（報告と助言）	どのくらい執筆が進んでいるか、まとめ方で迷っている点について報告してもらい、助言します。 [事前学習]：2 時間 [事後学習]：2 時間
第 17 回	論文の執筆（報告と助言）	第 16 回と同じです。 [事前学習]第 16 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 16 回と同じです。：2 時間
第 18 回	論文の執筆（報告と助言）	第 16 回と同じです。 [事前学習]第 16 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 16 回と同じです。：2 時間
第 19 回	論文の執筆（報告と助言）	第 16 回と同じです。 [事前学習]第 16 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 16 回と同じです。：2 時間
第 20 回	論文の執筆（報告と助言）	第 16 回と同じです。 [事前学習]第 16 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 16 回と同じです。：2 時間
第 21 回	論文の執筆（報告と助言）	第 16 回と同じです。 [事前学習]第 16 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 16 回と同じです。：2 時間
第 22 回	中間発表会 I	メンバーを半分に分けて、論文の概要についてパワーポイントを使って 10 分程度の報告を行ってまいります。 [事前学習]論文のねらい、論文の構成、主な図表、主要な結論、主な参考文献をパワーポイントにまとめてください。：2 時間 [事後学習]：2 時間
第 23 回	中間発表会 II	残りの半分のメンバーに、論文の概要についてパワーポイントを使って 10 分程度の報告を行ってまいります。 [事前学習]第 22 回と同じです。：2 時間

		[事後学習]第 22 回と同じです。：2 時間
第 24 回	初稿についての質疑応答 I	メンバーを半分に分けて、事前に提出された原稿について質問するので口頭で教えてください。 [事前学習]未完部分があっても良いので原稿をチェックし、提出してください。：2 時間 [事後学習]未完部分の執筆を進めてください。：2 時間
第 25 回	初稿についての質疑応答 II	残り半分のメンバーに、事前に提出された原稿について質問するので口頭で教えてください。文章を分かりやすくするための添削と内容に関する疑問点のコメント、および、それらの受け止め方について説明します。 [事前学習]第 24 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 24 回と同じです。：2 時間
第 26 回	修正案の打ち合わせ	修正案または修正の方向について説明してください。 [事前学習]提出された原稿に添削して、あるいは、コメントして返すので、受け取ったら自身でも検討の上、修正案を作成してください。：2 時間 [事後学習]質疑を踏まえて修正案を作成してください。：2 時間
第 27 回	修正案の打ち合わせ	第 26 回と同じです。 [事前学習]第 26 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 26 回と同じです。：2 時間
第 28 回	修正案の打ち合わせ	第 26 回と同じです。 [事前学習]第 26 回と同じです。：2 時間 [事後学習]第 26 回と同じです。：2 時間
第 29 回	論文提出の確認事項と冬期休暇中の連絡方法	卒業論文の提出期限、提出物と提出方法を確認します。冬期休暇中に添削を受けたい場合の連絡方法について説明します。 [事前学習]学部要覧と教務課からの連絡事項を確認してください。：2 時間 [事後学習]規定の提出物を準備し、期限内に指定された方法で提出してください（提出先は教務課で担当教員ではありません。）：2 時間
第 30 回	全体のまとめ	3 年間での学修について講評を行います。 [事前学習]これまでに使用したパワーポイントやノートを使って 3 年間のゼミ生活を振り返ってください。：2 時間 [事後学習]ゼミを通じて得たものを今後活かすことを考えてください。：2 時間

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
<p>その他は主に卒業論文により評価します。どのような事情によるにせよ、ゼミに出席し、途中段階の課題を提出していても、規定の方法で卒業論文を提出しないときは E 判定となります。</p>					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
<p>オフィスアワーはゼミのある月曜日の 5 限です。</p>
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<p>20,000 字以上の長文になる卒業論文は作成するのが相当に困難だと思いかも知れませんが、計画的に文献や統計データを収集し、少しずつでも参照文献を要約したり、統計データの図表化を進めていけば、執筆に十分な材料が揃うものです。長文を書くことによって、思考力が鍛えられるとともに、文章表現力が高められます。完成したときに達成感、4 年間の学生生活のなかでも、格別のものになるでしょう。</p>
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	30
担当教員	櫻井 研司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3113	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業・組織心理学で扱われる主要な理論の内容を理解し、説明できる。 2. 社会科学研究の方法、および研究倫理の基礎について理解する。 3. 産業・組織心理学的に関わる尺度設計、測定、およびデータ解析の基礎について理解し、実践できる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>このゼミでは、労働者が生産的かつ健全に働くための諸条件を探っていきます。この目的を中心に、産業・組織心理学が扱う人的資源管理（例：職務適正審査）、働く人々の心理（例：職務モチベーションや仕事のやりがい）、行動（例：組織市民行動）、労働安全衛生（例：ストレス）など様々なテーマについて理解を深めていきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション	"卒業論文を書くにあたっての注意点について説明する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 2 回	卒業論文 ①	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 3 回	卒業論文 ②	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 4 回	卒業論文 ③	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 5 回	卒業論文 ④	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 6 回	卒業論文 ⑤	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 7 回	卒業論文 ⑥	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 8 回	卒業論文 ⑦	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 9 回	卒業論文 ⑧	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 10 回	卒業論文 ⑨	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間

		授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 11 回	卒業論文 ⑩	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 12 回	卒業論文 ⑪	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 13 回	卒業論文 ⑫	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 14 回	卒業論文 ⑬	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 15 回	学習内容の確認と解説	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 16 回	卒業論文 ⑭	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 17 回	卒業論文 ⑮	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 18 回	卒業論文 ⑯	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 19 回	卒業論文 ⑰	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 20 回	卒業論文 ⑱	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し、授業内容の理解を深める."
第 21 回	卒業論文 ⑲	"卒業論文について議論する

		[事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 22 回	卒業論文 ⑳	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 23 回	卒業論文 ㉑	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 24 回	卒業論文 ㉒	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 25 回	卒業論文 ㉓	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 26 回	卒業論文㉔	"卒業論文について議論する [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 27 回	発表 ①	"卒業論文を発表し, 内容について評価及び議論する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 28 回	発表 ②	"卒業論文を発表し, 内容について評価及び議論する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 29 回	発表 ③	"卒業論文を発表し, 内容について評価及び議論する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."
第 30 回	後期の振り返りと解説	"卒業論文の評価について, 総括する。 [事前学習] 2 時間 Google classroom で共有した資料をダウンロードし読んでく。 [事後学習] 2 時間 授業内容を復習し, 授業内容の理解を深める."

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
評価方法の「その他」は卒業論文に対する評価.					

テキスト
特になし.
参考文献
授業時に指示する.
オフィスアワー
水曜 11~12 時. 事前にメールで連絡して下さい.
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	31
担当教員	澤田 充	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3133	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身に着けることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本経済や金融システムの課題から重要な問題を発見することができる。 2. 日本経済や金融システムにかかわるデータから経済主体の行動を理解し、解釈することができる。 3. データ分析やアンケートなどを通じて独自の分析・考察を行うことができる。 4. 研究の成果を卒論論文にまとめ、わかりやすく報告することができる。 <p>対応 DP および CP : 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミでは個人研究を通じて日本の金融システムや日本経済の様々な課題について調査し、学生自ら経済学的な視点から考察を行い、学生間および教員との議論を通じ、卒業論文にまとめてもらいます。また、その研究成果を第3者に報告し、フィードバックをもらいさらに研究の内容を高めてもらいます。</p> <p>対応 DP および CP : 5, 6, 7, 8</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	スタートアップ	本講義の目標および教育目的を明確にし、今後の講義流れを理解する。 【事前学習】2 時間 授業のレジユメを読み、授業の目標や目的の概要を理解する。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、本講義の特色や今後の流れについて整理しておくこと。
第 2 回	問題設定と分析方法の説明	問題の設定と分析に必要な知識やポイントを説明する。 【事前学習】2 時間 授業のレジユメを読み、プレゼンテーションの仕方の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、プレゼンテーションの仕方について整理しておくこと。
第 3 回	先行研究分析 1	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 4 回	先行研究分析 2	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 5 回	先行研究分析 3	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 6 回	先行研究分析 4	指定した文献の内容を順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は指定文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 7 回	研究課題の設定 1	研究課題を設定できるようにする。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 8 回	研究課題の設定 2	研究課題を設定できるようにする。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 9 回	分析方法の検討 1	分析方法を決定できるようにする。 【事前学習】2 時間

		<p>担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第10回	分析方法の検討2	<p>分析方法を決定できるようにする。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第11回	分析方法の検討3	<p>分析方法を決定できるようにする。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第12回	課題の現状分析1	<p>課題の現状分析を報告する。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第13回	課題の現状分析2	<p>課題の現状分析を報告する。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第14回	課題の現状分析3	<p>課題の現状分析を報告する。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第15回	春学期授業のまとめ	<p>春学期の授業の振り返りと今後の授業についての概要を説明 【事前学習】2時間 春学期の授業のレジュメを読み、春学期授業の概要を把握しておく。 【事後学習】2時間 本日の講義を振り返り、春学期に習得した知識をどのような生かしていくか整理しておくこと。</p>
第16回	政策提言の検討1	<p>政策提言の内容を報告する。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第17回	政策提言の検討2	<p>政策提言の内容を報告する。 【事前学習】2時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>

第 18 回	政策提言の検討 3	政策提言の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの準備をしておく。 担当者以外は関連文献を読んでおく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 19 回	論文への執筆 1	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 関連文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 20 回	論文の執筆 2	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 関連文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 21 回	論文の執筆 3	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 関連文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 22 回	論文の執筆 4	論文執筆状況について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 関連文献を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 23 回	研究成果の報告 1	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 24 回	研究成果の報告 2	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 25 回	研究成果の報告 3	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 26 回	研究成果の報告 4	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 27 回	研究成果の報告 5	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。 【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。
第 28 回	研究成果の報告 6	研究成果について順番にパワーポイントで報告する。

		<p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第 29 回	研究成果の報告 7	<p>研究成果について順番にパワーポイントで報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの準備をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の報告を振り返り、重要なポイントを整理しておくこと。</p>
第 30 回	秋学期講義のまとめ	<p>秋学期の授業の振り返りと要点をまとめる</p> <p>【事前学習】2 時間 秋学期の授業のレジユメを読み、秋学期授業の概要を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の講義を振り返り、秋学期に習得した知識をどのような生かしていくか整理しておくこと。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
評価方法の「その他」はグループワークの報告内容を評価したものである。					

テキスト
特になし
参考文献
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
月曜日 4 時限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
自分の報告だけでなく、ほかの学生やグループの報告の際にも積極的に議論に参加し、ゼミ全体の知識向上や技能の習得につながるよう貢献してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	32
担当教員	新海 宏美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水4	単位区分	選
講義室	3093	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本講義では、食料、食料の流通そして食料の生産を担う農業、農村に関わる問題について、実態を踏まえたうえで経済学的な視点から考え、自分の意見を主張できるようになることが目標です。また、ゼミを通じてレポートやレジュメの書き方、報告や討論の仕方などを習得することを目指します。</p> <p>対応 DP 及び CP：5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>本講義では、フードシステムにおける課題を経済学的な視点から分析します。食料が消費者に提供されるまで、つまり生産や流通などの過程におけるすべての経済主体の働きを総合的なシステムとして考え、経済学を応用してそれらの課題を捉えられるようにしていきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点などについて説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (一) (二) で取り組んだ課題を整理しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, フードシステムの課題について考える。
第 2 回	研究課題の設定①	各自興味のあるテーマについて調べ, 研究課題の設定をしていく。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自興味のあるテーマについて調べ, 研究課題の設定をしていく。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自興味のあるテーマについて調べ, 研究課題の設定をしていく。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自興味のあるテーマについて調べ, 研究課題の設定をしていく。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題を検討する。
第 6 回	先行研究の収集①	先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後報告】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 7 回	先行研究の収集②	先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後報告】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 8 回	先行研究の収集③	先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後報告】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	先行研究の収集④	先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後報告】2 時間 研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	研究課題の報告①	各々が決めた課題について報告する。 【事前学習】2 時間 課題について調べ, 概要をまとめる。

		【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 11 回	研究課題の報告②	各々が決めた課題について報告する。 【事前学習】2 時間 課題について調べ、概要をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 12 回	研究課題の報告③	各々が決めた課題について報告する。 【事前学習】2 時間 課題について調べ、概要をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 13 回	研究課題の報告④	各々が決めた課題について報告する。 【事前学習】2 時間 課題について調べ、概要をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 14 回	研究課題の報告⑥	各々が決めた課題について報告する。 【事前学習】2 時間 課題について調べ、概要をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時の意見や気付きをまとめる。
第 15 回	振り返り	これまでの学修の成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、内容をまとめておく。 【事後学習】2 時間 今後の学修に還元できる点を考えてみる。
第 16 回	研究成果の報告①	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 17 回	研究成果の報告②	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 18 回	研究成果の報告③	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 19 回	研究成果の報告④	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 20 回	研究成果の報告⑤	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。

第 21 回	研究成果の報告⑥	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 22 回	研究成果の報告⑦	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	研究成果の報告⑧	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	研究成果の報告⑨	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	研究成果の報告⑩	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 26 回	研究成果の報告⑪	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 27 回	研究成果の報告⑫	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 28 回	研究成果の報告⑬	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 29 回	研究成果の報告⑭	各自で研究成果の報告をする。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後報告】2 時間 報告時のフィードバックを基に論文を修正する。
第 30 回	総括	これまでの学修成果を振り返る。 【事前学習】2 時間 卒業論文を振り返る。 【事後報告】2 時間 成果を今後どう還元するか検討する。

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%		0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
・卒業論文を軸に、授業での報告、授業内での意見などを総合的に評価します。					

テキスト
特にありません。
参考文献
授業時に提示します。
オフィスアワー
授業時に提示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・遅刻や私語など、ほかの学生に迷惑のかかる行為は厳禁とします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	33
担当教員	曾根 康雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火3	単位区分	選
講義室	7093	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>日本の経済成長や我々の生活にとって重要性の高まる東アジア地域を研究対象として、経済学に基礎を置きつつ学際的なアプローチを用いて、学術論文を仕上げます。</p> <p>成長できる分野 = 豊かな教養・知識に 基づく高い倫理観；世界の現状を理解し説明する力；論理的・批判的思考力；問題発見・解決力；挑戦力；コミュニケーション力；リーダーシップ・協働力；省察力</p> <p>対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>このゼミナールは、日本を含む東アジアを対象地域とした地域研究（Area Studies）のゼミナールです。地域研究とは、現代の生きたグローバル社会を分析の対象とし、既成の学問領域（ディシプリン = discipline）の枠を超えた外国研究ないしは異文化研究のことを指します。国家や地域の成り立ちや発展プロセスの本質を理解するためには、それらの歴史的背景や固有の社会的・文化的要因を知ることも不可欠です。卒業論文の作成作業を通じて、それぞれの関心分野に対する理解を深め、独自に分析し、それを論理的に説明する力を養います。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	研究課題の設定	アジア地域を対象として、研究課題の設定ができるようになる。 【事前学習】2 時間 2・3 年生での学習内容をレビューする。 【事後学習】2 時間 授業での討論をもとに、研究課題を検討する。
第 2 回	先行研究の収集方法について	図書館やインターネットを活用して、先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業での討論をもとに、研究課題との関連性を検討する。
第 3 回	資料・データの収集方法について	図書館やインターネットを活用して、資料・データの収集を行う。 【事前学習】2 時間 必要な資料・データを整理する。 【事後学習】2 時間 授業での討論をもとに、研究課題との関連性を検討する。
第 4 回	研究課題と先行研究の報告（1）	各自・各グループで研究課題と先行研究の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、研究の論点を整理し見直す。
第 5 回	研究課題と先行研究の報告（2）	各自・各グループで研究課題と先行研究の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、研究の論点を整理し見直す。
第 6 回	研究課題と先行研究の報告（3）	各自・各グループで研究課題と先行研究の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、研究の論点を整理し見直す。
第 7 回	研究課題と先行研究の報告（4）	各自・各グループで研究課題と先行研究の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、研究の論点を整理し見直す。
第 8 回	研究課題と先行研究の報告（5）	各自・各グループで研究課題と先行研究の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、研究の論点を整理し見直す。
第 9 回	論文の構成（案）作成について	論文の構成案（目次案）を作成する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、論文のテーマ・構成を見直す。
第 10 回	論文の構成（案）の報告（1）	各自・各グループで論文の構成（目次）案の報告を行う。 【事前学習】2 時間 論文の構成（目次）案をまとめる。 【事後学習】2 時間

		授業でのフィードバックをもとに、構成（目次）案を修正する。
第 11 回	論文の構成（案）の報告 （2）	各自・各グループで論文の構成（目次）案の報告を行う。 【事前学習】2 時間 論文の構成（目次）案をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、構成（目次）案を修正する。
第 12 回	論文の構成（案）の報告 （3）	各自・各グループで論文の構成（目次）案の報告を行う。 【事前学習】2 時間 論文の構成（目次）案をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、構成（目次）案を修正する。
第 13 回	論文の構成（案）の報告 （4）	各自・各グループで論文の構成（目次）案の報告を行う。 【事前学習】2 時間 論文の構成（目次）案をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、構成（目次）案を修正する。
第 14 回	論文の構成（案）の報告 （5）	各自・各グループで論文の構成（目次）案の報告を行う。 【事前学習】2 時間 論文の構成（目次）案をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに、構成（目次）案を修正する。
第 15 回	参考文献，脚注の表記ル ールについて	各自・各グループで参考文献，脚注の表記ルールを確認する。 【事前学習】2 時間 論文の表記ルールの解説書を読む。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，参考文献，脚注の表記を修正する。
第 16 回	論文作成の進捗状況につ いての報告	夏季休暇期間中の進捗について報告する。 【事前学習】2 時間 進捗状況の報告を準備する。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，今後の作業スケジュールを策定する。
第 17 回	論文内容の中間報告 （1）	各自・各グループで論文の中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 中間報告をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，論文草稿を修正する。
第 18 回	論文内容の中間報告 （2）	各自・各グループで論文の中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 中間報告をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，論文草稿を修正する。
第 19 回	論文内容の中間報告 （3）	各自・各グループで論文の中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 中間報告をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，論文草稿を修正する。
第 20 回	論文内容の中間報告 （4）	各自・各グループで論文の中間報告を行う。 【事前学習】2 時間 中間報告をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックをもとに，論文草稿を修正する。
第 21 回	論文内容の中間報告	各自・各グループで論文の中間報告を行う。

	(5)	【事前学習】2時間 中間報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第22回	論文内容の最終報告 (1)	各自・各グループで論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 最終報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第23回	論文内容の最終報告 (2)	各自・各グループで論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 最終報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第24回	論文内容の最終報告 (3)	各自・各グループで論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 最終報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第25回	論文内容の最終報告 (4)	各自・各グループで論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 最終報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第26回	論文内容の最終報告 (5)	各自・各グループで論文の最終報告を行う。 【事前学習】2時間 最終報告をまとめる。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、論文草稿を修正する。
第27回	論文の様式について	目次、脚注、参考文献の様式を確認する。 【事前学習】2時間 論文の表記ルールの解説書を読む。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、参考文献、脚注の表記を修正する。
第28回	論文内容の修正について	教員の指示に従い、論文の修正を行う。 【事前学習】2時間 論文の表記ルールの解説書を読む。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、参考文献、脚注の表記を修正する。
第29回	要旨の作成について	論文の冒頭に掲載する要旨を作成する。 【事前学習】2時間 論文の表記ルールの解説書を読む。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、参考文献、脚注の表記を修正する。
第30回	提出前の最終チェックについて	論文の提出前に最終チェックを行う。 【事前学習】2時間 論文の表記ルールの解説書を読む。 【事後学習】2時間 授業でのフィードバックをもとに、参考文献、脚注の表記を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100%	100%
評価の特記事項					
論文の内容（論理性，表現力，説得力など）および論文作成過程の取り組みを総合的に評価します。					

テキスト
河野哲也（2018）『レポート・論文の書き方入門（第4版）』慶応義塾大学出版会
参考文献
伊丹敬之（2001）『創造的論文の書き方』有斐閣
オフィスアワー
原則として火曜4限。必要に応じメールで日時を調整します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
論文テーマは，各自の関心事に基づき，教員と相談の上で決定していきます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	35
担当教員	竹中 康治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水5	単位区分	選
講義室	3133	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>卒論は一つの課題に対する総合的論考です。ここで総合的論考というのは、従来の見方に対する評価と批判、批判を踏まえて、従来にはなかった新たな説明要因の発見による議論の展開、そうした議論の展開の問題点の指摘、といった複合的視野が必要とされる作業です。こうした複合的視野はレポート作成とは異なる側面です。受講者は卒論作成を通して、こうした総合的論考を通して、選択したテーマを深く追及することができるようになります。</p> <p>対応するP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>卒論は論文ですから、論文の体裁が必要です。第1に、論文としての形式的な体裁が整ってなければなりません。論文と作文との違いは、後者が自己の感情表現であるのに対して、後者は論理的構造の産物です。これが第2の必要な体裁です。数理経済学その他の一部分野を除けば、経済学では論文には一定量の分量が必要です。これが、第3の体裁となる量的体裁です。こうした3つの体裁はある課題に対する、発表者による読者の説得作業であると考えられます。これらはまた、卒業後の職業でも常に必要となるでしょう。加えて、読者を説得する手段としての文章作成能力必要となります。ここで文章作成能力とは、効率的な文章という意味です。卒論作成を通して、単に課題の追及のみならず、3つの体裁と効率的な文章が身につきます。対応するP及びCP：5,6,7,8</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論文の文章	効率的文章についての議論 【事前学習】2 時間 事前に配布した「文章の書き方」と「文章例」を読んでおく。 【事後学習】2 時間 事前に配布した「文章の書き方」に新たに気付いた事柄を追加する。
第 2 回	論文構成	論文作成上の重要点についての議論 【事前学習】2 時間 事前に配布した「論文の書き方」を読んでおく。 【事後学習】2 時間 次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者にそれを配布、
第 3 回	テーマと論点の発表と議論 1	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。
第 4 回	テーマと論点の発表と議論 2	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。
第 5 回	テーマと論点の発表と議論 3	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。
第 6 回	テーマと論点の発表と議論 4	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。
第 7 回	テーマと論点の発表と議論 5	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。
第 8 回	テーマと論点の発表と議論 6	報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。

		<p>【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 9 回	テーマと論点の発表と議論 7	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。 前回の授業資料の復習。 【事後学習】2 時間 家庭学習用の練習問題に取り組む</p>
第 10 回	テーマと論点の発表と議論 8	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 11 回	テーマと論点の発表と議論 9	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 12 回	テーマと論点の発表と議論 10	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 13 回	テーマと論点の発表と議論 11	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 14 回	テーマと論点の発表と議論 12	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 15 回	テーマと論点の発表と議論 13	<p>報告者は自らの「テーマと論点」を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 今回の発表者は作成した「テーマと論点」を再度検討、他の受講者は配布された今回発表者の「テーマと論点」読んで、批判点を整理しておく。</p>

		<p>【事後学習】2 時間 今回の発表者は「自らの「テーマと論点」を修正、次回の報告者は「テーマと論点」を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 16 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 1	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 17 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 2	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 18 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 3	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 19 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 4	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 20 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 5	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 21 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 6	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 22 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 7	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。 【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正、次回の報告者はその核心部分（3 章）を作成し、他の受講者に配布。</p>

第 23 回	卒論の核心部分（3 章）の作成 8	<p>報告者は中心部分（3 章）を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文の核心部分（3 章）の作成し、他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の核心部分（3 章）読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその核心部分（3 章）を批判を踏まえて修正し、論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。</p>
第 24 回	卒論全体の作成 1	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正、次回の報告者は論文全体の完成部分を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 25 回	卒論全体の作成 2	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正、次回の報告者は論文全体の完成部分を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 26 回	卒論全体の作成 3	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正、次回の報告者は論文全体の完成部分を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 27 回	卒論全体の作成 4	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正、次回の報告者は論文全体の完成部分を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 28 回	卒論全体の作成 5	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、批判点を整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正、次回の報告者は論文全体の完成部分を作成し、他の受講者に配布。</p>
第 29 回	卒論全体の作成 6	<p>報告者は論文全体の完成部分を発表、受講者相互間の批判。</p> <p>【事前学習】2 時間 論文全体の執筆を始める。次回の報告者は論文全体の完成部分を他の受講者に配布。他の受講者は配布された今回発表者の完成部分を読んで、</p>

		批判点を整理しておく。 【事後学習】2 時間 今回の発表者はその完成部分への批判を踏まえて修正
第 30 回	卒論の提出	論文の提出を確認 【事前学習】2 時間 卒論の最終確認 【事後学習】2 時間

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
共同研究発表内容の作成への参加の積極性。					

テキスト
授業後に指示
参考文献
ミクロ経済学の数学のテキスト
オフィスアワー
金曜日 10:40~11:40。事前に授業後またはメールでアポイントメントをとること。なお、メールは入室時に知らせてある。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミ中に受けた批判はできるだけ早うちに、それに対する答えをメモに作っておくこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	37
担当教員	塚本 隆夫	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3123	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>「卒業論文」の目標は、ゼミ4年次生が各自の研究テーマに基づき「卒業論文」を作成することにある。4年次ゼミ生は、これまでの「専門研究」の2年間を通じて研究を進めてきた成果をに基づき、「卒業論文」のテーマを確定し、各自の卒業論文テーマを探求する。このために必要な参考文献・研究論文等の研究資料の収集の仕方をはじめとして、文献精読とその整理を行う。「卒業論文」の受講生は、こうした文献研究を通じて、卒業論文作成に必要な技法を修得できるようになる。受講生の研究テーマのなかで、これまでどのように研究が進められてきたのかを再体験を通じ、受講生各自の学術的思考・精緻な論理展開能力・説明能力の進展を目指す。</p> <p>DP・CP 対応番号：5・6・7・8</p>
授業概要（教育目的）
<p>受講生各自は、卒業論文作成がどのように進行しているのかという「研究報告」を、毎週行う。この「研究報告」に基づいて、検討・討議を行い、研究の問題点や課題を発見し、次回の「課題」を確認する。次回の「卒業論文」では、それによっように対処したのか、どのような問題があるのかを、という「研究報告」の枠組みを明らかにしていく。このようにして「卒業論文」の作成を通じ、受講生の自発的学習が発揮できるようになる。受講生が「卒業論文」を作成していく過程を通じて、「学術論文」がどのようにして作成されていくのかを、実体験できる。こうした一連の作業を通じ、受講生は「科学的思考法」・「説得的論理構築」ができるようになる。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	「卒業論文」のテーマの検討：その 1 受講生が提示した「卒論テーマ」が「学術論文」として成立するための必要条件を検討する。	「卒論テーマ」を報告し、その内容を検討する。 【事前学習 2 時間】卒論テーマについて具体的に報告できるように準備する。 【事後学習 2 時間】授業での討議・検討結果に基づき、文献収集および先行研究の文献を読み進める。
第 2 回	「卒業論文」のテーマの検討：その 2 受講生が提示した「卒論テーマ」が「学術論文」として成立するための必要条件を検討する。	「卒論テーマ」を報告し、その内容を検討する。 【事前学習 2 時間】卒論テーマについて具体的に報告できるよう準備する。 【事後学習 2 時間】授業での討議・検討結果に基づき、文献収集および先行研究を進める。
第 3 回	「卒業論文」のテーマの検討：その 3 受講生が提示した「卒論テーマ」が「学術論文」として成立するための必要条件を検討する。	「卒論テーマ」を報告し、その内容を検討する。 【事前学習 2 時間】卒論テーマについて具体的に報告できるように準備する。 【事後学習 2 時間】授業での討議・検討結果に基づき、文献収集および先行研究の文献を読み進める。
第 4 回	文献収集の進捗報告：その 1 卒論でテーマとした問題を取り扱っている研究文献・論文の収集収集の進捗状況を報告し、議論する。	卒論テーマに即した文献収集の経過報告とそれに基づく検討 【事前学習 2 時間】卒論テーマに即した文献収集とその下読み。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、文献収集および文献研究を進める。
第 5 回	文献収集の進捗報告：その 2 卒論でテーマとした問題を取り扱っている研究文献・論文の収集収集の進捗状況を報告し、議論する。	卒論テーマに即した文献収集の経過報告とそれに基づく検討 【事前学習 2 時間】卒論テーマに即した文献収集とその下読み。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、文献収集および文献研究を進める。
第 6 回	文献収集の進捗報告：その 3 卒論でテーマとした問題を取り扱っている研究文献・論文の収集収集の進捗状況を報告し、議論する。	卒論テーマに即した文献収集の経過報告とそれに基づく検討 【事前学習 2 時間】卒論テーマに即した文献収集とその下読み。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、文献収集および文献研究を進める。
第 7 回	文献収集の進捗報告：その 4 卒論でテーマとした問題を取り扱っている研究文献・論文の収集収集の進捗状況を報告し、議論する。	卒論テーマに即した文献収集の経過報告とそれに基づく検討 【事前学習 2 時間】卒論テーマに即した文献収集とその下読み。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、文献収集および文献研究を進める。
第 8 回	文献研究報告：その 1 卒論テーマに即した文献内容を報告する。その報告に基づく、討議・検討をし、次の報告課題を確定する。	先行研究の文献報告：テーマに即した文献収集した中から、順次、文献を読み進め、報告できるようにする。 【事前学習 2 時間】先行文献の研究と報告準備。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、さらなる文献収集と研究。
第 9 回	文献研究報告：その 2 卒論テーマに即した文献内	先行研究の文献報告：テーマに即した文献収集した中から、順次、文献を読み進め、報告できるようにする。

	容を報告する。その報告に基づく、討議・検討をし、次の報告課題を確定する。	【事前学習 2 時間】先行文献の研究と報告準備。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、さらなる文献収集と研究。
第 10 回	文献研究報告：その 3 卒論テーマに即した文献内容を報告する。その報告に基づく、討議・検討をし、次の報告課題を確定する。	先行研究の文献報告：テーマに即した文献収集した中から、順次、文献を読み進め、報告できるようにする。 【事前学習 2 時間】先行文献の研究と報告準備。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、さらなる文献収集と研究。
第 11 回	文献研究報告：その 4 卒論テーマに即した文献内容を報告する。その報告に基づく、討議・検討をし、次の報告課題を確定する。	先行研究の文献報告：テーマに即した文献収集した中から、順次、文献を読み進め、報告できるようにする。 【事前学習 2 時間】先行文献の研究と報告準備。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、さらなる文献収集と研究。
第 12 回	文献研究報告：その 5 卒論テーマに即した文献内容を報告する。その報告に基づく、討議・検討をし、次の報告課題を確定する。	先行研究の文献報告：テーマに即した文献収集した中から、順次、文献を読み進め、報告できるようにする。 【事前学習 2 時間】先行文献の研究と報告準備。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果に基づき、さらなる文献収集と研究。
第 13 回	卒論構成の検討：その 1 これまでの文献研究の成果を踏まえ、卒論の「章」構成を行う。 この「章」構成に基づき、さらなる文献収集を進める。	先行研究の成果を踏まえ、卒論の「章」だてを作成する。 【事前学習 2 時間】「卒論」を「5 章」だてとし、各章の枠組みを構想する。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果を踏まえ、「章」だて作業を進める。
第 14 回	卒論構成の検討：その 2 これまでの文献研究の成果を踏まえ、卒論の「章」構成を行う。 この「章」構成に基づき、さらなる文献収集を進める。	先行研究の成果を踏まえ、卒論の「章」だてを作成する。 【事前学習 2 時間】「卒論」を「5 章」だてとし、各章の枠組みを構想する。 【事後学習 2 時間】授業での検討結果を踏まえ、「章」だて作業を進める。
第 15 回	夏休み中の卒論作成計画の報告 夏休み期間で、どのように卒論作成を進めていくかを、報告し、議論・検討する。	夏期休暇中の「卒論作成作業進行表」を作る。 【事前学習 2 時間】「卒論作成作業進行表」を作る。 【事後学習 2 時間】授業での検討に基づき、「卒論作成作業表」を再考する。
第 16 回	夏期休暇中の卒論作成進捗報告：その 1 その報告に基づき、議論・検討を行い、次の「課題」を確定する。	夏期休暇中の卒論進捗状況の報告準備を行う。 【事前学習 2 時間】夏期休暇中の研究成果を踏まえ、「進捗状況報告」の準備を行う。 【事後学習 2 時間】授業での「課題」に基づき、先行研究を進める。
第 17 回	夏期休暇中の卒論作成進捗報告：その 2 その報告に基づき、議論・検討を行い、次の「課題」を確定する。	夏期休暇中の卒論進捗状況の報告準備を行う。 【事前学習 2 時間】夏期休暇中の研究成果を踏まえ、「進捗状況報告」の準備を行う。 【事後学習 2 時間】授業での「課題」に基づき、先行研究を進める。
第 18 回	卒論：（仮）「1 章」下書きの報告：その 1 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「1 章」下書きを作成し、卒論テーマについての問題意識を深める。その	卒論「1 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「1 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。

	報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	
第 19 回	卒論：（仮）「1 章」下書きの報告：その 2 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「1 章」下書きを作成し、卒論テーマについての問題意識を深める。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「1 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「1 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 20 回	卒論：（仮）「2 章」の報告：その 1 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「2 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「1 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「1 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 21 回	卒論：（仮）「2 章」の報告：その 2 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「2 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「2 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「2 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 22 回	卒論：（仮）「3 章」の報告：その 1 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「3 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「3 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「3 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 23 回	卒論：（仮）「3 章」の報告：その 2 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「3 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「1 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「3 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 24 回	卒論：（仮）「4 章」の報告：その 1 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成	卒論「4 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「4 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。

	に基づき、「4 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	
第 25 回	卒論：（仮）「4 章」の報告：その 2 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「4 章」下書きを作成・報告し、卒論本論の展開を図る。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「4 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「4 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 26 回	卒論：（仮）「5 章」の報告：その 1 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「5 章」下書きを作成・報告し、卒論の議論を整理し結論へと進むを。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「5 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「5 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 27 回	卒論：（仮）「5 章」の報告：その 2 13・14 回目の授業で報告・検討された卒論の構成に基づき、「5 章」下書きを作成・報告し、卒論の議論を整理し結論へと進むを。その報告に基づき、討議・検討し、次回の「課題」を確定する。	卒論「5 章」のプロットを作成し、それを検討する。 【事前学習 2 時間】「5 章」下書きプロットを作成する。 【事後学習 2 時間】授業での下書きプロットの検討結果に基づき、下書きプロットを書き進める。
第 28 回	卒論：「1 章はしがき」と「5 章結び」の再検討 下書の完成を踏まえ、再度、「1 章」の問題設定と、「5 章」の結論の整合性を検討する。	卒論「1 章」と「5 章」の再検討を行う。 【事前学習 3 時間】卒論の問題設定とその結論の整合性を検討する。 【事後学習 3 時間】授業での検討結果に基づき、「1 章」と「5 章」を推敲する。
第 29 回	卒論：全体構成の検討：卒論の「1 章」から「5 章」を通して、問題点を検討する。 この検討結果に基づき、卒論の推敲作業に入る。	卒論全体を推敲する。 【事前学習 3 時間】卒論の論理展開が整合性になるように推敲する。 【事後学習 3 時間】授業での検討結果に基づき、卒論全体を推敲する。
第 30 回	卒論内容の報告：完成した「卒論」を報告する。この報告に基づき、議論・検討を行う。	卒論全体を報告できるように準備する。 【事前学習 2 時間】卒論の報告準備をする。 【事後学習 2 時間】授業での報告の討議結果を踏まえ、卒論の課題を整理する。

授業形式

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	30%	20%	100%
評価の特記事項					
「卒論」作成を授業の第一目標とする。					

テキスト
各自の「卒論テーマ」の沿ったものを選ぶこと。 必要な文献資料は、授業時に伝える。
参考文献
卒論作成の技法については； 小笠原喜康『最新版 大学性のためのレポート・論文術』講談社現代新書、講談社、2018年、Kindle版もあります。 これ以外の必要な文献資料は、授業時にお伝えします。
オフィスアワー
On-Line 授業のため、特に時間を設定しません。質問等は、メールや授業時に対応します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
「卒業論文」という科目は、受講生が主体的に「卒論」を作成できることを目的にしております。 「卒論」は「作文」ではありません。「学術論文」です。「学術論文」とはいかなるものかを学習しましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	辻 忠博	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	7062	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>卒業論文の執筆に専念します。論文の書き方の講習を受けた後、各自が関心あるテーマを選んでこれまでに培った開発に関する知識をフルに活用して、その集大成を卒業論文にまとめます。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>経済開発論は発展途上国経済に関する諸問題を研究する学問です。人口爆発や農村の貧困、都市部のスラム街から国際貿易や開発援助まで経済開発論が扱う分野は多岐にわたります。また、研究対象はアジアを始め、アフリカ、ラテンアメリカまで広範囲に及びます。</p> <p>このゼミナールでは、書籍の輪読だけでなく、グループワークやディベートに代表されるアクティブ・ラーニングを通じて、世界の多様な開発問題に関する理解を深めます。さらに、国際理解教育でも良く活用されているゲームを通じて途上国が抱える開発問題を疑似体験し、諸問題の根の深さ、解決の難しさを学びます。</p> <p>こうして、3年間のゼミナール活動を通じて、途上国の開発について感情論や思い込みに陥ることなく、学問的知見に基づいて客観的に分析できる能力を養うことをねらいとしています。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論文とは	論文とは何か, 論文と作文の違いを認識し, 論文のタイプを理解できるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, 授業中に出てきたキーワードを理解すること。
第 2 回	論文の構成要素について	研究プロセスを理解し, と研究論文の構成要素に基づいて論文を構成できるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, 授業中に出てきたキーワードを理解すること。
第 3 回	研究課題の設定について	研究テーマはどのように決めるかを理解し, 研究目的, 研究背景を明確にし, 研究課題の設定ができるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, 授業中に出てきたキーワードを理解すること。
第 4 回	参考文献の探し方(1)	学者・研究者の書いた図書や論文の選択, 学術書やそれに準ずるものの選択とその学術的意義について学び, 文献検索ができるようになる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, 授業中に出てきたキーワードを理解すること。
第 5 回	参考文献の探し方(2)	図書館 OPAC, NII 論文情報ナビゲータ, (CiNii)国立情報学研究所, グーグルスカラー(Google Scholar)を使った検索方法を学び, 実践的に論文を検索できるようになる。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】3 時間 授業内容を各自で振り返り, 授業中に出てきたキーワードを理解すること。
第 6 回	研究文献調査の実践(1)	持続可能な経済開発と東アジアの経験(国別の比較事例研究)について文献を調べ, サーベイ論文報告を行う。 【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み, 事前にレジメを準備すること。 【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り, アジア NIEs, 開発戦略, 政府主導, テクノクラート, イノベーション, 全要素生産性, キャッチアップ戦略といったキーワー

		ドを理解すること。
第 7 回	研究文献調査の実践(2)	<p>日本対アジアの政府開発援助(ODA)とアジアの経済発展について文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、OECD, JICA, 無償援助, 有償援助, 紐付き援助, 援助疲れ, 自助努力, インフラ基盤, 物流ネットワークといったキーワードを理解すること。</p>
第 8 回	研究文献調査の実践(3)	<p>高度経済成長の社会的側面 – 社会発展なき成長を如何に克服するかについて文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、不平等の測定, 貧困削減, 経済的格差, MDGs, SDGs, 児童労働問題, 環境問題, スラム化, 教育と人的資本といったキーワードを理解すること。</p>
第 9 回	研究文献調査の実践(4)	<p>人口移動, 都市化の経済と地域経済発展について文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、人口移動の要因, 外生的要因, 循環的集積のメカニズム, 人口ボーナス, 労働力吸収, 雇用創出といったキーワードを理解すること。</p>
第 10 回	研究文献調査の実践(5)	<p>開かれた地域主義とアジアにおける経済協力について文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、APEC, 自由貿易, 経済のシームレス化, 地域経済連携, 国際分業体制, GVCs, FTA/EPA, 経済統合といったキーワードを理解すること。</p>
第 11 回	研究文献調査の実践(6)	<p>アジア経済のアジア化 – 国際分業と域内貿易の深化について文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 本日の授業内容を各自で振り返り、相互依存, 中間財貿易, FDI, 細分化分業, 生産工程間分業, SCM, 生産拠点と消費市場といったキーワ</p>

		ードを理解すること。
第12回	研究文献調査の実践(7)	<p>地域経済発展とキャッチアップ戦略の展開について文献を調べ、サーベイ論文報告を行う。</p> <p>【事前学習】2時間 対象論文をよく読み、事前にレジメを準備すること。</p> <p>【事後学習】2時間 本日の授業内容を各自で振り返り、産業構造の高度化、生産拠点の移り変わり、雁行形態、ポスト雁行形態、分業関係、アーキテクチャといったキーワードを理解すること。</p>
第13回	リサーチ・クエスチョンについて	<p>先行研究を踏まえたリサーチ・クエスチョンとその妥当性を示せるようになる。</p> <p>【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2時間 授業内容を各自で振り返り、授業内容をよく復習した上で、論文の作成に反映すること。</p>
第14回	中心命題について(1)	<p>仮説(理論的仮説と経験的仮説を含む)が立てられるようになる。</p> <p>【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2時間 授業内容を各自で振り返り、授業内容をよく復習した上で、論文の作成に反映すること。</p>
第15回	中心命題について(1)	<p>研究をフォーカスして、研究の理論ベースを構築できるようになる。</p> <p>【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2時間 授業内容を各自で振り返り、授業内容をよく復習した上で、論文の作成に反映すること。</p>
第16回	研究コンテキスト&リサーチ・デザインについて(1)	<p>仮説を検証するための文献データ収集方法について学び、それを使ってデータ収集を行う。</p> <p>【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2時間 本日の授業内容を各自で振り返り、授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。</p>
第17回	研究コンテキスト&リサーチ・デザインについて(2)	<p>仮説を検証するためのアンケート調査や深層インタビュー調査など方法を使えるようにする。</p> <p>【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2時間 本日の授業内容を各自で振り返り、授業内容を基に研究課題との関連性</p>

		を検討する。
第18回	研究コンテキスト&リサーチ・デザインについて(3)	仮説を検証するための基礎的な定量分析方法を使えるようにする。 【事前学習】2時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。 【事後学習】2時間 本日の授業内容を各自で振り返り、授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第19回	研究成果の中間報告(1)	研究の構想(着眼点), 研究視点, 論文の基本構成, 期待する研究結果について各自で報告する。 【事前学習】2時間 報告者は中間報告資料を事前に提出し共有すること。EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと, 質疑やコメントを準備しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正する。
第20回	研究成果の中間報告(2)	研究の構想(着眼点), 研究視点, 論文の基本構成, 期待する研究結果について各自で報告する。 【事前学習】2時間 報告者は中間報告資料を事前に提出し共有すること。EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと, 質疑やコメントを準備しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正する。
第21回	研究成果の中間報告(3)	研究の構想(着眼点), 研究視点, 論文の基本構成, 期待する研究結果について各自で報告する。 【事前学習】2時間 報告者は中間報告資料を事前に提出し共有すること。EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと, 質疑やコメントを準備しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正する。
第22回	研究成果の中間報告(4)	研究の構想(着眼点), 研究視点, 論文の基本構成, 期待する研究結果について各自で報告する。 【事前学習】2時間 報告者は中間報告資料を事前に提出し共有すること。EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと, 質疑やコメントを準備しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正する。
第23回	論文の結果と結論について	研究結果を踏まえて結論に結びつき, インプリケーションを引き出せるようにす

		<p>る。</p> <p>【事前学習】2 時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】3 時間 授業内容を各自で振り返り，論文の結論と結果を確認し，適宜に修正を加えること。</p>
第 2 4 回	研究論文における今後の課題について	<p>卒業論はどこまで到達したのか，分かったことは何か，残された課題は何かを明らかにする。</p> <p>【事前学習】2 時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】4 時間 授業内容を各自で振り返り，論文の結論と結果を確認し，適宜に修正を加えること。</p>
第 2 5 回	参考文献，資料の引用について	<p>一般的な注釈のつけたかおよび直接引用のルールに基づいて論文の体裁を整えるようにする。</p> <p>【事前学習】2 時間 EcoLink から資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容を各自で振り返り，論文参考文献，資料の引用を正しく付けること。</p>
第 2 6 回	研究成果の報告(1)	<p>研究の目的と背景，研究視点，リサーチクエスト，中心命題，研究の結果と結論，今後の課題について各自で報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめ，報告資料を事前に提出し共有すること。各自で EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくことと，質疑やコメントを準備しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容(質疑，コメントを含む)を各自で振り返り，論文を修正し，ブラッシュアップすること。</p>
第 2 7 回	研究成果の報告(2)	<p>研究の目的と背景，研究視点，リサーチクエスト，中心命題，研究の結果と結論，今後の課題について各自で報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめ，報告資料を事前に提出し共有すること。各自で EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくことと，質疑やコメントを準備しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容(質疑，コメントを含む)を各自で振り返り，論文を修正し，ブラッシュアップすること。</p>
第 2 8 回	研究成果の報告(3)	<p>研究の目的と背景，研究視点，リサーチクエスト，中心命題，研究の結果と結論，今後の課題について各自で報告する。</p>

		<p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめ、報告資料を事前に提出し共有すること。各自で EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと、質疑やコメントを準備しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正し, ブラッシュアップすること。</p>
第 29 回	研究成果の報告(4)	<p>研究の目的と背景, 研究視点, リサーチクエスト, 中心命題, 研究の結果と結論, 今後の課題について各自で報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめ、報告資料を事前に提出し共有すること。各自で EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと、質疑やコメントを準備しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正し, ブラッシュアップすること。</p>
第 30 回	研究成果の報告(5)	<p>研究の目的と背景, 研究視点, リサーチクエスト, 中心命題, 研究の結果と結論, 今後の課題について各自で報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめ、報告資料を事前に提出し共有すること。各自で EcoLink から報告資料を事前にダウンロードして目を通しておくこと、質疑やコメントを準備しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容(質疑, コメントを含む)を各自で振り返り, 論文を修正し, ブラッシュアップすること。</p>

授業形式

質問等のフィードバックは、講義内で行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
授業時に指示する
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	38
担当教員	鶴田 大輔	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月4	単位区分	選
講義室	3112	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本科目では、企業金融論の基本的な考え方を理解したうえで、日本や海外の企業金融や関連する問題について自ら考える能力を身に付けることを目標とする。本科目を受講することで、学生が理論的な考え方に基づいて、国内外の企業の金融活動の動きや関連する問題の本質を理解できるようになる。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>本講義では日本の金融や経済などに関する問題を考え、卒業論文を完成させる。新聞紙上では企業の投資・融資計画、企業の業績、株式の公開、敵対的買収、企業の倒産など、企業金融に関する記事が多く掲載されている。また、中小・ベンチャー企業の金融支援の問題、社債市場の整備、証券化の促進など、企業金融に関する政策的な問題も大きな話題になっている。これらの企業活動や政策的な課題を我々はどうのように考えればよいのだろうか？教員や受講生同士の議論や研究を通じて、どのような問題が日本経済に存在し、その解決策は何かを考えながら、論理的に考える能力を養う。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	前期イントロダクション、分担決め	授業の進め方について説明したうえで、発表の順番決めを行う。 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマに関する文献を読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当する日を確認し、研究を進める。
第 2 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 3 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 4 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 5 回	データ分析に関する本の輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業で取り扱う箇所を読み、予習を行う。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことや疑問点などをまとめ、授業で取り扱った箇所の復習を行う。
第 6 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 7 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 8 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 9 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

第 10 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 11 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 12 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 13 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 14 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	卒業論文の草案の報告	卒論の草案について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	後期イントロダクション、分担当決め	授業の進め方について説明したうえで，発表の順番決めを行う。 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマに関する文献を読む。 【事後学習】2 時間 自分の担当する日を確認し，研究を進める。
第 17 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 18 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 19 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 20 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間

		課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 21 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 22 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 23 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 24 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 25 回	他大学のゼミとの討論	他大学とグループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 26 回	他大学のゼミとの討論	他大学とグループで経済や金融に関する問題について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	卒業論文の進捗の報告	卒論の進捗について報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	卒業論文の最終報告	提出された卒業論文の報告会を行う。 【事前学習】2 時間 報告会で使用するスライドや資料を準備する。 【事後学習】2 時間

	指摘された問題点などを整理する。
--	------------------

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参加者と相談の上決定する。
参考文献
参加者と相談の上決定する。
オフィスアワー
火曜日 15 : 00-16 : 00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	39
担当教員	手塚 広一郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3114	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文献調査を通して、様々な課題を認識し、それらを整理する能力 2. プレゼンテーションを通して、自分の考えを人に伝える能力 3. 質疑応答を通して、相手の考えを理解する能力 4. 理解した内容を体系的な文章にする能力 <p>対応 DP および CP：5，6，7，8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、ゼミナールにおける調査、プレゼンテーション、および質疑を通して、自らの考えを整理し、それらを文章として表現できるようになることを目標とします。とくに、卒業論文では、①これまでに調査した内容を整理すること、②調査に際して様々な文献を読みこなすこと、③これらの分析をもとに自らの卒業論文の作成すること、の3つができるようになることを目指します。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	通年にわたる講義のガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 昨年度の学修内容を簡単に確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 ガイダンスの内容をよく復習しておくこと。
第 2 回	研究課題の確認について	専門研究（二）で設定した研究課題を各自確認し、その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 研究課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告内容をもとに、今後の研究の進め方を検討する。 他の人の報告や資料等なども参考にして、検討をする。
第 3 回	研究課題の確認について	専門研究（二）で設定した研究課題を各自確認し、その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 研究課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告内容をもとに、今後の研究の進め方を検討する。 他の人の報告や資料等なども参考にして、検討をする。
第 4 回	研究課題の確認について	専門研究（二）で設定した研究課題を各自確認し、その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 研究課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告内容をもとに、今後の研究の進め方を検討する。 他の人の報告や資料等なども参考にして、検討をする。
第 5 回	研究課題の確認について	専門研究（二）で設定した研究課題を各自確認し、その内容を報告する。 【事前学習】2 時間 研究課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告内容をもとに、今後の研究の進め方を検討する。 他の人の報告や資料等なども参考にして、検討をする。
第 6 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 7 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間

		授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 8 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 9 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 10 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 11 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 12 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 13 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 14 回	先行研究の収集及びデータ分析の実施	先行研究を収集し、それらをまとめる。あわせて、卒業論文に必要なデータ収集やデータ分析も行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。データ分析をする。 【事後学習】2 時間 授業でのコメント等を基に研究課題との関連性などを検討し、研究を進める。
第 15 回	これまでの小括	これまでの内容を小括する。

		<p>【事前学習】2 時間 これまでの内容を一通り見直し、疑問点などを再度見つけておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 ゼミナール参加者の質疑をもとにして、研究内容を再度見直し、理解を深める。</p>
第 16 回	卒業論文中間報告会の準備	<p>卒業論文中間報告会に向けた準備をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告の資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内で受けたコメントをもとに適宜内容を見直し、今後の課題を検討する。 他の人の報告内容を参考ににして、報告内容の準備をする。</p>
第 17 回	卒業論文中間報告会の準備	<p>卒業論文中間報告会に向けた準備をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告の資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内で受けたコメントをもとに適宜内容を見直し、今後の課題を検討する。 他の人の報告内容を参考ににして、報告内容の準備をする。</p>
第 18 回	卒業論文中間報告会の準備	<p>卒業論文中間報告会に向けた準備をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告の資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内で受けたコメントをもとに適宜内容を見直し、今後の課題を検討する。 他の人の報告内容を参考ににして、報告内容の準備をする。</p>
第 19 回	卒業論文中間報告会の準備	<p>卒業論文中間報告会に向けた準備をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 報告の資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内で受けたコメントをもとに適宜内容を見直し、今後の課題を検討する。 他の人の報告内容を参考ににして、報告内容の準備をする。</p>
第 20 回	卒業論文中間報告会への参画	<p>卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 中間報告のための準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 2・3 年生からの質問やコメントをもとに、卒業論文の内容改めて見直し、を検討する。</p>
第 21 回	卒業論文中間報告会への参画	<p>卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 中間報告のための準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 2・3 年生からの質問やコメントをもとに、卒業論文の内容改めて見直し、を検討する。</p>
第 22 回	卒業論文報告会への参画	<p>卒業論文中間報告会に参画し、質疑を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 中間報告のための準備を行う。</p>

		【事後学習】2 時間 2・3 年生からの質問やコメントをもとに、卒業論文の内容改めて見直し、を検討する。
第 23 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 24 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 25 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 26 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 27 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 28 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 29 回	卒業論文の執筆と経過報告	各個人で卒業論文の執筆を進めその経過を報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進めるとともに、経過報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 報告や質疑の中で得られたコメントを卒業論文の内容に組み込むなどして、論文執筆を進める。
第 30 回	研究成果の報告	提出した卒論の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 報告のための資料を作成する。 【事後学習】2 時間 コメントを通してこれまでの研究の振り返りをする。

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
特になし.					

テキスト
特になし.
参考文献
適宜指定します.
オフィスアワー
月曜日 13:00～14:30 必ず事前にメールなどでアポを取るよう to してください.
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
遅刻は厳禁です。遅刻や欠席は必ず事前に連絡するよう to してください。 ゼミでは報告者以外は、必ず少なくとも 1 度は質問してください.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	40
担当教員	寺沢 幹雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	7071	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工知能手法の基礎的な概念とアルゴリズムを理解できる。 2. 人工知能の研究について説明できる。 3. プログラミングのスキルを修得できる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>コンピューターを利用して、限られた資金、時間、人材の制約における最適解を得るための手法を追求します。応用分野は、市場分析、経営戦略立案、景気予測をはじめとして多岐にわたります。機械学習や深層学習などの人工知能分野での代表的な手法を学び、人工知能関係の最新の研究成果に触れるとともに、プログラミングスキルや基本的アルゴリズムを身につけてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 2 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 3 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 4 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 5 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 6 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 7 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 8 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング, 文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し, 文章に反映させること。
第 9 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査, モデル化, プログラミング,

		<p>文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 10 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 11 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 12 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 13 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 14 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 15 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 16 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。</p>
第 17 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 18 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 19 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 20 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 21 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 22 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 23 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 24 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 25 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し、文章に反映させること。
第 26 回	卒業論文作成	各自の卒業論文を作成するために必要な調査、モデル化、プログラミング、文書作成を行う。 【事前学習】2 時間

		<p>ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し，文章に反映させること。</p>
第 27 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査，モデル化，プログラミング，文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し，文章に反映させること。</p>
第 28 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査，モデル化，プログラミング，文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し，文章に反映させること。</p>
第 29 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査，モデル化，プログラミング，文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し，文章に反映させること。</p>
第 30 回	卒業論文作成	<p>各自の卒業論文を作成するために必要な調査，モデル化，プログラミング，文書作成を行う。 【事前学習】2 時間 ディスカッションのために問題点を明確にしておくこと。 【事後学習】2 時間 ディスカッションの結果を整理し，文章に反映させること。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし					

テキスト
参考文献
授業の中で適宜紹介する。
オフィスアワー
原則として EcoLink のメッセージで問い合わせること。 必要に応じてテレビ会議等でも対応する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
周囲に迷惑をかけないために、無断での欠席や遅刻は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	41
担当教員	豊福 建太	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月4	単位区分	選
講義室	3135	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>日本経済に関する諸問題に関して、自分なりのアイデアを論理的に表現し、卒業論文を完成させる。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>卒業論文の執筆を通じ、論理的思考力、創造力などを養い、また他の発表者に建設的なコメントをすることを通じて、グループとして価値を創造することを学んでほしい。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 2 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 3 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 4 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 5 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文	三人程度の発表と質疑応答。

	<p>の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	
第6回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第7回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第8回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第9回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を</p>	三人程度の発表と質疑応答。

	<p>集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	
第10回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第11回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第12回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第13回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点</p>	三人程度の発表と質疑応答。

	を考慮して、次回の発表のための準備をする。	
第 14 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 15 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 16 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 17 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 18 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文	三人程度の発表と質疑応答。

	<p>の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	
第19回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第20回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第21回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。</p> <p>事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第22回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。</p> <p>事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を</p>	三人程度の発表と質疑応答。

	<p>集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	
第 23 回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第 24 回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第 25 回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。</p>	三人程度の発表と質疑応答。
第 26 回	<p>卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点</p>	三人程度の発表と質疑応答。

	を考慮して、次回の発表のための準備をする。	
第 27 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 28 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 29 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。
第 30 回	卒業論文の発表 発表者は自分の卒業論文の内容をパワーポイントにして発表する。 事前学習 2 時間 自分の発表に関する資料を集め、資料を作成する。 事後学習 2 時間 発表で得たコメントなどを踏まえ、気づいた点や修正点を考慮して、次回の発表のための準備をする。	三人程度の発表と質疑応答。

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	1	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	42
担当教員	中川 雅之	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3083	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 2. 公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 3. 地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、経済学の考え方を基に、中央政府や地方政府の機能を専門書の輪読を通じて理解し、全国の公共政策系のゼミが参加する学生政策コンペである「公共政策フォーラム」への参加を通じて身に着けた問題解決の提案を行う基礎的な力を基に、自身が感じる社会問題の分析とその解決方法の提案を卒業論文という形でまとめていただきます。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	研究課題の設定	プレ卒論レポート（専門研究2でまとめた、卒論の事前準備）の評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する
第2回	研究課題の設定	プレ卒論レポート（専門研究2でまとめた、卒論の事前準備）の評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する
第3回	研究課題の設定	プレ卒論レポート（専門研究2でまとめた、卒論の事前準備）の評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する
第4回	研究課題の設定	プレ卒論レポート（専門研究2でまとめた、卒論の事前準備）の評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する
第5回	研究課題の設定	プレ卒論レポート（専門研究2でまとめた、卒論の事前準備）の評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する
第6回	先行研究の収集方法についての個別指導	論文検索等のツールが使えるようになり、それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第7回	先行研究の収集方法についての個別指導	論文検索等のツールが使えるようになり、それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第8回	先行研究の収集方法についての個別指導	論文検索等のツールが使えるようになり、それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第9回	先行研究の収集方法につ	論文検索等のツールが使えるようになり、それを活用して先行研究の収集を

	いての個別指導	行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 10 回	先行研究の収集方法についての個別指導	論文検索等のツールが使えるようになり、それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 11 回	分析方法の選択についての個別指導	インタビュー、記述統計の活用、実証分析等テーマに即した分析ツールが使えるようになり、それを活用して適切な分析が行えるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 12 回	分析方法の選択についての個別指導	インタビュー、記述統計の活用、実証分析等テーマに即した分析ツールが使えるようになり、それを活用して適切な分析が行えるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 13 回	分析方法の選択についての個別指導	インタビュー、記述統計の活用、実証分析等テーマに即した分析ツールが使えるようになり、それを活用して適切な分析が行えるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 14 回	分析方法の選択についての個別指導	インタビュー、記述統計の活用、実証分析等テーマに即した分析ツールが使えるようになり、それを活用して適切な分析が行えるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 15 回	分析方法の選択についての個別指導	インタビュー、記述統計の活用、実証分析等テーマに即した分析ツールが使えるようになり、それを活用して適切な分析が行えるようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 16 回	卒業論文の中間報告 1	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 17 回	卒業論文の中間報告 1	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 18 回	卒業論文の中間報告 1	各自研究成果の報告を行う。

		<p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 19 回	卒業論文の中間報告 1	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 20 回	卒業論文の中間報告 1	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 21 回	卒業論文の中間報告 2	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 22 回	卒業論文の中間報告 2	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 23 回	卒業論文の中間報告 2	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 24 回	卒業論文の中間報告 2	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 25 回	卒業論文の中間報告 2	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 26 回	卒業論文の最終報告	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 27 回	卒業論文の最終報告	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する</p>
第 28 回	卒業論文の最終報告	<p>各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p>

		【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 29 回	卒業論文の最終報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する
第 30 回	卒業論文の最終報告	各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスパワー
火曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	43
担当教員	中村 靖彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水5	単位区分	選
講義室	3132	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に使用する経済用語の意味を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を経済学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 3. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明できる。対応DP及びCP：5, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、市場、景気、経済成長、失業、貨幣、金融、為替レートなどの知識を用いて、各自の関心に基づいたテーマを選び、卒業論文を作成する。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 2 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 3 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 4 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 5 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 6 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 7 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 8 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 9 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。

		<p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 10 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 11 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 12 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 13 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 14 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 15 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 16 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。</p>
第 17 回	卒業論文の作成/報告	<p>卒業論文の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を</p>

		推敲する。
第 18 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 19 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 20 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 21 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 22 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 23 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 24 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 25 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 26 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 27 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 28 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 29 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。
第 30 回	卒業論文の作成/報告	卒業論文の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 卒業論文の作成を進め、疑問点を明らかにする。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、卒業論文を推敲する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
必要があれば、授業内で指定する。
参考文献
必要があれば、授業時に指示する。
オフィスアワー
メールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻、私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	44
担当教員	西山 朗	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3135	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>この授業では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的思考能力 2. 論理的分析能力 3. 論理的説明能力 4. 論理的文章作成能力 5. エビデンス（証拠・根拠）に基づいて議論する能力 6. プレゼンテーション力 <p>対応 DP 及び CP : 5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>この授業では、レベルの高い卒業論文を書き上げることを目標とします。先行研究の読み込み、データの収集、分析、解釈、参考文献リストの書き方、卒業論文の書式など、卒業論文を書き上げるうえで重要な事柄について指導し、質の高い卒業論文を書き上げてゆきます。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	概要説明 卒業論文を書き上げるうえでの注意事項の説明	卒業論文を書き上げるうえでの注意事項を説明する 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 授業内容をもとに研究を進める
第2回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第3回	卒業論文の考え方 就職活動の考え方	卒業論文の考え方と就職活動の考え方についてディスカッションを行う 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第4回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第5回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第6回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第7回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第8回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第9回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第10回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間

		アドバイスに基づき、研究を進める
第 11 回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 12 回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 13 回	卒業論文 中間報告①	卒業論文の中間報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 14 回	卒業論文 中間報告②	卒業論文の中間報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 15 回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 16 回	後期の概要説明 卒業論文を書き上げるうえでの注意事項の説明・確認	卒業論文を書き上げるうえでの注意事項を説明・確認する 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 17 回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 18 回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 19 回	卒業論文 分析結果報告 ①	卒業論文の分析結果を報告し、アドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 20 回	卒業論文 分析結果報告 ②	卒業論文の分析結果を報告し、アドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う 【事後学習】2 時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第 21 回	卒業論文 分析結果報告	卒業論文の分析結果を報告し、アドバイスを受ける

	③	【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第22回	卒業論文 分析結果報告 ④	卒業論文の分析結果を報告し、アドバイスを受ける 【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第23回	卒業論文 最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第24回	卒業論文 最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第25回	卒業論文 最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第26回	卒業論文 最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、アドバイスを受ける 【事前学習】2時間 発表の準備を行う 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第27回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第28回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第29回	卒業論文 初稿返却	担当教員に提出していた初稿を各自受け取り、アドバイスを受ける 事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める
第30回	卒業論文 個別指導	卒業論文の進捗状況を確認し、個別にアドバイスを受ける 【事前学習】2時間 資料を読み、研究を進める 【事後学習】2時間 アドバイスに基づき、研究を進める

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
履修学生と協議したうえで決定する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	45
担当教員	西脇 暢子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月3	単位区分	選
講義室	7063	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営組織の基礎を理解し、説明できる。 2. 新聞やニュースなどの経営にかかわる問題を理解し、自分なりにどのような解決策が可能かを考える力をつける。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>企業と経営にかかわる問題は絶対的な正解がないのが特徴である。経営の現場でも、トップと従業員は、何が正解かわからない様々な課題に毎日直面し、それに対してベストと思われる解を試行錯誤しながら出している。それをふまえて、経営組織にかかわる諸問題や緒現象に関するテーマを自分で設定し、それに関する論文執筆を通して、分析力、考察力を習得する。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	研究課題の設定	各自で卒論のテーマ設定を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第2回	研究課題の設定	各自で卒論のテーマ設定を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間
第3回	研究課題の設定	各自で卒論のテーマ設定を行う。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間
第4回	研究課題の具体化	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第5回	研究課題の具体化	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第6回	研究課題の具体化	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第7回	研究課題の具体化	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第8回	執筆に向けた準備	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第9回	執筆に向けた準備	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。 【事前学習】2時間 資料を読む。 【事後学習】2時間 研究課題の検討
第10回	執筆に向けた準備	設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。

		<p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 11 回	中間発表に向けた準備	<p>設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 12 回	中間発表に向けた準備	<p>設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 13 回	中間発表に向けた準備	<p>設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 14 回	中間発表に向けた準備	<p>設定した卒論のテーマを明らかにするための手順を決める。目次の作成、関連する文献を渉猟する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 15 回	中間発表	<p>後輩の前で中間発表をする。卒論テーマ、テーマを選択した背景、これまでに收容している点、今後やるべきことを説明する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 16 回	執筆	<p>設定した卒論のテーマについて執筆をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 17 回	執筆	<p>設定した卒論のテーマについて執筆をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 18 回	執筆	<p>設定した卒論のテーマについて執筆をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究課題の検討</p>
第 19 回	質問日	<p>設定した卒論のテーマについて執筆をする。疑問点などを質問する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p>

		【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 20 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 21 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 22 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 23 回	質問日	設定した卒論のテーマについて執筆をする。疑問点などを質問し、解決する。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 24 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 25 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 26 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 27 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 28 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討
第 29 回	執筆	設定した卒論のテーマについて執筆をする。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 研究課題の検討

第 30 回	論文提出とゼミ内発表	卒論の提出と最終発表を行う。 【事前学習】2 時間 サブゼミで不明な点などを整理し、疑問点を事前に調べておく。 【事後学習】2 時間 内容と問題点を整理する。
--------	------------	---

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
課題への取り組みと完成した論文をもとに総合的に評価する。					

テキスト
指定しない。
参考文献
論文執筆に必要な資料については適宜指示する。
オフィスアワー
事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナルガイドの注意事項を厳守すること。上述の特記事項をよくよみ、ゼミに取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	46
担当教員	根本 志保子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水2	単位区分	選
講義室	3083	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学的な考え方を理解し、経済学および環境経済学とはどのような学問なのかを説明できる。 2. 環境経済論の最新テーマについて、自ら調査し、論理的にそれらへの解決方法を導き出すことができる。 3. 2で得られた知見を、正しい日本語で説明・発表したり、質疑応答に対して自由に答えたりすることができる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>各自の関心に従って、卒業論文をまとめます。</p> <p>問題の立て方、論理の進め方、データや文献資料の使い方、アンケートやインタビューの方法への指導、長文の論文の個別添削なども行ないます。</p> <p>就職活動の時期に合わせて、企業活動や各自の働き方についても議論します。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクションと論文の書き方	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意について説明する 論文の書き方について講義する 【事前学習】2 時間 シラバスと事前配布の資料を読んでおくこと 【事後学習】2 時間 論文の書き方の資料を復習する
第 2 回	企業活動と働き方 (1)	企業活動と働き方について話し合う 【事前学習】2 時間 関心のある企業と働き方について話す準備をしておくこと 【事後学習】2 時間 話し合いから得られたことをまとめること
第 3 回	企業活動と働き方 (2)	企業活動と働き方について話し合う 【事前学習】2 時間 関心のある企業と働き方について話す準備をしておくこと 【事後学習】2 時間 話し合いから得られたことをまとめること
第 4 回	企業活動と働き方 (3)	企業活動と働き方について話し合う 【事前学習】2 時間 関心のある企業と働き方について話す準備をしておくこと 【事後学習】2 時間 話し合いから得られたことをまとめること
第 5 回	卒業論文のテーマについての討論 (1)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 話し合いに基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 6 回	卒業論文のテーマについての討論 (2)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 話し合いに基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 7 回	文章の書き方・引用の仕方 (1)	レポート・論文を書くための正しい文章と引用の仕方を復習する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 8 回	文章の書き方・引用の仕方 (2)	レポート・論文を書くための正しい文章と引用の仕方を復習する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 9 回	卒業論文のテーマについての討論 (3)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 10 回	卒業論文のテーマについての討論 (4)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 11 回	卒業論文のテーマについての討論 (5)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 12 回	卒業論文のテーマについての討論 (6)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 13 回	卒業論文のテーマについての討論 (7)	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 14 回	フィールドワーク、アンケート、インタビューの方法	夏合宿にて現場から環境問題を考えるため、調査の候補地や方法について話し合う 【事前学習】2 時間 調査したい事項や場所について調べてくること 【事後学習】2 時間 調査した内容のまとめかたについて復習すること

第 15 回	前期のまとめ	前期のまとめ 【事前学習】2 時間 前期学んだ内容についてまとめてくること 【事後学習】2 時間 夏休みと後期に向けての準備をすること
第 16 回	卒業論文のテーマについての討論（8）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 17 回	卒業論文のテーマについての討論（9）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 18 回	卒業論文のテーマについての討論（10）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 19 回	卒業論文のテーマについての討論（11）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 20 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正（1）	論文を完成させるための正しい文章と引用の仕方・様式を修正する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 21 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正（2）	論文を完成させるための正しい文章と引用の仕方・様式を修正する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 22 回	卒業論文のテーマについての討論（12）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 23 回	卒業論文のテーマについての討論（13）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 24 回	卒業論文のテーマについての討論（14）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 25 回	卒業論文のテーマについての討論（15）	卒業論文のテーマ発表と討議 【事前学習】2 時間 卒業論文のテーマを各自説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 討論に基づいてテーマをブラッシュアップすること
第 26 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正（3）	論文を完成させるための正しい文章と引用の仕方・様式を修正する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 27 回	論文の書き方の復習と文章・様式の修正（3）	論文を完成させるための正しい文章と引用の仕方・様式を修正する 【事前学習】2 時間 文章の書き方・引用の仕方の資料を読み、準備すること 【事後学習】2 時間 授業中に指摘された箇所の修正をして書き直すこと
第 28 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（1）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間 資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間 最新テーマについて学んだことを復習すること
第 29 回	環境経済論の最新テーマを学ぶ（2）	環境経済論の最新テーマについて、質疑応答と討論を行なう 【事前学習】2 時間 資料を読んで質問を考えてくること 【事後学習】2 時間 最新テーマについて学んだことを復習すること
第 30 回	後期のまとめ	後期のまとめ 【事前学習】2 時間 卒論を完成させて提出すること 【事後学習】2 時間 3 年間のゼミでの学習、お疲れさまでした

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
評価は1月に提出の各自の卒業論文に対して行ないませんが、これに加えてゼミ活動への参加や授業中の発言などを併せて評価します。					

テキスト
一方井誠治（2018）『コア・テキスト 環境経済学』新世社，ほか。
参考文献
授業時に指示します。
オフィスアワー
火曜日 12：10～12：55、14：25～16：10 事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
年に1回，2年～4年生合同で合宿を行います。合宿では現地見学やインタビュー，自然体験やボランティアなどを行ない，環境問題の現実を実地で学びます。 11～12月に中央大学・法政大学の環境経済学ゼミとのインゼミ発表会に参加します。 授業期間はゼミの課題で忙しくなりますが，ゼミ生自らが行なうゼミ運営や合宿の企画，積極的な発言や議論，グループでの共同作業と貢献を通じて，社会でも必要となる日本語スキル，論理力，コミュニケーション能力も身につけてください。無断欠席は禁止します。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	48
担当教員	橋本 英俊	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3115	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>卒業論文では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業論文を完成させることができる。 2. 分析を通じて論理的に一貫した思考をまとめ上げることができる。 3. 学術論文として読者に伝わりやすい、文章の書き方を身につけ、適切に図表等を活用することができる。 4. 卒業論文に関するプレゼンテーションや質疑応答を通じて他のゼミ生の卒業論文の内容についても深い知識を得ることができる。 5. 当該学問領域に関する体系的な知識を身につけることができる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>卒業論文では、専門研究(一)で設定したテーマに対し、専門研究(二)の前期で作成した目次に従い、専門研究(二)の後期で身につけた具体的な執筆方法を活かして卒業論文を執筆してもらいます。毎回のゼミで数名ずつ卒業論文の進捗状況について報告してもらい、これに対して、担当教員および他のゼミ生との質疑応答を繰り返し、最終的には学術論文として読者に読みやすく、分析を通じて論理的に一貫した卒業論文を完成させます。また、お互いの卒業論文の内容について深いレベルでの知識を得ることと合わせることによって、当該学問領域に関する体系的な知識を身につけることを教育目的とします。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文イントロダクション	卒業論文の年間スケジュールについて確認する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) を経てこれまでに執筆した自分自身の卒業論文原稿について十分に振り返り, 確認を行う。 【事後学習】2 時間 卒業論文の年間スケジュールを確認した上で, 自分自身の今後の卒業論文の執筆スケジュールについて見通しを立てる。
第 2 回	前期第 1 回卒業論文原稿の検討 (1)	各ゼミ生の卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い, 原稿執筆の上でのポイントをシェアし, 今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり, 質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告, 質疑応答の内容などを振り返り, 自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 3 回	前期第 1 回卒業論文原稿の検討 (2)	各ゼミ生の卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い, 原稿執筆の上でのポイントをシェアし, 今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり, 質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告, 質疑応答の内容などを振り返り, 自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 4 回	前期第 1 回卒業論文原稿の検討 (3)	各ゼミ生の卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い, 原稿執筆の上でのポイントをシェアし, 今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり, 質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告, 質疑応答の内容などを振り返り, 自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 5 回	前期第 1 回卒業論文原稿の検討 (4)	各ゼミ生の卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い, 原稿執筆の上でのポイントをシェアし, 今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり, 質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告, 質疑応答の内容などを振り返り, 自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 6 回	前期第 1 回卒業論文原稿の検討 (5)	各ゼミ生の卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い, 原稿執筆の上でのポ

		<p>イントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第7回	前期第2回卒業論文原稿の検討(1)	<p>前期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第8回	前期第2回卒業論文原稿の検討(2)	<p>前期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第9回	前期第2回卒業論文原稿の検討(3)	<p>前期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第10回	前期第2回卒業論文原稿の検討(4)	<p>前期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>

第 11 回	前期第 2 回卒業論文原稿の検討（5）	<p>前期第 1 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第 12 回	前期第 3 回卒業論文原稿の検討（1）	<p>前期第 2 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第 13 回	前期第 3 回卒業論文原稿の検討（2）	<p>前期第 2 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第 14 回	前期第 3 回卒業論文原稿の検討（3）	<p>前期第 2 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第 15 回	前期第 3 回卒業論文原稿の検討（4）	<p>前期第 2 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 16 回	後期第 1 回卒業論文原稿の検討（1）	前期第 3 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ，修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿執筆の上でのポイントをシェアし，今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 17 回	後期第 1 回卒業論文原稿の検討（2）	前期第 3 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ，修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿執筆の上でのポイントをシェアし，今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 18 回	後期第 1 回卒業論文原稿の検討（3）	前期第 3 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ，修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿執筆の上でのポイントをシェアし，今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 19 回	後期第 1 回卒業論文原稿の検討（4）	前期第 3 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ，修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿執筆の上でのポイントをシェアし，今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり，質問やコメントなどを準備する。 【事後学習】2 時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告，質疑応答の内容などを振り返り，自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。
第 20 回	後期第 1 回卒業論文原稿の検討（5）	前期第 3 回目の卒業論文原稿の検討をふまえ，修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿執筆の上でのポイントをシェアし，今後の方向性について検討する。 【事前学習】2 時間

		<p>事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第21回	後期第2回卒業論文原稿の検討(1)	<p>後期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第22回	後期第2回卒業論文原稿の検討(2)	<p>後期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第23回	後期第2回卒業論文原稿の検討(3)	<p>後期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第24回	後期第2回卒業論文原稿の検討(4)	<p>後期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間</p> <p>事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間</p> <p>発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第25回	後期第2回卒業論文原稿の検討(5)	<p>後期第1回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他</p>

		<p>のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第26回	後期第3回卒業論文原稿の検討(1)	<p>後期第2回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第27回	後期第3回卒業論文原稿の検討(2)	<p>後期第2回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第28回	後期第3回卒業論文原稿の検討(3)	<p>後期第2回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか検討する。</p>
第29回	後期第3回卒業論文原稿の検討(4)	<p>後期第2回目の卒業論文原稿の検討をふまえ、修正加筆された卒業論文原稿の進捗状況について報告してもらう。これに対して担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い、原稿執筆の上でのポイントをシェアし、今後の方向性について検討する。</p> <p>【事前学習】2時間 事前にアップロードされた発表者の卒業論文原稿に目をとおり、質問やコメントなどを準備する。</p> <p>【事後学習】2時間 発表者の卒業論文原稿やプレゼンテーション報告、質疑応答の内容などを振り返り、自分自身の卒業論文原稿執筆にどのように活かすことができるか</p>

第 30 回	卒業論文の完成原稿の確認	<p>検討する。</p> <p>各ゼミ生によって執筆された卒業論文原稿について，担当教員および他のゼミ生との間で質疑応答を行い，原稿提出に向け卒業論文が正しく形式を整えられたものかどうか最終的な確認を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分自身の卒業論文原稿を十分に見直し確認を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分自身の卒業論文原稿が提出に向けて正しく形式が整えられているかどうか最終的に十分に確認する。</p>
--------	--------------	--

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
特になし。
参考文献
ゼミの時間内で指示する。
オフィスパワー
ゼミの時間内で指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的な姿勢でゼミに参加してくれることを望みます。 無断欠席は一切認めません。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	伴 正隆	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	木2	単位区分	選
講義室	7062	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>「専門研究(一)」「専門研究(二)」で得た経験・知識を元に卒業論文を執筆します。学生自身の興味に応じて卒論のテーマを決め、テーマが決まった後は基本的には学生個別に卒論指導を行います。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>マーケティング・リサーチとは、新製品の開発や価格の設定などマーケティング上の特定の課題に対応するために、アンケートやインタビュー、観察等の調査によって必要な情報(データ)を収集し、分析、結果報告を行う活動です。本ゼミでは単なるリサーチ技術の習得やマーケティング理論の理解にとどまらず、自らその技術や理論を実問題に応用し、分析結果から判断する経験を通じて、マーケティングに関して観察・分析・判断の各場面で試行錯誤できる能力を養うことを目標としています。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 7 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 8 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 9 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 0 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 1 回	卒業論文の途中経過報告 ⑥	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 2 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 3 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 4 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 5 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 6 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 7 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 8 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 9 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 3 0 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	49
担当教員	挽 直治	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3135	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>財務会計論に関する重要な論点について、必要な資料を渉猟し自らの考えをまとめ卒業論文を作成することを到達目標とします。発表資料を報告する際には質疑応答ができること、発表者に報告内容についての適切な質問ができることを目標とします。</p> <p>対応 DP 及び CP:5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>専門研究では経済社会での「事業の言語」を読解する手法を修得してきたが、とくに関心のある題目について問題意識を明確にし、当該項目の論点の整理を行うことを通じて、いかにそれらを表現するかということに焦点をあてる。また発表資料をもとに質疑応答することにより、さらに問題意識を整理することが期待される。なお、報告者には会計のダイナミズムを実感できるよう最新の事例も随時取り上げることが求められる。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス エ コ リ ン ク、Google Classroom を利用して、資料を提供します。授業実施形態について説明を行います。	卒業論文の到達目標についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 シラバスの記載内容を確認すること。 【事後学習】2 時間 到達目標に向けての準備を進めておくこと。
第 2 回	発表することの重要性を知る(1)	発表するうえで注意しなければならないことを学ぶ。 【事前学習】2 時間 発表することの意義について考えてみよう。 【事後学習】2 時間 会計の知識の到達度を確認すること。
第 3 回	発表することの重要性を知る(2)	発表する題目をどのような問題意識から選択したかを考えよう。 【事前学習】2 時間 会計のトピックスを選択すること。 【事後学習】2 時間 会計がなぜ必要であるかを整理すること。
第 4 回	参考文献の利用法	参考文献の正確な引用法を理解する。 【事前学習】2 時間 OPAC を利用してみよう。 【事後学習】2 時間 参考文献を渉猟する意義について整理すること。
第 5 回	企業情報の入手：ディスクロージャー制度について：報告と質疑応答	法定ディスクロージャーの概要と現状を分析する。 【事前学習】2 時間 業績評価を行う企業の有価証券報告書を用意し、利益への変動要因を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 関心のある企業の IR を調べてみよう。
第 6 回	ディスクロージャー制度の変革：IR と業績予測：報告と質疑応答	なぜ企業に関するディスクロージャー制度は拡充されてきたのか、その背景を踏まえ有価証券報告書を利用して企業のディスクロージャー制度を分析検討する。 【事前学習】2 時間 予め指定企業の決算短信を用意し、有価証券報告書との異同を確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 各企業の IR の異同を調べてみよう。
第 7 回	非公開会社の情報の特質：報告と質疑応答	非公開会社と会計情報 【事前学習】2 時間 非公開会社の具体例を調べておくこと。 【事後学習】2 時間 公開会社と非公開会社の異同について整理すること。
第 8 回	キャッシュフロー計算書に関する資料を輪読：報告と質疑応答	キャッシュフロー計算書から何を解読することが可能か、キャッシュフローと企業業績の評価について議論する。 【事前学習】2 時間 関心のある企業のキャッシュフローの状況を調べておくこと。 【事後学習】2 時間 キャッシュフロー計算書のフォームを正確に理解しているか確認すること。
第 9 回	キャッシュフロー経営に関する資料：報告と質疑応答	キャッシュフロー経営について議論する。 【事前学習】2 時間 予め配布資料の課題を遂行しておくこと。 【事後学習】2 時間 検討課題について、復習をすること。
第 10 回	会計利益の伸縮性に関する資料：報告と質疑応答	費用の期間配分について、棚卸資産、有形・無形固定資産、繰延資産の各手続を整理し議論する。 【事前学習】2 時間 予め配布資料を読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 検討課題について、復習をすること。
第 11 回	会計利益の伸縮性と会計政策に関する資料：報告と質疑応答	会計政策とは何かを最新の事例を題材として議論する。 【事前学習】2 時間 予め企業業績に影響するいくつかの要因を考察してみよう。 【事後学習】2 時間 取り上げた会計政策について、自身の考えをまとめること。
第 12 回	2019 年 3 月期の企業業績に関して議論：報告と質疑応答	2019 年 3 月期の決算内容に基づき、企業業績の分析を行う。 【事前学習】2 時間 主な収益性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。

		【事後学習】2 時間 収益予測の分析を行ってみよう。
第 13 回	2020 年 3 月期の企業業績予想に関して議論：報告と質疑応答	2020 年 3 月期の業績予想に基づき、業界分析を行う。 【事前学習】2 時間 主な収益性・安全性分析に関する指標をテキストの終章を読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 業界の経済環境に関して復習すること。
第 14 回	前期の内容に関するまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 15 回	前期の内容に関するまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。
第 16 回	ガイダンス	夏季休暇中の成果について発表する。また後期の検討課題についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 夏季休暇中の活動成果についてまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 発表の題目をいくつか見つけておくこと。
第 17 回	発表題目と問題意識を発表	発表題目と問題意識について資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表題目に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 18 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 19 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 20 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 21 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 22 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 23 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 24 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 25 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 26 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 27 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 28 回	発表者の題目についての論点整理：報告と質疑応答	問題意識を明らかにした資料に基づき発表する。 【事前学習】2 時間 発表に係る資料を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 問題意識に関して整理すること。
第 29 回	後期の内容に関するまとめ	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。

	め：報告と質疑応答	【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正する
第 30 回	後期の内容に関するまとめ：報告と質疑応答	報告者が発表後追加した最新資料に基づいてまとめを行う。 【事前学習】2 時間 テキストのトピックスを読み確認しておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑応答した内容を加筆修正すること。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
積極的に質疑応答した学生に対しては、加点評価する。					

テキスト
適宜適切な文献について指示する。
参考文献
伊藤邦雄『会計制度のダイナミズム』岩波書店, 7,260 円(税込). 伊藤邦雄『企業価値経営』日本経済新聞出版社, 4,620 円(税込). 今福愛志『企業統治の会計学』中央経済社, 3,960 円(税込).
オフィシアワー
エコリンク・Web Class を利用して, 質問に回答します。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
議論する内容は広範囲にわたるため, 必要な資料を収集し, 論点整理とともに着実に会計基準の把握, 有価証券報告書の読解を蓄積していくことが望まれる。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	50
担当教員	廣野 桂子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水4	単位区分	選
講義室	3102	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>廣野ゼミ（4年生）では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <p>①卒業論文を作成する。</p> <p>②発想する力と企画力を養う。</p> <p>対応 DP 及び CP 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>廣野ゼミでは、ゼミ生が社会人になってから役に立つ企業戦略や経済学、プレゼンテーションの方法を扱います。</p> <p>4年生では、自分の発想や意見を入れた卒業論文を作成することで、発想力と企画力を身につけていただきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	(1)講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。(2)自己紹介の方法を復習し, ゼミ全体で自己紹介を行う。 [事前学習] 2 時間 Ecolink のシラバスをよく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 2 回	卒業論文の書き方の説明	廣野ゼミの「卒業論文作成の手引き」の説明をする。 [事前学習] 2 時間 Ecolink から「卒業論文の手引き」をダウンロードし, よく読んでおくこと。 [事後学習] 2 時間 授業内容をよく復習する。
第 3 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 4 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 5 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 6 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 7 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 8 回	卒業論文のテーマの設定	既存企業の製品・サービスや消費者のニーズを調べることで, 研究テーマの設定が出来るようになる。 [事前学習] 2 時間 資料を読む。 [事後学習] 2 時間 研究課題を検討する。
第 9 回	関連する研究の収集	研究テーマに合わせて, 卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間

		<p>関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 10 回	関連する研究の収集	<p>研究テーマに合わせて、卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間 関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 11 回	関連する研究の収集	<p>研究テーマに合わせて、卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間 関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 12 回	関連する研究の収集	<p>研究テーマに合わせて、卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間 関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 13 回	関連する研究の収集	<p>研究テーマに合わせて、卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間 関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 14 回	関連する研究の収集	<p>研究テーマに合わせて、卒業論文で引用する関連した研究の収集を行う。 [事前学習] 2 時間 関連した研究の資料を調べる。 [事後学習] 2 時間 研究テーマとの関連性を検討する。</p>
第 15 回	卒業論文のテーマの最終報告	<p>順番に、卒業論文のテーマの最終報告を行う。 [事前学習] 2 時間 卒業論文のテーマの最終確認を行う。 [事後学習] 2 時間 廣野や他の 4 年生からの指摘や質問をふまえて、必要であれば、自分の卒業論文のテーマを修正する。</p>
第 16 回	卒業論文のテーマの最終報告	<p>順番に、卒業論文のテーマの最終報告を行う。 [事前学習] 2 時間 卒業論文のテーマの最終確認を行う。 [事後学習] 2 時間 廣野や他の 4 年生からの指摘や質問をふまえて、必要であれば、自分の卒業論文のテーマを修正する。</p>
第 17 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（一回め）	<p>順番に、卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2 時間以上 卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2 時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を追加・修正する。</p>
第 18 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（一回め）	<p>ゼミの 4 年生で、順番に、卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2 時間以上 卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2 時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を追加・修正する。</p>

第 19 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（一回め）	ゼミの4年生で、順番に、卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を追加・修正する。
第 20 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（一回め）	ゼミの4年生で、順番に、卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を追加・修正する。
第 21 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（二回め）	ゼミの4年生で、順番に、修正した卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 修正した卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を、さらに追加・修正する。
第 22 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（二回目）	ゼミの4年生で、順番に、修正した卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 修正した卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を、さらに追加・修正する。
第 23 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（二回目）	ゼミの4年生で、順番に、修正した卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 修正した卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を、さらに追加・修正する。
第 24 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（二回目）	ゼミの4年生で、順番に、修正した卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 修正した卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を、さらに追加・修正する。
第 25 回	卒業論文の内容のプレゼンテーション（二回目）	ゼミの4年生で、順番に、修正した卒業論文の内容の発表を行う。 [事前学習] 2時間以上 修正した卒業論文の内容をまとめて、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容を、さらに追加・修正する。
第 26 回	卒業論文発表会	廣野ゼミ全体で、卒業論文の最終発表会を行う。 [事前学習] 2時間以上 卒業論文の最終発表内容をまとめ、パワーポイント資料を作成する。 [事後学習] 2時間 発表会での指摘や質問をふまえて、自分の卒業論文の内容の課題を考える。
第 27 回	卒業論文の添削・指導	廣野が順番に、各学生の卒業論文の添削・指導を行う。 [事前学習] 2時間以上 卒業論文の仮の最終版をまとめる。 [事後学習] 2時間以上

		廣野からの指摘をふまえて、学生が各自の卒業論文を修正する。
第 28 回	卒業論文の添削・指導	廣野が順番に、各学生の卒業論文の添削・指導を行う。 [事前学習] 2 時間以上 卒業論文の仮の最終版をまとめる。 [事後学習] 2 時間以上 廣野からの指摘をふまえて、学生が各自の卒業論文を修正する。
第 29 回	卒業論文の添削・指導	廣野が順番に、各学生の卒業論文の添削・指導を行う。 [事前学習] 2 時間以上 卒業論文の仮の最終版をまとめる。 [事後学習] 2 時間以上 廣野からの指摘をふまえて、学生が各自の卒業論文を修正する。
第 30 回	卒業論文の最終確認	卒業論文の最終確認を行う。 [事前学習] 2 時間以上 卒業論文の最終版をまとめる。 [事後学習] 2 時間 学生が卒業論文の提出に備えて、各自の卒業論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	60%	0%	100%
評価の特記事項					
卒業論文の内容が良いと加点されます。無断で欠席する場合は減点されます。					

テキスト
特になし
参考文献
特になし
オフィスアワー
授業時ないしメールでアポイントメントを取ってもらい、随時行う。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<ul style="list-style-type: none"> ○「卒業論文作成の手引き」にそって、卒業論文を作成してください。 ○ 卒業論文には、自分の発想や意見を入れてください。 ○ 卒業論文においては、ネット、本、雑誌などにある他者の文章をそのままコピーしたり、自分の考えとして記したりしないでください。 ○ 発表者でない人も、全員質問や意見を言うようにしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	藤井 盛夫	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>「専門研究(一)」「専門研究(二)」で得た経験・知識を元に卒業論文を執筆します。学生自身の興味に応じて卒論のテーマを決め、テーマが決まった後は基本的には学生個別に卒論指導を行います。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>ゼミナールとは研究を手段とした人間形成の場であると私は考えている。自分の考えを持ち、それを表現し、それを他人に理解させるにはどうしたらよいか。自分の考えの持ち方、表現の仕方、理解のさせ方にはどのようなものがあるのか。それらを将来のためにごく小さな集団の中で練習して、自分に何ができて何ができないのか、まだ自分が気づいていない長所はどこで短所はどこなのか、つまり自分はいったい何者なのかを理解・納得する場であると私は考えている。だから、このゼミナールでは近代経済学の歴史について研究するけれども、それはあくまで自分を知るために必要な手段にすぎない。ただし、最初だけ課題を与えることにする。それは自分探しの旅の入り口であり、その課題と自分とがどこまでかかわれるか、課題の中に自分をどれだけ見つけられるかが、人間形成の少なくとも一つの側面にとっては重要だと思うからである。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 7 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 8 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 9 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 0 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 1 回	卒業論文の途中経過報告 ⑥	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 2 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 3 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 4 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 5 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 6 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 7 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 8 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 9 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 3 0 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	51
担当教員	藤野 雅史	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月2	単位区分	選
講義室	3104	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>管理会計論は、英語で Management Accounting というように、Management（経営）と Accounting（会計）という 2 つの側面をもっています。どちらだけを勉強しても、管理会計論を学習したとはいえません。管理会計論は会計学の一分野とされることから、どちらかという会計に重点があると理解されがちですが、それは間違っています。そこで、このゼミでは、経営とは何か、ということをいつも考えながら管理会計論を学習していくことにします。ところが、経営とは何かということは非常に難しい問題です。優れた経営者は「経営学を勉強した」から成功したのではなく、社会、生活、人生のなかから経営のセンスを身につけたときえいわれることがあります。したがって、管理会計論を学習することはあくまでも手段であり、最終的なねらいは、自ら問題を明らかにし、自分の頭で考え、自ら解決策を見つけることであり、そのために必要な論理的な思考を身につけることにあります。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>卒業論文の作成に向けて研究を進める。研究の進捗状況について定期的に報告し、最終的に卒業論文を完成させる。</p> <p>5, 6, 7, 8</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	イントロダクション	レジュメの作成方法やスケジュールについて説明する。 【事前学習】2時間 卒論のテーマについて考え、関連する内容を調べる。 【事後学習】2時間 自分なりの卒論のスケジュールを検討する。
第2回	テーマ選定について	卒業論文のテーマ選定に関するテキストを輪読し、自分の関心あるテーマを選定できるようにする。 【事前学習】2時間 テキストの該当部分を読んでおく。 【事後学習】2時間 関心あるテーマについて参考文献を収集する。
第3回	文献探索の方法について	文献探索に関するテキストを輪読し、卒業論文のテーマに関連する文献を収集できるようにする。 【事前学習】2時間 テキストの該当部分を読んでおく。 【事後学習】2時間 学んだ方法を活用して、関心あるテーマについてさらに参考文献を収集する。
第4回	研究の進捗報告①	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第5回	研究の進捗報告②	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第6回	研究の進捗報告③	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第7回	研究の進捗報告④	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第8回	研究の進捗報告⑤	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第9回	研究の進捗報告⑥	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。

		クを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 10 回	研究の進捗報告⑦	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 11 回	研究の進捗報告⑧	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 12 回	研究の進捗報告⑨	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 13 回	研究の進捗報告⑩	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 14 回	章構成について	卒業論文の章構成に関するテキストを輪読し、論理的に主張を展開できる構成を考える。 【事前学習】2 時間 テキストの該当部分を読んでおく。 【事後学習】2 時間 卒業論文の章構成を検討する。
第 15 回	前期のまとめ	前期までの進捗状況を振り返り、夏休み中に必要な作業をリストアップする。 【事前学習】2 時間 前期をととしての研究の進捗状況を整理しておく。 【事後学習】2 時間 リストアップした作業を進めていく。
第 16 回	中間発表①	中間的な研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、研究の進め方を見直す。
第 17 回	中間発表②	中間的な研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、研究の進め方を見直

		す。
第 18 回	中間発表③	中間的な研究成果に関するプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、研究の進め方を見直す。
第 19 回	研究の進捗報告⑪	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 20 回	研究の進捗報告⑫	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 21 回	研究の進捗報告⑬	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 22 回	研究の進捗報告⑭	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 23 回	研究の進捗報告⑮	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 24 回	研究の進捗報告⑯	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 25 回	研究の進捗報告⑰	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備すること。 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。
第 26 回	研究の進捗報告⑱	卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。 【事前学習】2 時間

		<p>プレゼンテーションを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。</p>
第 27 回	研究の進捗報告⑭	<p>卒業論文の進捗状況についてプレゼンテーションし、他の人からのフィードバックを得て、さらに研究を深められるようにする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて研究の進め方を見直す。</p>
第 28 回	研究成果の発表①	<p>一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、卒業論文を仕上げる。</p>
第 29 回	研究成果の発表②	<p>一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、卒業論文を仕上げる。</p>
第 30 回	研究成果の発表③	<p>一年間の研究成果に関するプレゼンテーションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>プレゼンテーションで得られたフィードバックを踏まえて、卒業論文を仕上げる。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	40%	60%	100%
評価の特記事項					
その他はレジュメやプレゼンテーションによる評価とする。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 16:20～18:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒業論文のテーマは、自分がか最も興味のある問題をもとに設定していきましょう。問題の答えを見つけるのが卒業論文ではなく、どこに問題があるのかを明らかにして世に問うのが卒業論文です。自分で設定した研究課題について一年間かけて研究していき、研究の成果を論理的に主張できるように論文という形に残すことは一生の財産になることでしょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	
担当教員	伏見 俊行	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目 (専門ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	7064	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>2年間の研究を踏まえて、各自が関心を持つテーマについて卒業論文を作成します。</p> <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>税務職員（国税専門官）、税理士、会計士等を目指す学生を支援することを主な目的として、税や社会貢献、国際貢献に関する研究を行っていきます</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2 時間 専門研究 (二) の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 2 回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 3 回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 4 回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 5 回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 6 回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 7 回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2 時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第 8 回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 9 回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 10 回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 7 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 8 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 1 9 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 0 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 1 回	卒業論文の途中経過報告 ⑥	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 2 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 3 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 4 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 5 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 6 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 7 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 8 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 2 9 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 3 0 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は EcoLink から受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	53
担当教員	古庄 修	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水2	単位区分	選
講義室	3105	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本講義では、企業の情報開示（ディスクロージャー）をめぐる様々な現代的課題を取り上げ、財務会計論の観点から考察します。</p> <p>前期は、現在の日本のディスクロージャー制度の変容に大きな影響を与えている ESG 投資をめぐる問題について基本的な知識を得ることを目標とします。</p> <p>また、後期は卒業論文の製作・完成に向け、個別の指導を通じて 3 年間の専門研究における学びを収斂することを目指します。</p> <p>対応 DP 及び CP : 5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>私が担当する専門研究は、「財務報告論」の枠組みの中で、いま注目されている ESG（環境・社会・ガバナンス）情報や、SDGs（持続可能な開発目標）に係る企業の取り組みと関連づけた「統合報告」の展開まで視野に入れた研究をすべての学年に共通して行います。</p> <p>4 年生は、専門研究における 3 年間の学びの集大成として、卒業論文を完成させることが最も重要な目標となります。とりわけ後期においてスケジュールを設定し、時間をかけて丁寧に論文制作の指導を行います。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の内容, 進め方, 評価方法および履修上の注意点について説明します。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 2 回	ESG 総論 (1)	「ESG 黎明期」から「ESG ビッグバン」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 3 回	ESG 総論 (2)	「資本主義の見直し」から「SDGs は目標, ESG は手段」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 4 回	投資家と ESG (1)	「リターンを諦めない」から「100% ESG」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 5 回	投資家と ESG (2)	「アクティビズムとの接点」から「持つべきか, 売るべきか」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 6 回	企業と ESG (1)	「日立, ストーリーを語る」から「自由演技が光るエーザイ」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 7 回	企業と ESG (2)	「グローバル複合企業, ソニーの挑戦」から「未来から構想する丸井」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。

		こと。
第 8 回	企業と ESG (3)	「ナイキとアップル, サプライチェーンを変える」から「あまりに違う米エクソンと英 BP」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 9 回	インフラと ESG (1)	「旗振り役はナスダック」から「会計外交, 再び」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 10 回	インフラと ESG (2)	「金融システムも「グリーン」」から「グリーンに賭ける英国」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 11 回	ESG の変化 (1)	「野心の引き上げ」から「リターンからインパクトへ」まで輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 12 回	ESG の変化 (2)	「問題はアジアで起きている」を輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 13 回	ESG の変化 (3)	「市場の中心に NGO/NPO」を輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 14 回	ESG の変化 (4)	「ESG が消える日」を輪読し, その内容について解説した後, 質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて, 質問を準備しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, その内容を要約して, 次回授業時までに提出すること。
第 15 回	前期の総括	ESG 用語を確認するとともに, 各授業において提出した要約を踏まえて, 前期に学んだことを振り返るとともに, 補足的・追加的な解説を行います。

		<p>【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、その内容を要約して、指定した期日までに提出すること。</p>
第 16 回	後期の授業内容の概説	<p>前期の講義内容を改めて振り返るとともに、後期は、卒業論文の完成に向けた指導を行うため、スケジュール等を説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 講義に先駆けて事前に準備した資料を EcoLink からダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 各自、執筆計画を立て、次回の講義において説明すること。</p>
第 17 回	卒業論文のテーマ説明	<p>所定の様式に従い、卒業論文のテーマおよび当該テーマ設定の理由について説明してもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 執筆計画とともに、論文テーマを説明するために事前の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。</p>
第 18 回	卒業論文の構成	<p>卒業論文の構成について説明してもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 卒業論文の構成を説明するために事前の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。そのうえでより詳細に論文の構成を検討すること。</p>
第 19 回	各章の要約	<p>卒業論文の各章の要約を説明してもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 各章の要約を説明するために事前の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。</p>
第 20 回	研究資料の収集と整理および討議 (1)	<p>各自が収集した研究資料について説明を行ってもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 収集した研究資料について説明するために事前の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。</p>
第 21 回	研究資料の収集と整理および討議 (2)	<p>各自が収集した研究資料について説明を行ってもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 収集した研究資料について説明するために事前の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。</p>
第 22 回	研究資料の収集と整理および討議 (3)	<p>各自が収集した研究資料について説明を行ってもらいます。そのうえで質疑応答を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 収集した研究資料について説明するために事前の準備を行うこと。</p>

		【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。
第 23 回	研究資料の収集と整理および討議 (4)	各自が収集した研究資料について説明を行ってまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 収集した研究資料について説明するために事前の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。
第 24 回	研究資料の収集と整理および討議 (5)	各自が収集した研究資料について説明を行ってまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 収集した研究資料について説明するために事前の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論点を整理しておくこと。
第 25 回	執筆および推敲作業 (1)	完成した各章をもとに、説明してまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて、各章を執筆すること。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、修正を行うこと。
第 26 回	執筆および推敲作業 (2)	完成した各章をもとに、説明してまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて、各章を執筆すること。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、修正を行うこと。
第 27 回	執筆および推敲作業 (3)	完成した各章をもとに、説明してまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて、各章を執筆すること。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、修正を行うこと。
第 28 回	執筆および推敲作業 (4)	完成した各章をもとに、説明してまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて、各章を執筆すること。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論修正を行うこと。
第 29 回	執筆および推敲作業 (5)	完成した各章をもとに、説明してまいります。そのうえで質疑応答を行います。 【事前学習】2 時間 講義に先駆けて、各章を執筆すること。 【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、よく復習したうえで、論修正を行うこと。
第 30 回	最終チェックおよび後期の総括	後期に学んだことを振り返るとともに、卒業論文の最終チェックを行います。 【事前学習】2 時間 教務課提出前の最後のチェックに備えて、卒業論文を完成させておくこと。

		【事後学習】2 時間 講義時に指摘された点等を踏まえて、修正を行うこと。
--	--	---

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%		0%	30%	70%	100%
評価の特記事項					
出席点を加点要素として、卒業論文に取り組む姿勢と論文の出来栄を総合的に評価します。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
開講時に指示します。
オフィスアワー
月曜日 12 時 15 分から 12 時 55 分までとします。事前のアポイントを要します。 なお、メールアドレスは初回事業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
時間をかけて卒業論文の制作を行いますので、途中経過の説明の際には必ずレジュメおよび草稿の準備を行ってください。 言うまでもありませんが、出席点（授業への参画度）にも関係しますので、無断欠席がないようにお願いします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	54
担当教員	松倉 力也	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月5	単位区分	選
講義室	3062	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済や社会において、人口が影響する事象を理解し、まとめたものを説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を人口と経済学的な視点から捉えることで、新聞やニュースなどの社会・経済問題を理解できる。 3. 人口は将来予測ができる変数であるので、経済や社会が今後どうなるかと予測し、説明できる。 4. 様々な事象を論理的に説明できる。 <p>対応DP及びCP：5、6、7、8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、これまで学習してきた人口経済学の理論やデータ分析手法を使い、論理的な推論から論文を作成します。論文の研究テーマは私たちの身近にある社会を人口と経済の問題から選択します。これはほとんどわたしたちの生活に直結した問題が多いので、人口と経済・社会の関係をどのように科学的な視点を持つ観察眼の習得も目指してください。何がない問題でも背後には、原因や理由があり、それをどのように解決するかを分析し、論理的にまとめる作業は将来の研究やビジネスに大いに役立つ基礎をつくるものです。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。また、卒業論文の執筆するための、基本的なスケジュールの紹介などを行う。 【事前学習】2 時間 2 年間の勉強を振り返り、今後なにを研究テーマにするかまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 卒論の研究課題についてまとめておくこと。
第 2 回	卒業論文 研究課題について 1	これまで学んできた人口経済学の理論やデータ分析から、卒論研究のための課題を決定する。各個人ごとにアドバイスを行う。 【事前学習】2 時間 これまで自分で行ってきたグループ研究、個人研究を復習し, 自分に興味のある研究課題を考えておくこと。 【事後学習】2 時間 研究課題に対して、質問したことや、指摘をうけたことをまとめること。
第 3 回	卒業論文 研究課題について 2	これまで学んできた人口経済学の理論やデータ分析から、卒論研究のための課題を決定する。各個人ごとにアドバイスを行う。 【事前学習】2 時間 これまで自分で行ってきたグループ研究、個人研究を復習し, 自分に興味のある研究課題を考えておくこと。 【事後学習】2 時間 研究課題に対して、質問したことや、指摘をうけたことをまとめること。
第 4 回	卒業論文 研究課題について 3	これまで学んできた人口経済学の理論やデータ分析から、卒論研究のための課題を決定する。各個人ごとにアドバイスを行う。 【事前学習】2 時間 これまで自分で行ってきたグループ研究、個人研究を復習し, 自分に興味のある研究課題を考えておくこと。 【事後学習】2 時間 研究課題に対して、質問したことや、指摘をうけたことをまとめること。
第 5 回	卒業論文 研究課題について 4	これまで学んできた人口経済学の理論やデータ分析から、卒論研究のための課題を決定する。各個人ごとにアドバイスを行う。 【事前学習】2 時間 これまで自分で行ってきたグループ研究、個人研究を復習し, 自分に興味のある研究課題を考えておくこと。 【事後学習】2 時間 研究課題に対して、質問したことや、指摘をうけたことをまとめること。
第 6 回	卒業論文 研究プロポーザルの作成	決定した研究課題の研究スケジュール、研究方法等についてまとめた研究プロポーザルを作成する。 【事前学習】2 時間 これからの研究をするために、今後の予定やこれまで収集資料をみておくこと。 【事後学習】2 時間 研究プロポーザルを作成して、発表資料を作成すること。
第 7 回	卒業論文 研究計画の発表 1	研究課題プロポーザルをベースに研究計画を発表する、各人の研究計画を批評し、意見交換を行う。また、自分の研究プロポーザルも批評を受け、修正する。 【事前学習】2 時間 研究計画資料作成し、これまで収集資料をみておくこと。 【事後学習】2 時間 発表した結果から研究プロポーザルを加筆・修正し、研究プロポーザルを完成させること。

第 8 回	卒業論文 研究計画の発表 2	<p>研究課題プロポーザルをベースに研究計画を発表する、各人の研究計画を批評し、意見交換を行う。また、自分の研究プロポーザルも批評を受け、修正する。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究計画資料作成し、これまで収集資料をみておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表した結果から研究プロポーザルを加筆・修正し、研究プロポーザルを完成させること。</p>
第 9 回	卒業論文 研究資料の収集 1	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。</p>
第 10 回	卒業論文 研究資料の収集 2	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。</p>
第 11 回	卒業論文 研究資料の収集 3	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。</p>
第 12 回	卒業論文 研究資料の収集 4	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。</p>
第 13 回	卒業論文 研究資料の収集 5	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。</p>
第 14 回	卒業論文 研究資料の収集 6	<p>先行研究の文献や、データ、調査アンケートなどの実施など、研究資料の収集を行う。作業における問題点は個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスをまとめて、資料収集に反映させるためにまとめておくこと。また、中間発表用の資料も作成すること。</p>
第 15 回	卒業論文 中間発表 1	<p>これまで収集した研究資料の進捗状況などを発表し、特に夏期休暇中に行</p>

		<p>う作業について報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの進捗状況をまとめて発表資料を作成しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表した報告に対するコメントを整理し、研究資料の収集に反映させ、夏期休暇にする事項をまとめること。</p>
第 16 回	卒業論文 中間発表 2	<p>これまで収集した研究資料や夏期休暇期間中の進捗状況について報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの進捗状況をまとめて発表資料を作成しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表した報告に対するコメントを整理し、今後の収集に反映させ、夏期休暇にする事項をまとめること。</p>
第 17 回	卒業論文 執筆および研究資料の収集 1	<p>収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果に対するコメントを整理し、論文に反映させること。</p>
第 18 回	卒業論文 執筆および研究資料の収集 2	<p>収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果に対するコメントを整理し、論文に反映させること。</p>
第 19 回	卒業論文 レビュー 1	<p>提出された卒業論文のレビューを行う。各個人ごとにレビューを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 講義の前までに、卒業論文を完成させて、提出すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 卒業論文のレビューをもとに、創業論文を加筆・修正を行う。</p>
第 20 回	卒業論文 レビュー 2	<p>提出された卒業論文のレビューを行う。各個人ごとにレビューを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 講義の前までに、卒業論文を完成させて、提出すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 卒業論文のレビューをもとに、創業論文を加筆・修正を行う。</p>
第 21 回	卒業論文 執筆および研究資料の収集 3	<p>収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果に対するコメントを整理し、論文に反映させること。</p>
第 22 回	卒業論文 執筆および研究資料の収集 4	<p>収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果に対するコメントを整理し、論文に反映させること。</p>
第 23 回	卒業論文 執筆および研究	<p>収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各</p>

	資料の収集 5	個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。 【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果に対するコメントを整理し、論文に反映させること。
第 24 回	卒業論文 執筆および研究資料の収集 6	収集した資料をまとめ、執筆段階にはいる。論文の作成にかかわる状況は各個人で異なるので、アドバイスは個別に行う。 【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果と問題点をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 収集した研究資料や分析結果をまとめて発表資料を作成すること。
第 25 回	卒業論文 研究成果発表 1	研究結果をまとめ、発表し、様々なコメントやアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果をまとめ、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスなどを、論文に反省させる。
第 26 回	卒業論文 研究成果発表 2	研究結果をまとめ、発表し、様々なコメントやアドバイスを受ける 【事前学習】2 時間 研究資料の収集した結果や分析結果をまとめ、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスなどを、論文に反省させる。
第 27 回	卒業論文 執筆および、論文修正 1	これまでのコメントやアドバイスをまとめ、最終的な論文を完成させること。質問などは個人ごとに対応する。 【事前学習】2 時間 執筆にあたる問題点などをまとめる。 【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスなどを、論文に反省させる。
第 28 回	卒業論文 執筆および、論文修正 2	これまでのコメントやアドバイスをまとめ、最終的な論文を完成させること。質問などは個人ごとに対応する。 【事前学習】2 時間 執筆にあたる問題点などをまとめる。 【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスなどを、論文に反省させる。
第 29 回	卒業論文 執筆および、論文提出	これまでのコメントやアドバイスをまとめ、最終的な論文を完成させること。質問などは個人ごとに対応する。 【事前学習】2 時間 執筆にあたる問題点などをまとめる。 【事後学習】2 時間 コメントやアドバイスなどを、論文に反省させる。
第 30 回	卒業論文 卒業論文の総評	提出された卒業論文の総評をおこなう。 【事前学習】2 時間 提出した卒業論文を読み返しておくこと。 【事後学習】2 時間 卒業論文の講評をまとめ、さらなる研究につなげるためにまとめておくこと。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60	0%	20	20	100%
評価の特記事項					
講義の参加し、自分の考えを積極的に述べていただきたい。その講義参画度は、講義に出席するだけでなく、どれだけ自分の意見を述べるかで評価する。講義に出席しても何も話さなければ、欠席と同等である。					

テキスト
テキストに関しては、講義前に用意して皆に配布または指示する。
参考文献
個人ごとでことなりますので、各個人別に提示します。
オフィスアワー
火曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
就職などもあり、毎週参加できないこともあると思いますが、経過報告などはメールなどをお願いします。 また、随時質問をうけつけますので、とりあえず、何か問題があったら、質問してみてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	55
担当教員	松本 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火2	単位区分	選
講義室	3115	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

<p>学習目標（到達目標）</p> <p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学術的文献を講読することで、豊かな教養・知識を習得する。 2. 複数の学術的文献を読みこなすことで、分析力・批判的思考力を習得する。 3. とりわけ歴史的文献を講読することで、経済・経営の歴史的な文脈を解き明かし、現在の諸問題の解決策等を見出す。 <p>対応 DP および CP: 5, 6, 7, 8</p>
<p>授業概要（教育目的）</p> <p>本講義は、経営史を対象とします。諸外国そして日本の経営を歴史的に理解して自身の知恵とするには、インターネットの情報に頼るより、経営史に関する専門書を深く読むことが必要となります。普段触れることのない経営史関連の学術的文献を読み込むことによって、経営史の専門知識を身につけ、歴史的価値観を育んでもらいます。</p> <p>具体的には、複数の経営史に関する文献を講読し、個人の研究テーマに則した卒業論文を執筆してもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスを熟読し, 概要について把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 卒業論文の執筆に至るプロセスを十分理解すること。
第 2 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間 文献を読んで, 報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから, 卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	文献の講読	研究テーマに関連した文献の内容を報告する。 【事前学習】2 時間

		<p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 11 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 12 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 14 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	文献の講読	<p>研究テーマに関連した文献の内容を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>文献を読んで，報告の準備をする。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，卒業論文作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 16 回	卒業論文の執筆経過に関する報告	<p>卒業論文の執筆経過に関する報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>卒業論文の執筆を進め，報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，執筆内容を修正する。</p>
第 17 回	卒業論文の執筆経過に関する報告	<p>卒業論文の執筆経過に関する報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>卒業論文の執筆を進め，報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから，執筆内容を修正する。</p>
第 18 回	卒業論文の執筆経過に関する報告	<p>卒業論文の執筆経過に関する報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、執筆内容を修正する。
第 29 回	卒業論文の執筆経過に関する報告	卒業論文の執筆経過に関する報告を行う。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進め、報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、執筆内容を修正する。
第 30 回	卒業論文の執筆経過に関する報告	卒業論文の執筆経過に関する報告を行う。 【事前学習】2 時間 卒業論文の執筆を進め、報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 教員による指摘や自分自身で気づいたことなどから、執筆内容を修正する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度，卒業論文の執筆内容を総合評価する。					

テキスト
特になし。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
受講生との相談により，日時を決める。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
経営史に基づく卒業論文を執筆してもらうため，なるべく普段から歴史についての見聞を深めるようにすること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	57
担当教員	三井 泉	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3113	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「経営学」に関して専門研究 I II および講義等で学んだ知識を基礎として、自らの問題設定の下に学術論文を作成する。 2. 問題設定の行い方と、先行研究、基本文献、関連文献、資料等の収集と整理の仕方を学ぶ。 3. 上記を踏まえて、自分自身の論理的フレームワークを構築する方法を学ぶ。 4. 上記のフレームワークに基づいて、問題を分析し、論理的に結論を導いていく方法を学ぶ。 5. ゼミ生全員の前で中間報告、最終報告を行い、説得力のある論理と結論を構築し、卒業論文を完成させる。 <p>対応 DP および CP:5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門研究 I II で学んだ知識の再確認の上で、各自の卒論課題を設定してもらう。 2. 卒論作成のプロセスを示した上で、その段階的学習へのアドバイスを全体、個人指導を繰り返しながら行っていく。 3. 課題設定の仕方、先行研究・関連文献・資料等の検索の仕方、整理の仕方を実践を交えながら習得してもらう。 4. 分析手法、論理構築のやり方を学習してもらいながら、結論へと自ら導いていけるように、全体と個別指導を通じて学習支援する。 5. ゼミ生全体（下級生も含め）の前で中間報告会・最終報告会を行い、自らの論理を構築できるよう学習支援を行う。 <p>対応 DP および CP:5,6,7,8</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション 卒論作成のプロセス	卒業論文とはどのようなものであり、卒論執筆のプロセスについて全体像を説明し、各自で計画を立ててもらう。 事後学習 2 時間：各自で卒業執筆計画を作る。
第 2 回	研究課題の設定について	卒論の研究課題の設定とはどのようなもので、どのように行っていくかということの説明し、各自、興味のある課題などを確認してもらう。 事前学習 2 時間：各自で卒論の課題について検討しておく。 事後学習 2 時間：講義に基づいて卒論の課題を見直す。
第 3 回	研究の動機・目的・方法	研究課題が決定している場合は、その研究の目的を明らかにし、研究動機、方法などを確認していく。決定していない場合は、さらに課題設定に取り組む。 事前学習 2 時間：課題設定が終わってれば、動機・目的・方法の検討をする。 事後学習 2 時間：講義にもとづき、動機・目的・方法を再確認していく。
第 4 回	先行研究・関連文献等の 検索・収集・整理	先行研究・関連文献等の検索・収集・整理の方法について、実践を通じて学び、質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：研究動機、目的、方法の確認を行う。 事後学習 2 時間：先行研究や関連文献について検索・収集・整理を行う。
第 5 回	研究論文の研究：学術論文とは何か	「学術論文」とは何かについて、「レポート」「感想文」などとの違いを踏まえて、構成や論述方法などについて学ぶ。代表論文を検討する。 事前学習 2 時間：先行研究や関連論文の検索、収集、整理、検討を行う。 事後学習 2 時間：各自の研究課題に関連する学術論文を読む。
第 6 回	卒業論文の研究：先輩方の 卒業論文の研究	ゼミの先輩方から提出された優秀論文を参考にしながら、重要なポイントを示して互いにディスカッションする。 事前学習 2 時間：先輩方の論文をよく読んでおく。 事後学習 2 時間：今までに読んだ論文を参考に、自分自身の論文の構想を練る。
第 7 回	第一回報告①：研究課題・ 動機の発表 グループ 1 の報告会	各自の研究課題と研究動機を発表し、全体でディスカッションを行い、研究課題を固めていく。 事前学習 2 時間：今までの講義に基づき、各自研究課題と動機をまとめておく。 事後学習 2 時間：ディスカッションされた内容を踏まえ、再検討する。
第 8 回	第一回報告②：研究課題の 発表 グループ 2 の報告会	各自の研究課題と研究動機を発表し、全体でディスカッションを行い、研究課題を固めていく。 事前学習 2 時間：今までの講義に基づき、各自研究課題と動機をまとめておく。 事後学習 2 時間：ディスカッションされた内容を踏まえ、再検討する。
第 9 回	個別相談会：研究課題の 設定について	研究課題の設定について、個別指導を行う（各自の進捗状況が異なるため） 事前学習 2 時間：これまでの指導を踏まえて、各自進捗状況をまとめる。 事後学習 2 時間：個別指導の結果に基づき、研究課題を見直したうえで、それ以降のプロセスへと進めていく。
第 10 回	第二回報告①：先行研究の 検討結果 グループ 1 の報告会	先行研究の検討結果を各自が全員の前で報告し、ディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：先行研究の検討結果をまとめる。 事後学習 2 時間：ディカッションを踏まえて、検討結果を精査する。
第 11 回	第二回報告②：先行研究の 検討結果 グループ 2 の報告会	先行研究の検討結果を各自が全員の前で報告し、ディスカッションを行う。 事前学習 2 時間：先行研究の検討結果をまとめる。 事後学習 2 時間：ディカッションを踏まえて、検討結果を精査する。
第 12 回	研究課題・目的・動機・方	今までのプロセスをまとめ、研究課題→目的→動機→方法へのプロセスとして

	法の確定	論述していくための方法を学ぶ。 事前学習 2 時間：各自が上記のプロセスをまとめておく。 事後学習 2 時間：講義を踏まえて、上記を再検討する。
第 13 回	仮アウトラインの作成	今までの検討を踏まえて、仮アウトライン（目次）を作成する。それに従って、下記進めていくための計画を立てる。 事前学習 2 時間：今までのプロセスに沿って、仮アウトラインを作成する。 事後学習 2 時間：講義で学んだことに基づき、仮アウトラインを再検討する。
第 14 回	個人相談会：ここまでの作成プロセスについて	今までの講義のプロセスを踏まえ、個人の進捗状況ごとに個別面談を行い、問題点を解決しておく。 事前学習 2 時間：自分の進捗状況を確認し、問題点を明確化する。 事後学習 2 時間：面談に基づき、問題解決を行い先へ進めていく。
第 15 回	ここまでの執筆経過確認と夏休みの執筆計画	全員でこれまでの執筆計画を確認し、夏休み中の執筆計画を各自発表し、全員のディスカッションの中で問題を発見し、解決方法を模索する。 事前学習 2 時間：自分自身の夏休みの執筆計画を立てておく。 事後学習 2 時間：ディスカッションを踏まえて、計画を債権とする。
第 16 回	夏休み（夏合宿報告を踏まえ）の成果報告会	夏休みの執筆成果を各自報告し、質疑応答を行って、今後の執筆計画を立てる。 事前学習 2 時間：夏休みの成果報告をまとめておく。 事後学習 2 時間：今後 12 月までの執筆計画を立てる。
第 17 回	個別論文指導①	進捗状況がかなり異なるため個別指導を行う。講義時間内に 2-3 名の指導に限られるため、各自と調整を行い別途面接時間を設けて行う。一週間の間に、必ず各自に対して 1 回以上の指導を行う。 事前学習と事後学習はすべて論文執筆に充てられる。
第 18 回	個別論文指導②	上に同じ
第 19 回	個別論文指導③	上に同じ
第 20 回	個別論文指導④	上に同じ
第 21 回	全体報告：各自の執筆経過と成果の報告会	全員が集合して、各自の論文執筆経過と成果の報告会を行う。 事前学習 2 時間：執筆経過と成果をまとめておく。 事後学習 2 時間：報告会を踏まえて、今後の執筆計画を再考する。
第 22 回	個別論文指導⑤	進捗状況がかなり異なるため個別指導を行う。講義時間内に 2-3 名の指導に限られるため、各自と調整を行い別途面接時間を設けて行う。一週間の間に、必ず各自に対して 1 回以上の指導を行う。 事前学習と事後学習はすべて論文執筆に充てられる。
第 23 回	個別論文指導⑥	上に同じ
第 24 回	個別論文指導⑦	上に同じ
第 25 回	完成論文（仮）全員提出	全員、完成論文を提出するとともに、論文の内容と結論を簡潔に報告して質疑応答を行う。 事前学習 2 時間：報告内容をまとめる。 事後学習 2 時間：質疑応答を踏まえて、内容を振り返る。
第 26 回	個別論文添削①	順次論文を添削した上で、各自に面談して返却し、最終完成へ向けての質疑応答を行う。 事前学習と事後学習は各自の論文完成度により異なる。
第 27 回	個別論文添削②	順次論文を添削した上で、各自に面談して返却し、最終完成へ向けての質疑応答を行う。 事前学習と事後学習は各自の論文完成度により異なる。
第 28 回	個別論文添削③	順次論文を添削した上で、各自に面談して返却し、最終完成へ向けての質疑応答を行う。 事前学習と事後学習は各自の論文完成度により異なる。
第 29 回	卒論の提出へ向けての最終確認	最終提出（教務課）へ向けての最終チェックを行う。 事前学習：論文提出前の最終チェック（時間は各自異なる）
第 30 回	卒論研究を終えてー卒論	卒業論文執筆を終えての各自の感想を述べてもらい、ゼミ内の卒論報告会

	最終報告会（別日程）に向けてー	（別日に設定、2年～4年全員出席）へ向けた打ち合わせを行う。 事前学習、事後学習なし。
--	-----------------	--

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	%	100%	100%
評価の特記事項					
卒論は、各自の最終完成度で評価される。しかしながら、それに向かう過程では十分な指導やディスカッションを受けることが必須となる。従って、それらを含めて全体評価する。					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
卒論執筆へ向けた個人指導については、時間を調整した上で随時行う。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒業論文の執筆は、いわば「学生生活の集大成」であり、自分自身で研究課題を設定し、専門研究のみならず4年間に学修したすべての講義から得られた知見を総動員して、自らの課題を解決する創造的プロセスである。それは指導教員の支援や同期ゼミ生との切磋琢磨に依りながらも、最終的には自分自身で完結させていく学術的行為であり、経済学士号取得のための最終的な関門でもある。そのことをよく自覚し、最後まであきらめずに取り組み、大学生生活の有終の美を飾るとともに、自らの足で社会人への第一歩をしっかりと踏み出してほしいと願っている。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	58
担当教員	三井 秀俊	実務経験のある教員による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3105	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 株式・債券・外国為替相場等のリスク資産価格評価の分析手法を理解し、検証できるようになる。 2. 金融データ分析で利用される統計・計量分析手法を理解し、実証分析を行なうことができるようになる。 3. 統計学や計量経済学で学んだ計量分析手法が、どのように金融分析に応用されるかを理解し、かつ実践できるようになる。 4. 現実の金融データを使用して実証研究を行なうことができるようになる。 5. 実証研究についての論文が書けるようになる。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、株式、債券、為替レート、投資信託、金融派生商品（デリバティブズ）などの資産価格に関して卒業論文の作成を行ないます。資産価格の理論・実証研究は、金融業界（銀行・証券・保険・不動産）の実務家や個人投資家の間でも不可欠なものとなっています。そのため、現実の資産価格がどのように決まるかを、実際のデータを用いて検証できるような論文を作成していきます。また、資産価格分析のみならず、理論経済学、統計・計量経済学等についても理解が深まるように卒業論文の作成を進めていきます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	研究論文の構成	研究論文の構成についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 2 回	パラグラフの基本	パラグラフの基本についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 3 回	先行研究の読み方	先行研究の読み方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 4 回	先行研究のレビュー	先行研究のレビューについての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 5 回	先行研究の記載・引用方法	先行研究の記載・引用方法についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 6 回	脚注の書き方	脚注の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 7 回	研究課題の重要性	研究課題の重要性についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を 考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。

第 8 回	Introduction (序論) の書き方	Introduction (序論) の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 9 回	Method (研究実施方法) の書き方 (1)	研究実施方法の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 10 回	Method (研究実施方法) の書き方 (2)	研究実施方法についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 11 回	Result (研究結果の報告) の書き方 (1)	研究結果の報告)の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 12 回	Result (研究結果の報告) の書き方 (2)	研究結果の報告) の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 13 回	Discussion (考察) の書き方	考察の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 14 回	Conclusion (結論) の書き方	結論の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 15 回	Abstract (要約) の書き方	要約の書き方についての輪読を行なう。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		教科書の該当箇所を予め読んでおく。理解できない箇所を明確して、質問を考えておく。 【事後学習】2 時間 教科書の該当箇所と報告資料を基にして授業内容を要約する。
第 16 回	卒業論文のテーマ設定 (1)	先行研究を基にして卒業論文のテーマ設定を行なう。 【事前学習】2 時間 先行研究と報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究テーマを再検討する。
第 17 回	卒業論文のテーマ設定 (2)	先行研究を基にして卒業論文のテーマ設定を行なう。 【事前学習】2 時間 先行研究と報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究テーマを再検討する。
第 18 回	研究の進捗状況の報告 (1)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 19 回	研究の進捗状況の報告 (2)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 20 回	研究の進捗状況の報告 (3)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 21 回	研究の進捗状況の報告 (4)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 22 回	卒業論文の中間報告 (1)	卒業論文の中間報告を行なう。 【事前学習】2 時間 卒業論文の中間報告資料の作成を行なう。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、論文の修正・検討を行なう。
第 23 回	卒業論文の中間報告 (2)	卒業論文の中間報告を行なう。 【事前学習】2 時間 卒業論文の中間報告資料の作成を行なう。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、論文の修正・検討を行なう。
第 24 回	研究の進捗状況の報告 (5)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 25 回	研究の進捗状況の報告 (6)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 26 回	研究の進捗状況の報告 (7)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 27 回	研究の進捗状況の報告 (8)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 28 回	研究の進捗状況の報告 (9)	各自・各グループで研究の進捗状況の報告を行なう。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、研究内容・論文の修正・検討を行なう。
第 29 回	卒業論文最終報告会 (1)	卒業論文の最終報告を行なう。 【事前学習】2 時間 卒業論文の最終報告資料の作成を行なう。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、論文の修正を行なう。
第 30 回	卒業論文最終報告会 (2)	卒業論文の最終報告を行なう。 【事前学習】2 時間 卒業論文の最終報告資料の作成を行なう。 【事後学習】2 時間 コメント・質問を基にして、論文の修正を行なう。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
	60%		30%	10%	100%
評価の特記事項					
積極的に発言・質問をして下さい。					

テキスト
中安安男『大学生のためのアカデミック英文ライティング：検定試験対策から英文論文執筆まで』，大修館書店，1700円＋税。
参考文献
中安安男『経済学・経営学のための英語論文の書き方』，中央経済社，3000円＋税。 川崎剛『「優秀論文」作成術』，勁草書房，1900円＋税。
オフィスパワー
火曜日，5限，16：20－17：50。事前にメールでアポイントをとること。 メールアドレスは，授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
早めに論文執筆に取り掛かること。できる限りテキストだけでなく参考文献にも目を通すようにして下さい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	59
担当教員	南 雅一郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月3	単位区分	選
講義室	3132	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本演習（ゼミナール）では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済用語の意味を理解し、実際に起こっている経済事象を理論的に説明できることを目指します。 2 経済問題について経済学の視点から分析し、「卒業論文」としてまとめることができることを目指します。 3 自身の考えを明確に提示し、その上で他の意見を尊重しつつ、建設的なディスカッションができることを目指します。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本演習（ゼミナール）では国際経済・国際金融に関する基本的な枠組みを理解してもらおうと同時に、各自が選択した卒業論文テーマについて各学生個人で発表をもらい、質疑及びディスカッションを行ってもらおうことで、現代経済社会及び国際経済システムの中で実際に起こっている事柄についての専門的な理解を深めてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文のまとめかた	【事前学習】2 時間 各自、先輩の論文、レジュメ、パワーポを参照しながら自身の発表についてまとめ、発表要旨とパワーポを作成しておくための準備をする。 【事後学習】2 時間 授業内容を確認し、各自の発表に備える。
第 2 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 3 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 4 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 5 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 6 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 7 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 8 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 9 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポ及び要旨として用意し、準備を進める。ま

	ン ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	た内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 10 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 11 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 12 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 13 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 14 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 15 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 16 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 17 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。

第 18 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 19 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 20 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 21 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 22 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 23 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 24 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 25 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 26 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワポ及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。

	のアクションプランの提示	【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 27 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポイント及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 28 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポイント及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 29 回	①卒論の発表 ②質疑応答とディスカッション ③教員からのコメントと今後のアクションプランの提示	【事前学習】2 時間 発表担当者は自身の発表をパワーポイント及び要旨として用意し、準備を進める。また内容を Google Classroom にアップして共有する。他の学生はアップされた内容を見ておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を確認し、検討しておく。
第 30 回	①卒業論文報告全体の総評 ②卒業予定学生によるこれからの抱負 ③まとめ	【事前学習】2 時間 自身の発表内容を改めて整理しておく。また論文のハードコピーを準備しておく。 【事後学習】2 時間 発表内容を検討しておく。

授業形式	
<ul style="list-style-type: none"> ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。 	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
発表予定となっている学生は必ずパワポを準備しておくこと。レポート点は担当する発表及び提出される論文の評価を含む。参画度点にはゼミ中のディスカッションに対する姿勢や発言等に対する評価が含まれる。					

テキスト
特になし。各自の参考文献をまとめておくこと。
参考文献
授業中に必要があれば、適時、個別に指示する。
オフィスアワー
当該授業時間の前の休み時間もしくは事前にアポイント（メール）をとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻、発表者の無断欠席は、他の学生への迷惑となるので厳禁とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	60
担当教員	宮里 尚三	実務経験のある教員による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3132	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミでは、社会保障や分配問題、社会福祉などを扱っていきます。それらの問題を深く理解し自らの思考で政策的含意を導きだし議論を行うためには、理論的思考と実証的な考察が必要となります。ここでは主に経済学的（特に公共経済学的）なアプローチから理解を深めていきます。具体的には次のような内容を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の年金、医療、分配問題のおかれている現状を把握し、それらの分野の問題点を考察します。 2. 世代間格差、所得分配、社会福祉と家族、リスクシェアリングなどに関連させながら社会保障政策、分配政策、社会福祉政策について理解を深めていきます。 3. 実際のデータや実証分析、定量分析の結果を丁寧に検討し、少子高齢社会に対応した、社会保障システム、社会福祉システムを考察していきます。 <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>「専門研究(-)」：基本的な文献や資料を用いて「社会保障」、「分配問題」、「社会福祉」などについての基礎知識を身につけます。その知識を活用して特定のテーマについて検討、議論を行います。</p> <p>「専門研究(=)」：「専門研究(-)」で身につけた知識を応用して、各自がより興味のあるテーマを見つけ出し研究を深めていく作業を行います。また同時にゼミ生の間での議論を行います。</p> <p>「卒業論文」：各人の問題意識にしたがって卒業論文をまとめます。</p> <p>ゼミ生による発表、グループスタディー、ディスカッションという形式を中心に進めていきます。「専門研究(-)」、「専門研究(=)」を最終的には卒業論文につなげるという意識を持ってゼミに参加することを希望します。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	年間のスケジュール確認	年間のスケジュール確認
第 2 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 3 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 4 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 5 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 6 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 7 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 8 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 9 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 10 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 11 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 12 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 13 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 14 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 15 回	卒論の準備	卒論執筆に向けての題材や資料集めなど
第 16 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 17 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 18 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 19 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 20 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 21 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 22 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 23 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 24 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 25 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 26 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 27 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 28 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 29 回	卒論執筆	各自、卒論執筆
第 30 回	卒論執筆	各自、卒論執筆

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
月曜 3 限
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
やる気のある方、歓迎です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	62
担当教員	村上 英吾	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3073	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>ゼミでの学習を通じて、以下の能力を身につけることを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文献を的確に理解し、その内容を他者に説明できる。 2. 得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。 3. 客観的な資料に基づき、社会・経済問題の原因や背景を分析し、解決策を提案できる。 4. 他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。 <p>対応 DP 及び CP:5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミは、人々の働き方／働かされ方に関する諸問題を研究することを課題とする。</p> <p>日本の職場をめぐる状況は、働く人々にとって厳しいものになっている。このような状況が、なぜ、どのような形で生じているのか、また、変化の方向を変え、働きやすい職場をつくるにはどうしたら良いのかという点を考察する。また、労働問題を理解するためには、経済問題に対する幅広い知識が必要であるため、労働問題だけにとどまらず、経済問題全般に関して議論する。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 2 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 3 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 4 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 5 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 6 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 7 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 8 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 9 回	論文指導	卒業論文中間報告

		<p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 10 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 11 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 12 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 13 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 14 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 15 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 16 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>
第 17 回	論文指導	<p>卒業論文中間報告</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。</p>

		を進める。
第 18 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 19 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 20 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 21 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 22 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 23 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 24 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 25 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 26 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。

		【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 27 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 28 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 29 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、さらに論文執筆を進める。
第 30 回	論文指導	卒業論文中間報告 【事前学習】2 時間 各自で論文執筆を進める。 【事後学習】2 時間 報告内容に対する指導やコメントを踏まえて論文を修正し、論文を完成させる。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
初回授業時に指示する					

テキスト
特になし
参考文献
各自で探す
オフィスアワー
質問等には適宜対応する。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
受け身になるのではなく、積極的に取り組むこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	64
担当教員	村田 直樹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	月4	単位区分	選
講義室	3134	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>卒業論文では、今まで身につけた知識を応用できる力を身につけることを目標とする。そのために、自ら問題設定を行い、それに関する先行研究を収集し、それを分析し、整理することができるようになることを目指す。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、学生自らが研究課題を設定し、それに対する先行研究や研究資料を収集し分析することで、課題に対して一定の結論を導いてもらう。そして、最終的には卒業論文としてまとめてもらう。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	ガイダンス	卒業論文の進め方について説明する。 【事前学習】2時間 専門研究（二）の資料を復習しておくこと。 【事後学習】2時間 資料等により理解を深める。
第2回	研究課題の設定①	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第3回	研究課題の設定②	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第4回	研究課題の設定③	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第5回	研究課題の設定④	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第6回	研究課題の設定⑤	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第7回	研究課題の設定⑥	各自の研究課題について検討する。 【事前学習】2時間 研究課題について検討しておくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に、さらに研究課題を検討する。
第8回	資料収集と分析①	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第9回	資料収集と分析②	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第10回	資料収集と分析③	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2時間

		授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 11 回	資料収集と分析④	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 12 回	資料収集と分析⑤	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 13 回	資料収集と分析⑥	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 14 回	資料収集と分析⑦	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 15 回	資料収集と分析⑧	先行研究の収集とその検討をする。 【事前学習】2 時間 先行研究を集め、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。
第 16 回	卒業論文の途中経過報告 ①	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 17 回	卒業論文の途中経過報告 ②	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 18 回	卒業論文の途中経過報告 ③	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 19 回	卒業論文の途中経過報告 ④	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 20 回	卒業論文の途中経過報告 ⑤	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 21 回	卒業論文の途中経過報告	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。

	⑥	【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 22 回	卒業論文の途中経過報告 ⑦	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 23 回	卒業論文の途中経過報告 ⑧	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 24 回	卒業論文の途中経過報告 ⑨	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 25 回	卒業論文の途中経過報告 ⑩	卒業論文の途中経過を報告し、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 26 回	卒業論文の最終報告①	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 27 回	卒業論文の最終報告②	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 28 回	卒業論文の最終報告③	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 29 回	卒業論文の最終報告④	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。
第 30 回	まとめ	卒業論文の最終報告を行い、検討する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業の内容を基に論文を修正する。

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	80%	0%	20%	0%	100%
評価の特記事項					
授業内での報告と討論を繰り返し、卒業論文を完成させる。					

テキスト
適時指示する。
参考文献
適時指示する。
オフィスアワー
水曜日 13 : 00 ~ 14 : 00。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻などの学生の迷惑がかかる行為は禁止とする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	65
担当教員	山崎 福壽	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3083	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学的な考え方を理解し、経済学とはどのような学問なのかを説明することができる。 2. 公共部門の役割を理解し、経済学の立場から適切な評価、企画立案をすることができる。 3. 地域が抱える具体的な問題に関して、他人と協力して解決策を探し、ディスカッション、プレゼンテーションを通して他人を説得することができる。 <p>対応DP及びCP：5,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、経済学の考え方を基に、中央政府や地方政府の機能を理解し、全国の公共政策系のゼミが参加する学生政策コンペである「公共政策フォーラム」への参加を通じて身につけた、問題解決の提案を行う基礎的な力を基に、学生自身が感じる社会問題に関する分析、解決策の提案を卒業論文という形でまとめてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒業論文テーマに関する検討と個別指導	研究課題の設定 ブレ卒論テーマに関する評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	卒業論文テーマに関する検討と個別指導	研究課題の設定 ブレ卒論テーマに関する評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 3 回	卒業論文テーマに関する検討と個別指導	研究課題の設定 ブレ卒論テーマに関する評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 4 回	卒業論文テーマに関する発表	研究課題の設定 ブレ卒論テーマに関する評価を行い、研究課題の設定が出来るようになる。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 5 回	卒業論文テーマに関する発表	②先行研究の収集方法について 〇〇のツールが使えるようになる。 それを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する。 ③研究成果の報告 各自・各グループで研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正す
第 6 回	先行研究の収集方法に関する個別指導	先行研究の収集方法について検討し、適切な先行研究を見つけることができるようになる。指導された方法で先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 7 回	先行研究の収集方法に関する個別指導	先行研究の収集方法について検討し、適切な先行研究を見つけることができるようになる。指導された方法で先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する

第 8 回	先行研究の収集方法に関する個別指導	先行研究の収集方法について検討し、適切な先行研究を見つけることができるようになる。指導された方法で先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 9 回	先行研究の収集方法に関する個別指導	先行研究の収集方法について検討し、適切な先行研究を見つけることができるようになる。指導された方法で先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題との関連性を検討する
第 10 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 11 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 12 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 13 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 14 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 15 回	分析手法の選択と個別指導	実証分析、記述統計の活用、インタビューなど分析方法について検討し、適切な分析を選択できるようになる。指導された方法で分析を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に分析方法の適用可能性を検討する
第 16 回	研究成果の中間報告 1	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。

		【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 17 回	研究成果の中間報告 1	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 18 回	研究成果の中間報告 1	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 19 回	研究成果の中間報告 1	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 20 回	研究成果の中間報告 1	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 21 回	研究成果の中間報告 2	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 22 回	研究成果の中間報告 2	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 23 回	研究成果の中間報告 2	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 24 回	研究成果の中間報告 2	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。
第 25 回	研究成果の中間報告 2	研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。

		<p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>
第 26 回	研究成果の最終報告	<p>研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>
第 27 回	研究成果の最終報告	<p>研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>
第 28 回	研究成果の最終報告	<p>研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>
第 29 回	研究成果の最終報告	<p>研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>
第 30 回	研究成果の最終報告	<p>研究成果の報告 各自研究成果の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業でのフィードバックを基に論文を修正する。</p>

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
火曜日 15:00～16:00。事前に授業後またはメールでアポをとること。 なお、メールアドレスは、授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	66
担当教員	山下 雄司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火5	単位区分	選
講義室	3125	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らの関心に即して文献や資料を探し、読解、比較判断することができる。 2. 二元論に陥らず、事象を多角的に観察することができる。 3. 社会・経済を構成する多様な分野の諸学問に対する視野を広げることができる。 4. 研究テーマの策定と文献読解・報告を通じて、今後の課題として何が残されているのか明らかにできる。 5. 選択したテーマが自分が暮らしている社会とどのように関連しているか把握できる。 <p>対応 DP⇒5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>当ゼミでの学習の目的は、各自の個人テーマの研究を通じて、現在の経済構造や社会が歴史的にどのように形成されたのかを明らかにすることです。と同時に、どのような問題・困難・機能不全に直面しているのかを明らかにし、目先の安易な解決策にとらわれず、多様かつ長期的な視野を持ち、社会と自分の関係＝自らの進路と向かい合うことを目標にしています。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	先行研究の収集方法について	3 年次までに指導した資料・文献の調査方法をあらためて指導する。また、それらを活用して先行研究の収集を行う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 文献・論文を探す。
第 2 回	先行研究収集とまとめへの第一歩①	収集してきた基礎的な文献を教員が評価し、その妥当性を吟味する。 【事前学習】2 時間 文献・論文を探す。 【事後学習】2 時間 各自のテーマの導入文献・論文を読む。
第 3 回	先行研究収集とまとめへの第一歩②	基礎的な文献のレジюмеを作成する。その際、論文で必要とされる注の表記方法や引用方法を練習する。 【事前学習】2 時間 レジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 参考文献・論文を読み、サブノートを作る。
第 4 回	先行研究収集とまとめへの第一歩③	基礎的な文献のレジюмеを作成する。その際、論文で必要とされる注の表記方法や引用方法を練習する。 【事前学習】2 時間 レジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 参考文献・論文を読み、サブノートを作る。
第 5 回	先行研究収集とまとめへの第一歩④	基礎的な文献のレジюмеを作成する。その際、論文で必要とされる注の表記方法や引用方法を練習する。 【事前学習】2 時間 レジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 参考文献・論文を読み、サブノートを作る。
第 6 回	先行研究収集とまとめへの第一歩⑤	基礎的な文献のレジюмеを作成する。その際、論文で必要とされる注の表記方法や引用方法を練習する。 【事前学習】2 時間 レジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 参考文献・論文を読み、サブノートを作る。
第 7 回	参考文献一覧（仮）の作成	基礎的な文献の参考文献一覧や各種検索ページをもちいて参考文献一覧（仮）を作成する。 【事前学習】2 時間 一覧表を作成する。 【事後学習】2 時間 参考文献・論文を読み、サブノートを作る。
第 8 回	研究課題の設定①	先行研究をまとめてきた中でどのような視点で何が問われてきたのかまとめる。また何が欠落しているのか考える。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。
第 9 回	研究課題の設定②	先行研究をまとめてきた中でどのような視点で何が問われてきたのかまとめる。また何が欠落しているのか考える。

		<p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。</p>
第 10 回	章構成の作成	<p>論文の章構成を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。</p>
第 11 回	論文執筆と訂正①	<p>執筆した論文を提出し、検討・訂正する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。</p>
第 12 回	論文執筆と訂正②	<p>執筆した論文を提出し検討・訂正する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。</p>
第 13 回	論文執筆と訂正③	<p>執筆した論文を提出し、検討・訂正する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。</p>
第 14 回	論文執筆と訂正④	<p>執筆した論文を提出し、検討・訂正する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。</p>
第 15 回	検討会	<p>前期に書いた章構成、訂正箇所を再検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に論文を加筆・訂正する。</p>
第 16 回	中間報告①	<p>夏休み中に加筆した論文の概要について報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。</p>
第 17 回	中間報告②	<p>夏休み中に加筆した論文の概要について報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。</p>
第 18 回	中間報告③	<p>夏休み中に加筆した論文の概要について報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。</p>
第 19 回	中間報告④	<p>夏休み中に加筆した論文の概要について報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、レジユメを作成する。</p>

		【事後学習】2 時間 指摘を元に研究課題を検討する。
第 20 回	論文執筆と訂正⑤	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 21 回	論文執筆と訂正⑥	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 22 回	論文執筆と訂正⑦	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 23 回	論文執筆と訂正⑧	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 24 回	論文執筆と訂正⑨	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 25 回	論文執筆と訂正⑩	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 26 回	論文執筆と訂正⑪	執筆した論文を提出し検討・訂正する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 27 回	読み合わせ①	原稿を読み合わせ、誤字脱字、疑問点などを見つけ出す。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 28 回	読み合わせ②	原稿を読み合わせ、誤字脱字、疑問点などを見つけ出す。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
第 29 回	最終調整①	目次、注表記の統一、参考文献一覧、製本方法を指導する。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。

第 30 回	最終調整③	最後の読み合わせをする。 【事前学習】2 時間 参考文献・論文を読み、原稿を執筆する。 【事後学習】2 時間 指摘を元に原稿を加筆・訂正する。
--------	-------	---

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0%	100	100%
評価の特記事項					
卒業論文の提出と合格が単位取得の判断基準である。					

テキスト
各自の研究テーマにより異なる。
参考文献
戸田山和久『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』NHK ブックス, 2012 年 (1320 円) .
オフィスアワー
水曜日 3 限
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
卒業論文は 2 年次、3 年次の個人テーマの延長にある (変更も可能である)。したがって、いきなり卒業論文に挑むわけではない。2 年間の蓄積という優位がある。では、テーマを決め、問題設定をし、すらすらと書けるかということそんなことはない。まずは短文にて論文の作法を練習し、書きながら新たな参考文献を読み、また戻って直してという作業が続く。一見面倒に感じるかもしれないが、進めるごとに目標の再設定をはじめ章の構成など自分の頭の中で論文像が構築できるはずである。いずれも学生が個別に教員とのやり取りをすることが基本となるため、
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	69
担当教員	吉田 博之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	火 5	単位区分	選
講義室	7061	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>このゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目標としている。</p> <p>(1) マクロ経済学の基本的用語の意味を理解し、日本経済について論理的に説明できるようになる。</p> <p>(2) マスメディアや政府が提供する経済情報を主体的に収集し、科学的な分析ができるようになる。</p> <p>(3) マクロ経済学に限らず、多くの分野を学ぶことにより幅広い知識を自律的に探求できるようになる。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>このゼミナールでは、経済理論の一分野であるマクロ経済学を学ぶことにより、現実の経済体系や社会構造に関する理解・知見を深めるように努める。例えば、IS-LM 分析を用いることにより、財政政策や金融政策の効果を知ることができる。また、このような知識を前提にして、バブル経済崩壊以後の超低金利政策の意義や不況における経済政策のありかたなどを検討する。</p>

授業計画（30週）

回	項目	内容
第1回	『卒業論文』に関するガイダンス	ゼミの内容，ゼミの形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 また，卒業論文の統一フォーマットについて確認する。 【事前学習】2時間 卒業論文に関する一般的議論についてインターネットなどを利用して調べておく 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第2回	研究領域の決定	【事前学習】2時間 A4用紙1枚程度で「卒業論文作成進捗報告書」を作成する 【事後学習】2時間 今後の計画を再確認する
第3回	具体的テーマの決定	【事前学習】2時間 全員がテキストの該当部分に目を通しておくこと。また，発表担当者は資料を事前に作成し，当日のプレゼンを行う。その後，参加者による議論を実施する。 【事後学習】2時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第4回	研究計画の検討	【事前学習】2時間 A4用紙1枚程度で「卒業論文の研究計画」を作成する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第5回	研究計画の完成	【事前学習】2時間 A4用紙1枚程度で「卒業論文の研究計画」を完成する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第6回	先行研究の収集	【事前学習】2時間 A4用紙1枚以上で「先行研究一覧」を作成する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第7回	先行研究に関する探求	【事前学習】2時間 A4用紙1枚以上で「先行研究」を再確認する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第8回	重要文献に関する内容紹介（1）	【事前学習】2時間 自分の興味ある文献を読み，その内容をA4用紙3枚以上に整理する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第9回	重要文献に関する内容紹介（2）	【事前学習】2時間 自分の興味ある文献を読み，その内容をA4用紙3枚以上に整理する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第10回	重要文献に関する内容紹介（3）	【事前学習】2時間 自分の興味ある文献を読み，その内容をA4用紙3枚以上に整理する 【事後学習】2時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第11回	重要文献に関する内容紹介（4）	【事前学習】2時間 自分の興味ある文献を読み，その内容をA4用紙3枚以上に整理する 【事後学習】2時間

		本日の内容を復習し，理解を深める
第 12 回	重要文献に関する内容紹介 (5)	【事前学習】2 時間 自分の興味ある文献を読み，その内容を A4 用紙 3 枚以上に整理する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 13 回	研究の目的を明確化，および，全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚程度で「研究の目的」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 14 回	I 研究方法の種類に関する検討	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で複数の「研究方法」について書類を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 15 回	前期の振り返り 夏季休暇期間中の卒業論文の作成計画を発表する	【事前学習】2 時間 前期の学習内容を振り返り，今後の計画について検討する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 16 回	ガイダンス これまでの作成進捗の報告と後期の卒業論文作成計画を報告する	前期ゼミの内容，ゼミの形式を振り返り，後期ゼミの進行などについて議論を実施する。 【事前学習】2 時間 各自が前期ゼミの振り返りを行い，それを A4 用紙 1 枚程度にまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミの内容を復習し，当回のキーワードと現実社会の接点を熟考・検討しておくこと。
第 17 回	研究方法の設定，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「研究方法」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 18 回	分析の実施 (1)，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「分析」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 19 回	分析の実施 (2)，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「分析」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 20 回	研究結果の考察 (1)，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「研究結果の考察」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 21 回	研究結果の考察 (2)，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「研究結果の考察」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 22 回	結論の作成，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上で「卒業論文の結論」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 23 回	進行状況の中間発表	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚程度で「進行状況の中間発表」を作成する 【事後学習】2 時間

		本日の内容を復習し，理解を深める
第 24 回	参考論文の一覧の書き方の確認，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 A4 用紙 1 枚以上に「参考文献」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 25 回	卒業論文の仮原稿の提出	【事前学習】2 時間 「卒業論文の仮原稿」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 26 回	卒業論文の校正（1），および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 「卒業論文の仮原稿」を校正する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 27 回	卒業論文の校正（2），および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 「卒業論文の仮原稿」を校正する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 28 回	論文要旨の作成，結論の再確認，および，参加者全員による議論	【事前学習】2 時間 「論文要旨」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 29 回	卒業論文の発表会（1）	【事前学習】2 時間 A4 用紙 5 枚程度で「卒業論文発表会スライド」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める
第 30 回	卒業論文の発表会（2）	【事前学習】2 時間 A4 用紙 5 枚程度で「卒業論文発表会スライド」を作成する 【事後学習】2 時間 本日の内容を復習し，理解を深める

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					
授業内で提示した課題はすべて提出すること。					

テキスト
授業時に適宜, 指示する。
参考文献
授業時に適宜, 指示する。
オフィスアワー
原則として, 月曜日 13:00~14:00 とする。有意義な時間とするための準備が必要であるから, 事前にメールでアポをとることが望ましい。 なお, メールアドレスは, 授業時に指示する。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
・ゼミナールは大学生活において最も重要な位置を占める。事前学習に力を注ぎ, 真摯な態度で参加すること。 ・特段の理由なしに無断欠席や 2 回連続の遅刻は厳重に禁止する。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	70
担当教員	米澤 聡士	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	金 2	単位区分	選
講義室	3103	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、専門研究（一）および専門研究（二）として学習した国際経営論のテーマについて、卒業論文を執筆することを目標とする。</p> <p>対応 DP および CP 5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、受講生が各自の興味・関心に基づいて卒業論文のテーマを決定し、論文の執筆方法、文献・資料の収集方法を確認した上で、進捗状況に応じて論文の内容を発表する。それに対して指導教員が執筆指導を行う。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	卒業論文指導の進め方についての説明を行う。 【事前学習】1 時間 卒業論文のテーマに関する各自の興味・関心を整理する。 【事後学習】1 時間 卒業論文の指導方法を確認する。
第 2 回	卒業論文の執筆方法の指導	論文の書き方、執筆上のルールを説明する。 【事前学習】1 時間 指導教員の指示する論文を収集する。 【事後学習】1 時間 論文の書き方を復習する。
第 3 回	文献・資料の収集方法の指導	論文の執筆に必要な文献・資料の収集方法について説明する。 【事前学習】1 時間 論文の書き方を復習する。 【事後学習】2 時間 各自の興味・関心にしたがって、論文執筆に必要な文献・資料を収集する。
第 4 回	卒業論文テーマの発表	各自の卒業論文のテーマについて、指導教員の指示にしたがって発表する。 【事前学習】2 時間 候補となる卒業論文テーマを複数提示する。 【事後学習】1 時間 授業でのフィードバックにしたがって、卒業論文のテーマを決定する。
第 5 回	卒業論文概要の発表 (1)	卒業論文の概要について、受講生による発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】1 時間 受講生の発表とそれに対する指導教員のフィードバックを踏まえ、各自の概要を修正する。
第 6 回	卒業論文概要の発表 (2)	卒業論文の概要について、受講生による発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】1 時間 受講生の発表とそれに対する指導教員のフィードバックを踏まえ、各自の概要を修正する。
第 7 回	卒業論文概要の発表 (3)	卒業論文の概要について、受講生による発表を行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】1 時間 受講生の発表とそれに対する指導教員のフィードバックを踏まえ、各自の概要を修正する。
第 8 回	卒業論文の中間発表 (1)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 9 回	卒業論文の中間発表 (2)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。

		【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 10 回	卒業論文の中間発表 (3)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 11 回	卒業論文の中間発表 (4)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 12 回	卒業論文の中間発表 (5)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 13 回	卒業論文の中間発表 (6)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 14 回	卒業論文の中間発表 (7)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 15 回	前期総括	現時点での受講生の進捗状況を確認する。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆する。 【事後学習】2 時間 論文執筆の方向性を再確認し、論文を執筆する。
第 16 回	卒業論文の中間発表 (8)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。 【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 17 回	卒業論文の中間発表 (9)	受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。

		<p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 18 回	卒業論文の中間発表 (10)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 19 回	卒業論文の中間発表 (11)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 20 回	卒業論文の中間発表 (12)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 21 回	卒業論文の中間発表 (13)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 22 回	卒業論文の中間発表 (14)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 23 回	卒業論文の中間発表 (15)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間 指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。</p>
第 24 回	卒業論文の中間発表 (16)	<p>受講生が進捗状況に合わせて卒業論文の中間発表を行い、指導教員と他の受講生からフィードバックを受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に指示された部分について卒業論文を執筆し、発表の準備を行う。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		指導教員と他の受講生からのフィードバックを踏まえ、論文の内容を修正する。
第 25 回	卒業論文の最終発表 (1)	卒業論文が完成した受講生から順に、論文の内容を発表し、それに基づいて質疑応答やディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 次回発表する受講生の卒業論文をむ。
第 26 回	卒業論文の最終発表 (2)	卒業論文が完成した受講生から順に、論文の内容を発表し、それに基づいて質疑応答やディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 次回発表する受講生の卒業論文をむ。
第 27 回	卒業論文の最終発表 (3)	卒業論文が完成した受講生から順に、論文の内容を発表し、それに基づいて質疑応答やディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 次回発表する受講生の卒業論文をむ。
第 28 回	卒業論文の最終発表 (4)	卒業論文が完成した受講生から順に、論文の内容を発表し、それに基づいて質疑応答やディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 次回発表する受講生の卒業論文をむ。
第 29 回	卒業論文の最終発表 (5)	卒業論文が完成した受講生から順に、論文の内容を発表し、それに基づいて質疑応答やディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 発表の準備を行う。 【事後学習】2 時間 次回発表する受講生の卒業論文をむ。
第 30 回	後期総括	卒業論文提出時の流れを確認する。 【事前準備】1 時間 各自卒業論文を編集する。 【事後学習】1 時間 大学の定める期限までに卒業論文を提出する。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
受講生自身の卒業論文の内容だけでなく、授業への参画度を評価の対象とする。					

テキスト
各自の論文テーマに沿って指示する。
参考文献
各自の論文テーマに沿って指示する。
オフィスアワー
火曜日 13 時～14 時 30 分。希望者は事前に Gmail にてアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒業論文の中間発表日は、受講生ごとに割り当てる。 期限厳守で指示された部分まで執筆の上、発表を行うこと。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	卒業論文	クラス	73
担当教員	渡邊 修士	実務経験のある教員 による授業科目	○
学年	4年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(専 門ゼミ)
曜日・時限	水1	単位区分	選
講義室	A35a	単位数	6
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>各自が決めた卒論テーマについて、自発的に研究を行い卒論としてまとめる中で、合理的・論理的思考力を鍛える。卒論のテーマは、ゼミと必修の講義(金融市場論、ファイナンシャル・エコノミクス、クレジットリスク・マネジメント論)に関連する分野から選ぶ。</p> <p>対応DP及びCP：5, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>出来る限り丁寧に個人指導を行う。自発的な学習を重視する。テーマを決めた後は、定期的に研究した結果を報告し、その内容について議論する。これを繰り返すことで、データの収集、分析、図表作成の技術を学ぶ。データに立脚した議論を行い、論理的で明快な文章を書く能力も涵養する。これを通して、3年間のゼミでの学習を深く定着させる。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	卒論テーマの確定	【事前学習】 2 時間 卒論テーマについて考えてくる 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, 卒論のアウトラインを考える
第 2 回	卒論のアウトライン (1)	【事前学習】 2 時間 卒論のアウトラインについて考えてくる 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, アウトライン検討
第 3 回	卒論のアウトライン (2)	【事前学習】 2 時間 卒論のアウトラインについて考えてくる 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, アウトライン検討
第 4 回	卒論のアウトライン (3)	【事前学習】 2 時間 卒論のアウトラインについて考えてくる 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, データ収集, データ分析を行う
第 5 回	データ収集, データ分析, discussion (1)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, データ収集, データ分析を行う
第 6 回	データ収集, データ分析, discussion (2)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, データ収集, データ分析を行う
第 7 回	データ収集, データ分析, discussion (3)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, データ収集, データ分析を行う
第 8 回	データ収集, データ分析, discussion (4)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 9 回	分析結果のまとめ (1)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 10 回	データ収集, データ分析, discussion (5)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 11 回	データ収集, データ分析, discussion (6)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 12 回	データ収集, データ分析, discussion (7)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 13 回	データ収集, データ分析, discussion (8)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 14 回	分析結果のまとめ (3)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 15 回	分析結果のまとめ (4)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 16 回	卒論のアウトライン (4) 再検討	【事前学習】 2 時間 これまでのまとめを踏まえて, 卒論のアウトラインを再検討する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, アウトライン検討
第 17 回	卒論のアウトライン (5) 再検討	【事前学習】 2 時間 これまでのまとめを踏まえて, 卒論のアウトラインを再検討する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, アウトライン検討

第 18 回	データ収集, データ分析, discussion (9)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 19 回	データ収集, データ分析, discussion (10)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 20 回	データ収集, データ分析, discussion (11)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 21 回	データ収集, データ分析, discussion (12)	【事前学習】 2 時間 データ収集, データ分析を行う 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理する
第 22 回	分析結果のまとめ (5)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理し, 卒論を書く
第 23 回	分析結果のまとめ (6)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理し, 卒論を書く
第 24 回	分析結果のまとめ (7)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理し, 卒論を書く
第 25 回	分析結果のまとめ (8)	【事前学習】 2 時間 それまでの分析を整理する 【事後学習】 2 時間 discussion 結果を受けて, それまでの分析を整理し, 卒論を書く
第 26 回	卒論添削 (1)	【事前学習】 2 時間 卒論を提出する 【事後学習】 2 時間 添削された卒論を修正する
第 27 回	卒論添削 (2)	【事前学習】 2 時間 卒論を提出する 【事後学習】 2 時間 添削された卒論を修正する
第 28 回	卒論添削 (3)	【事前学習】 2 時間 卒論を提出する 【事後学習】 2 時間 添削された卒論を修正する
第 29 回	卒論添削 (4)	【事前学習】 2 時間 卒論を提出する 【事後学習】 2 時間 添削された卒論を修正する
第 30 回	卒論講評	【事前学習】 2 時間 卒論を提出する 【事後学習】 2 時間 添削された卒論を修正する

授業形式

- ・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	100%	0%	0%	0%	100%
評価の特記事項					
自発的研究となるよう最大限の努力を傾けること					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
木曜日 9:00-11:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
卒論として私が求めるレベルはかなり高い。覚悟をもって臨むこと。卒論完成には多大の努力が求められるが、それによって得られるものは大きい。私もかなりの時間・労力を投入する。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2